

美 里 町
高齢者福祉に関するアンケート調査
結果報告書

令和2年3月

目 次

I. 摘要	1
1. 趣旨及び方法等	1
2. 本報告書の留意点	1
II. 回答者の属性等	2
1. 性別	2
2. 年齢	2
3. 記入者	3
III. 調査結果の概要	4
1. 地域活動への参加状況	4
2. 運動器の機能低下	9
3. 閉じこもり傾向	12
4. 低栄養状態	15
5. 口腔機能の低下	16
6. 認知機能の低下	18
7. 手段的日常生活動作（IADL）	20
8. 知的能動性	23
9. 社会的役割	25
10. うつ傾向	27
11. 「介護予防のための通いの場」への不参加者のリスク判定	29
IV. 項目別集計結果	30
1. あなたのご家族や生活状況について	30
2. からだを動かすことについて	36
3. 食べることについて	44
4. 毎日の生活について	52
5. 地域での活動について	65
6. たすけあいについて	73
7. 健康について	80
8. 認知症にかかる相談窓口の把握について	87
9. 在宅医療と介護について	89
10. 高齢者福祉について	91

I. 摘要

1. 趣旨及び方法等

本調査は、高齢者の意識、生活実態、健康状態等の調査項目を通じ、日常生活や地域における課題、ニーズ等を把握し、高齢者福祉計画及び第8期介護保険事業計画策定等の基礎資料とするために実施したものである。

調査の概要

項目	内容
調査対象	一般高齢者及び要支援者
配布数等	配布数：1,500 有効回収数：1,100 有効回収率：73.3%
調査方法	郵送方式による配布・回収
調査時期	令和2年1月
調査地域	美里町全域

2. 本報告書の留意点

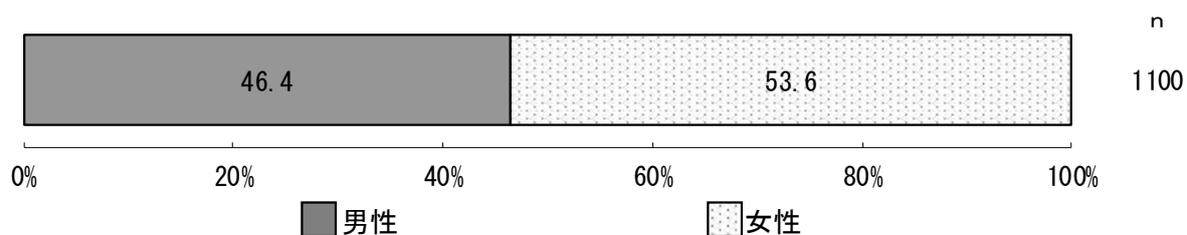
本報告書の留意点は次のとおりとなる。

- ・比率は百分率（％）で表し、小数点以下2位を四捨五入して算出している。従って、合計が100％を上下する場合がある。
- ・基数となるべき実数は、“n=〇〇〇”として掲載し、各比率は“n=〇〇〇”を100％として算出した。
- ・【複数回答】とある問は、1人の回答者が複数の回答を出してもよい問のため、各回答の合計比率は100％を超える場合がある。また、図表において無回答について省略している。
- ・問の中には回答を限定する問があり、回答者の数が少ない問が含まれる。

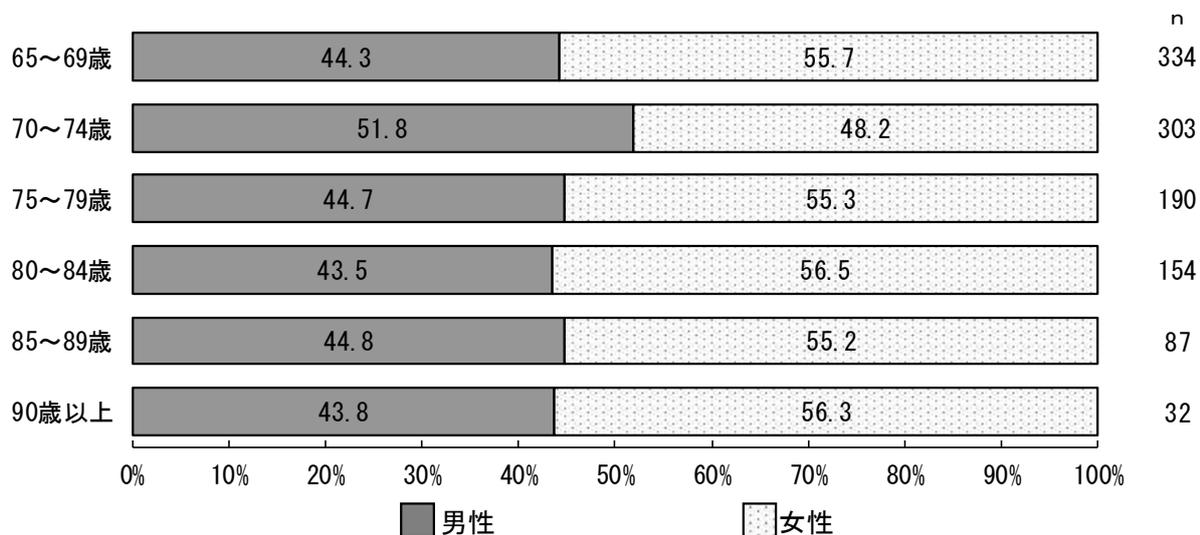
Ⅱ. 回答者の属性等

1. 性別

■ 「男性」が46.4%、「女性」が53.6%となっている。

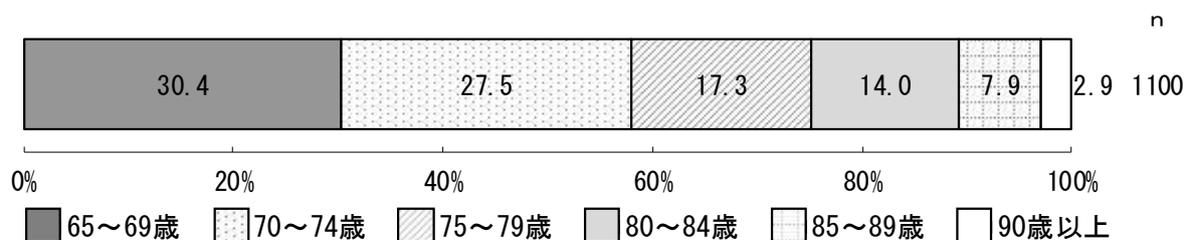


<年齢クロス>

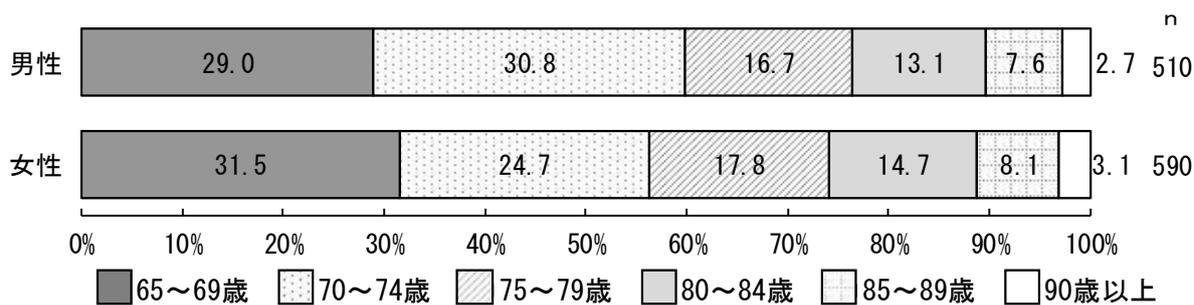


2. 年齢

■ 「65~69歳」が30.4%と最も多い。

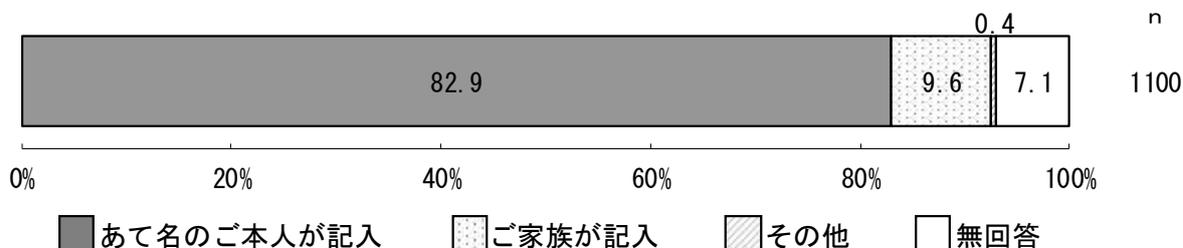


<性別クロス>

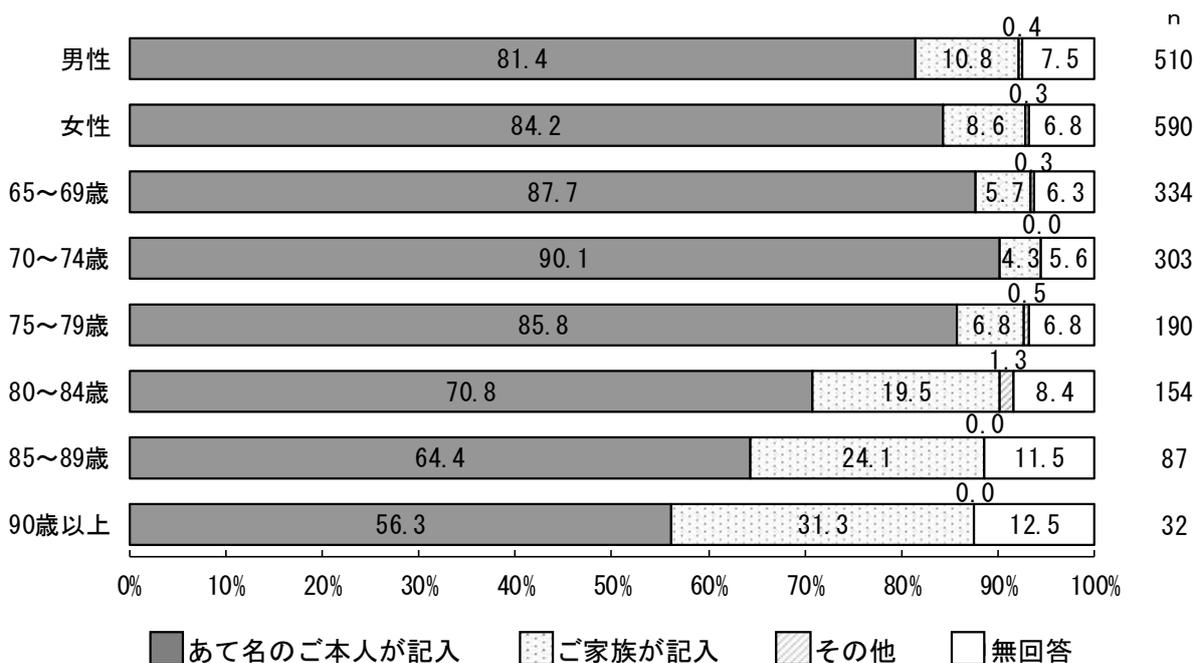


3. 記入者

■記入者は、「あて名のご本人が記入」が82.9%、「ご家族が記入」が9.6%、「その他」が0.4%となっている。



<性別・年齢クロス>



Ⅲ. 調査結果の概要

ここでは「地域活動への参加状況」、「運動器の機能低下」、「閉じこもり傾向」、「低栄養状態」、「口腔機能の低下」、「認知機能の低下」、「老研式活動能力指標・手段的日常生活動作（IADL）」、「同・知的能動性」、「同・社会的役割」、「うつ傾向」の各視点から、本調査の結果を概括する。

1. 地域活動への参加状況

「地域包括ケアシステム」とは、地域の実情に応じて、高齢者が、可能な限り、住み慣れた地域でその有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、医療、介護、介護予防、住まい及び自立した日常生活の支援が包括的に確保される体制をいう¹が、その体制の構築に向けては、地域住民の自主的な参加・参画や創意工夫を活かした取組が期待されている。

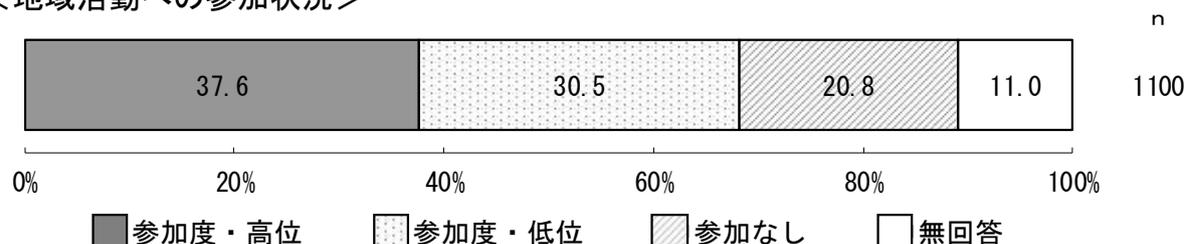
また、「地域保健対策の推進に関する基本的な指針」においても、平成24年の一部改正（最終改正は平成27年3月27日「厚生労働省告示第185号」）において「ソーシャルキャピタル（地域に根ざした信頼や社会規範、ネットワークといった社会関係資本等）」の活用が明記されている。

そこで、まずは地域住民の自主的な参加・参画あるいは「ソーシャルキャピタル」の観点から「地域での活動について」（問5（1）①～⑧）の調査結果を確認する。

本調査では、「①ボランティアのグループ」から「⑧収入のある仕事」の8種の活動について、「週4回以上」、「週2～3回」、「週1回」、「月1～3回」、「年に数回」、「参加していない」の6肢で回答を得ている。8種の活動のいずれか1項目でも「週1回」以上の回答をした票を「参加度・高位」、同様に、「月1～3回」及び「年に数回」と回答した票を「参加度・低位」、上記以外の票（①～⑧すべて無回答の票を除く）を「参加なし」の3グループとして統合し、集計した。

その結果は、「参加度・高位」は37.6%、「参加度・低位」は30.5%、「参加なし」は20.8%となる。

<地域活動への参加状況>

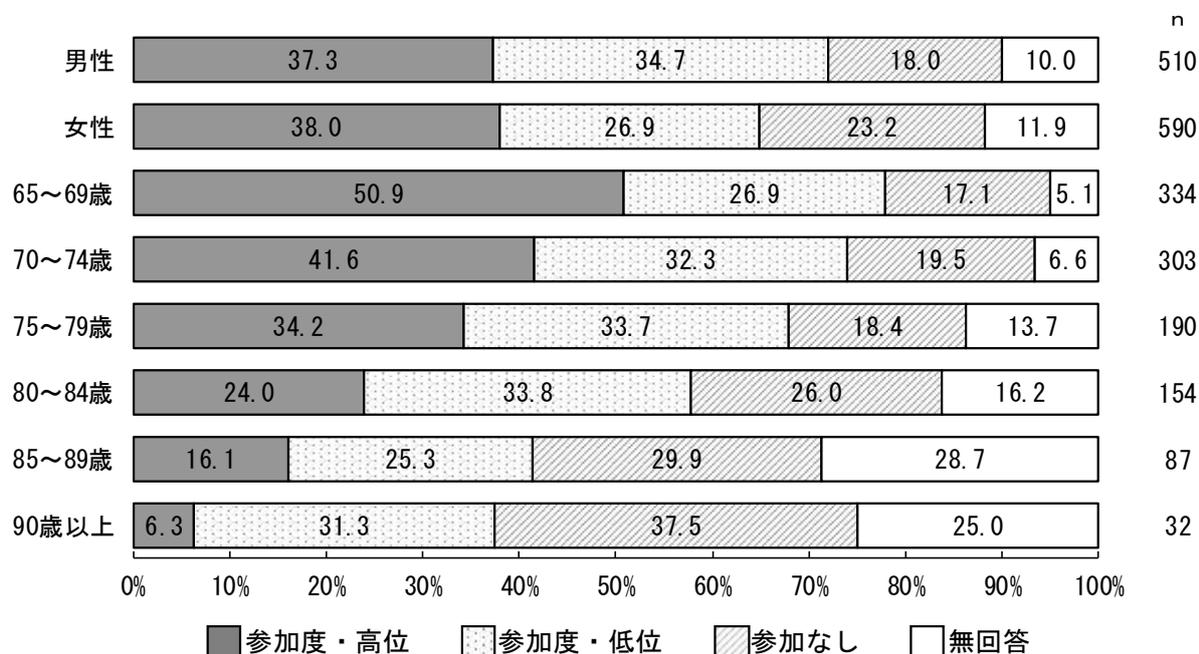


¹ 地域における医療及び介護の総合的な確保の促進に関する法律第2条。

<性別・年齢区分別>

性別では、女性は「参加なし」の割合が男性よりもやや高い。

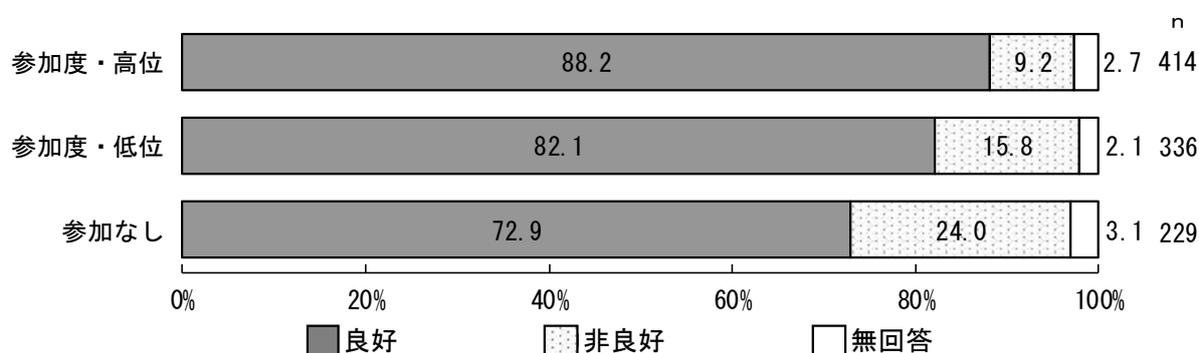
年齢区分では、年齢が上がるにつれ参加度合いが低下し、「参加なし」の割合は、85～89歳が29.9%、90歳以上が37.5%となっている。



<主観的健康状態>

現在のあなたの健康状態（問7（1））で得た回答を、「1. とてもよい」と「2. まあよい」を合わせたものを「良好」とし、「3. あまりよくない」と「4. よくない」を合わせたものを「非良好」として統合し、地域活動への参加状況とクロス集計した。

参加度合いが高いほど主観的健康状態の「良好」な割合が高く、参加度合いが低くなるにつれ、「非良好」の割合が高くなっている。

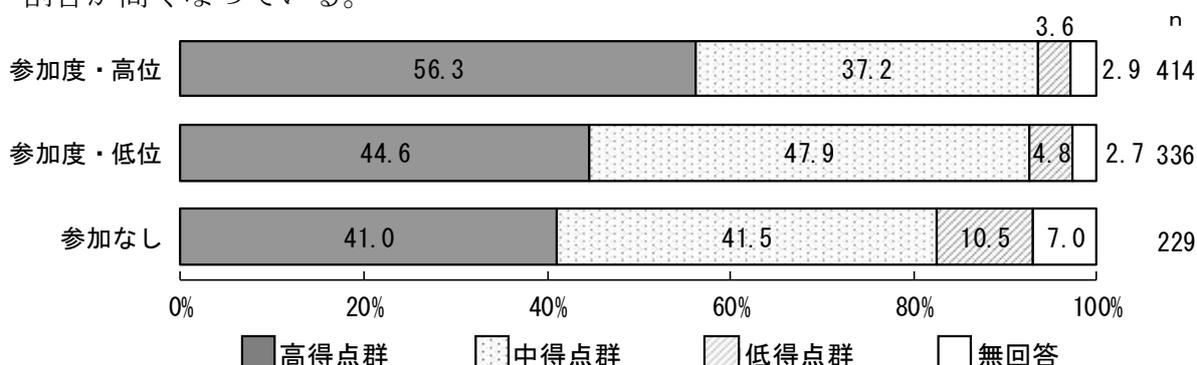


<主観的幸福度>

「あなたは、現在どの程度幸せですか」と訊いた「問7（2）」では、「0点（とても不幸）」から「10点（とても幸せ）」まで、11段階の得点で回答を得ている。これについて、8点から10点を「高得点群」、5点から7点を「中得点群」、0点から

4点を「低得点群」として3群に統合し、クロス集計した。

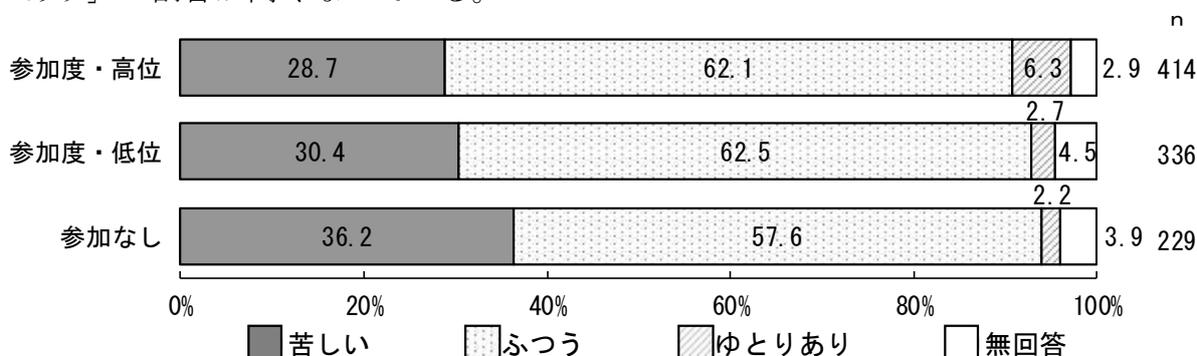
参加度合いが高いほど高得点群の割合が高く、参加度合いが低いほど低得点群の割合が高くなっている。



<主観的経済状況>

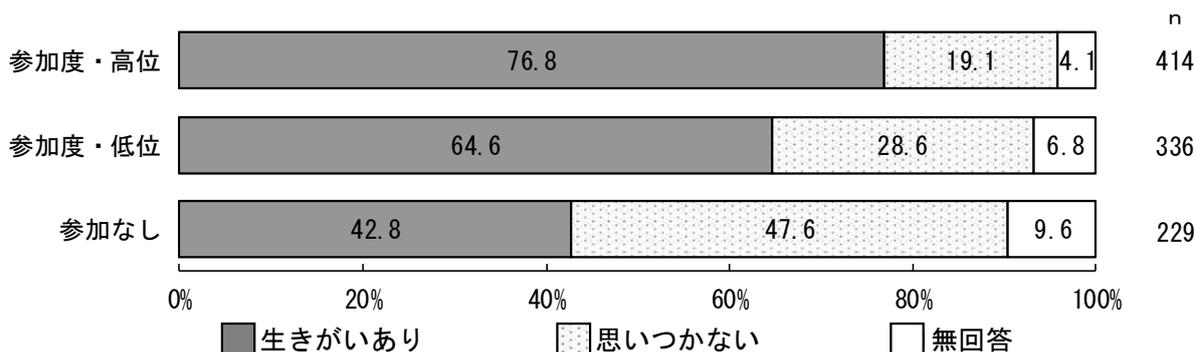
現在の暮らしの経済状況を訊いた「問1(3)」では、「1. 大変苦しい」から「5. 大変ゆとりがある」まで5段階で回答を得ているが、「1. 大変苦しい」と「2. やや苦しい」を合わせ「苦しい」とし、「4. ややゆとりがある」と「5. 大変ゆとりがある」を合わせて「ゆとりあり」として、「3. ふつう」とともに3群に統合してクロス集計した。

参加度合いが低いほど「苦しい」の割合が高く、参加度合いが高いほど、「ゆとりあり」の割合が高くなっている。



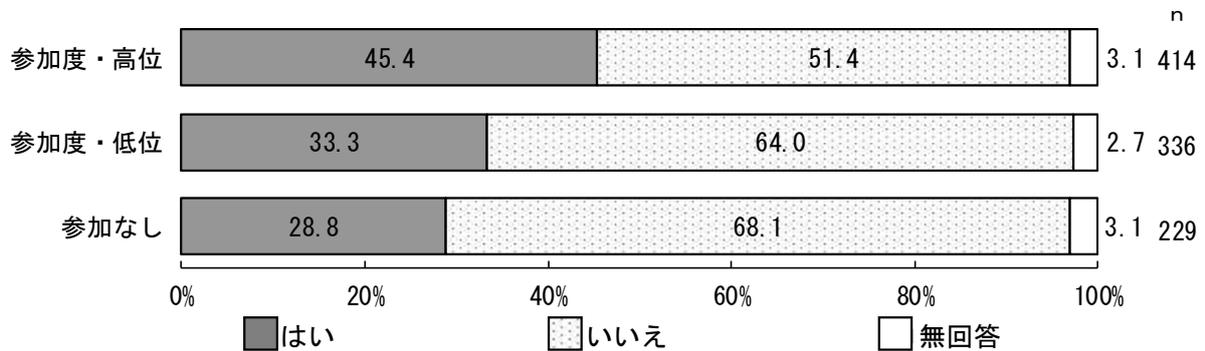
<生きがい>

生きがいの有無(問4(18))は、参加度合いが高いほど「生きがいあり」の割合が高く、「参加なし」は「思いつかない」が47.6%と約5割を占める。



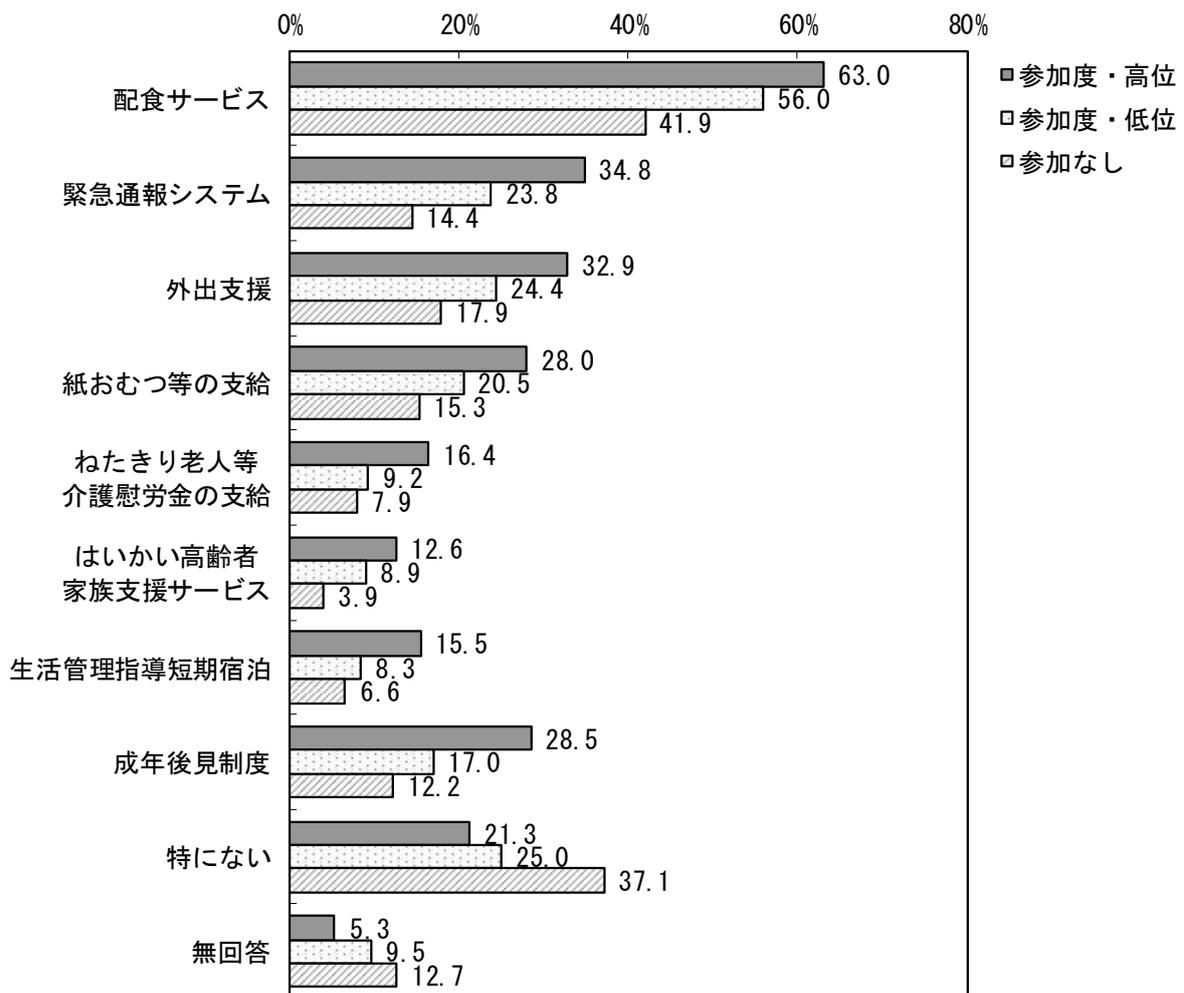
<認知症に関する相談窓口の認知>

認知症に関する相談窓口の認知（問 8（2））は、参加度合いが高いほど「はい」の割合が高く、参加度合いが低いほど「いいえ」の割合が高い。



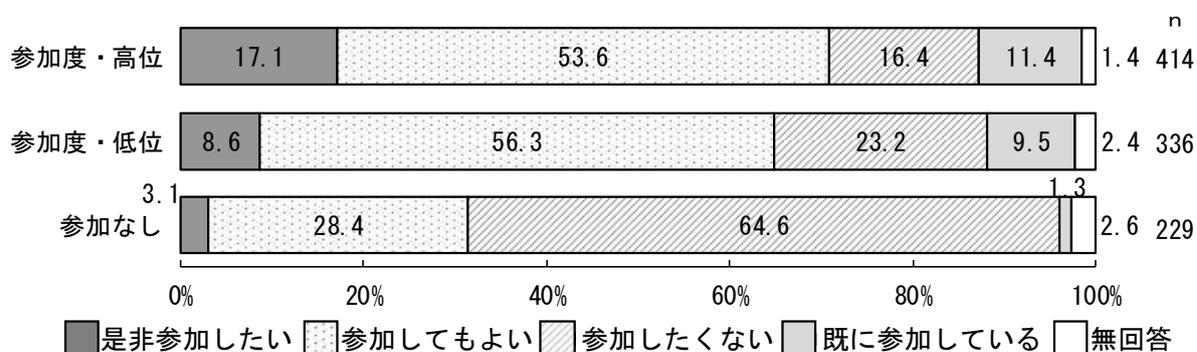
<福祉サービスに対する認知>

福祉サービスに対する認知（問 10（2））も同様に、参加度合いが高いほど、認知度合いも高い。「参加なし」は「特にない」が37.1%となっている。



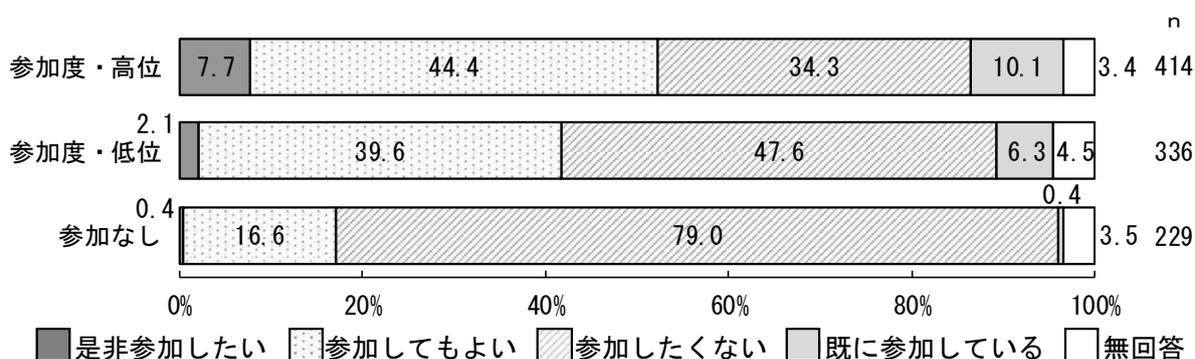
<地域活動への参加者としての参加意向>

地域活動への参加者としての参加意向（問5（2））は、「参加度・高位」及び「参加度・低位」は参加意欲が高い傾向となっている。しかし、「参加なし」も「是非参加したい」が3.1%、「参加してもよい」が28.4%であり、両者を合わせれば、約3割が参加意向を示している。



<地域活動への企画・運営者としての参画意向>

地域活動への企画・運営者としての参画意向（問5（3））は、上記「参加者としての参加意向」よりも全体的に消極的な意向となるが、ほぼ同様な傾向がみられる。特に「参加なし」は79.0%が「参加したくない」となっている。しかし、「参加なし」においても、「是非参加したい」が0.4%、「参加してもよい」が16.6%あり、両者を合わせれば17.0%は参画の意向がある。



2. 運動器の機能低下

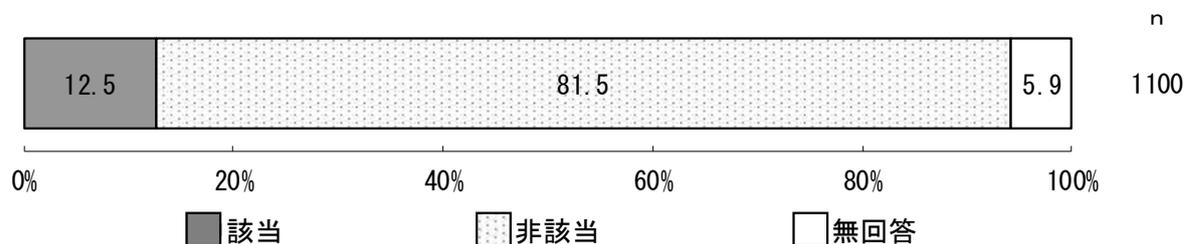
本調査では、運動器の機能低下を判定する5項目を設定し、リスク判定が可能となっている。判定は、下記5項目のうち、3項目以上が該当選択肢である場合において、運動器の機能低下に「該当」する²。

運動器の機能低下の判定項目

No	問	内 容	該当選択肢
1	問2(1)	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	3. できない
2	問2(2)	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	3. できない
3	問2(3)	15分位続けて歩いていますか	3. できない
4	問2(4)	過去1年間に転んだ経験がありますか	1. 何度もある 2. 1度ある
5	問2(5)	転倒に対する不安は大きいですか	1. とても不安である 2. やや不安である

<全体>

全体では、「該当」は12.5%となっている。

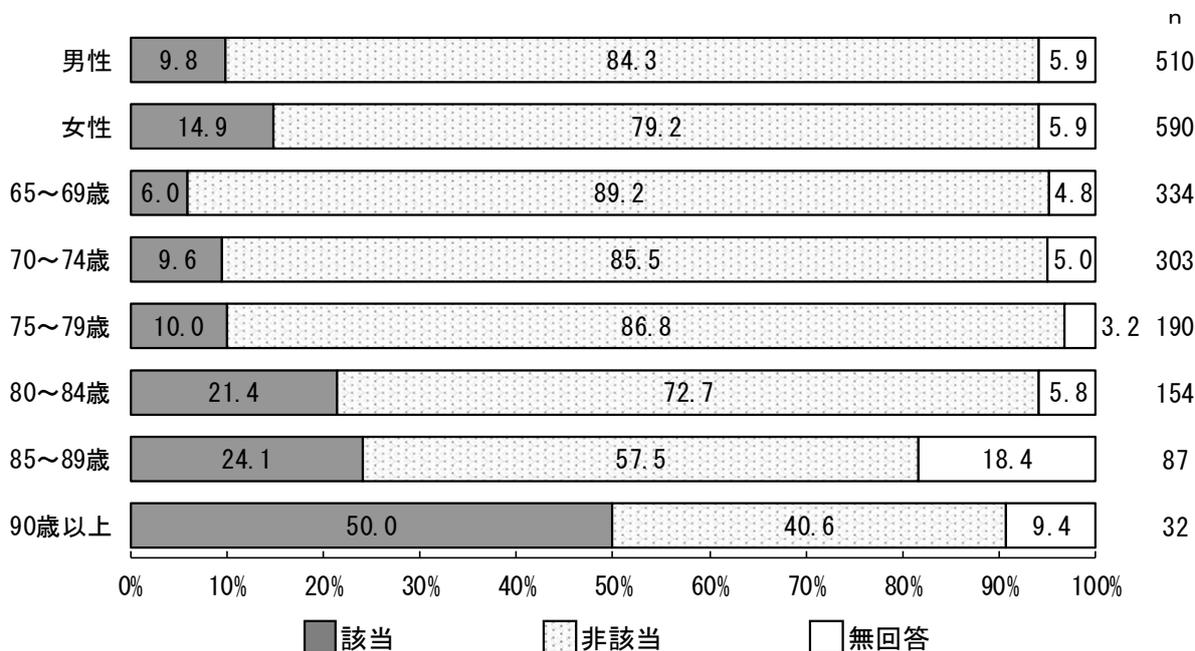


² 「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査実施の手引き（2019年10月23日版）」26頁参照。

<性別・年齢区分別>

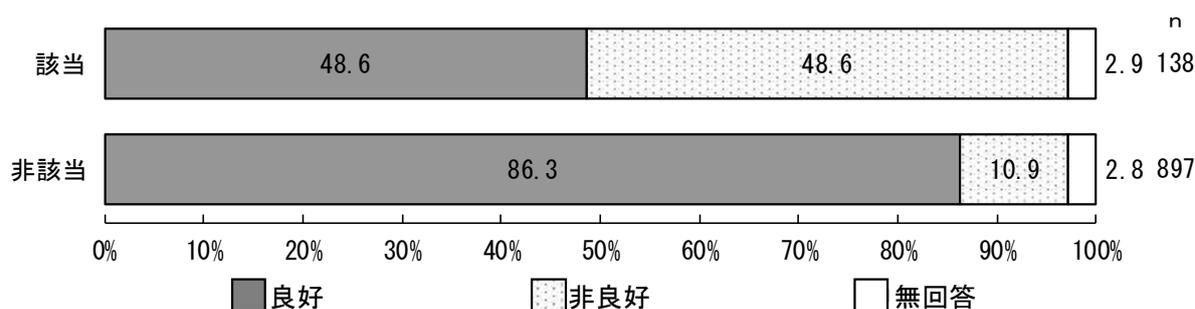
性別では、男性よりも女性に「該当」が多い。

年齢区分では、年齢があがるにつれ「該当」の割合が高くなっている。90歳以上は50.0%が「該当」となっている。



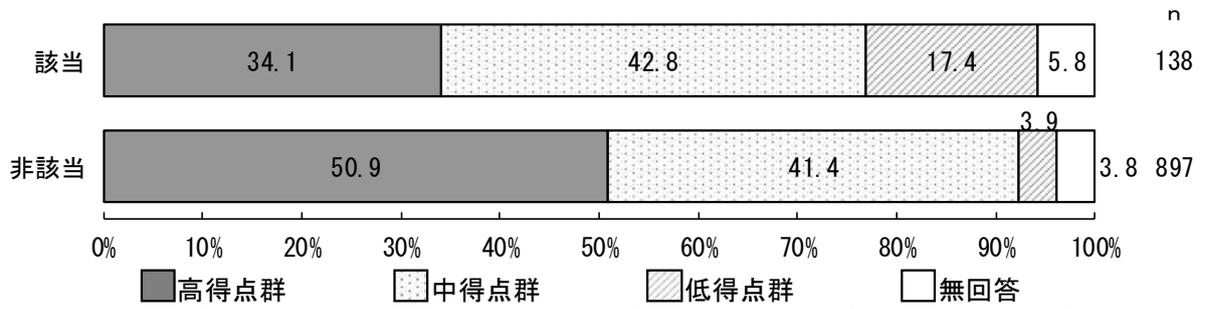
<主観的健康状態>

主観的健康状態では、「非該当」は、86.3%が「良好」であるが、「該当」は48.6%にとどまり、48.6%が「非良好」となっている。



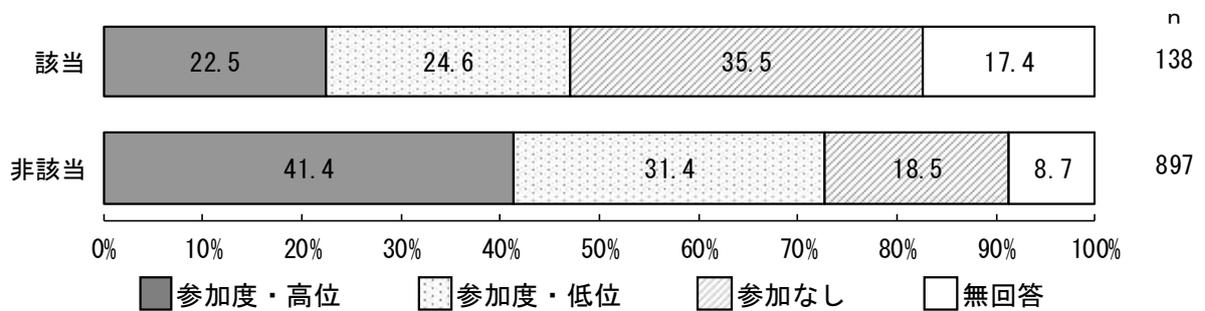
<主観的幸福度>

主観的幸福度では、「非該当」は「高得点群」が50.9%と約5割を占めるが、「該当」は、34.1%にとどまり、「中得点群」が42.8%と約4割、「低得点群」も17.4%と約2割となっている。



<地域活動への参加度>

地域活動への参加度では、「非該当」は約4割（41.4%）が「参加度・高位」であるが、「該当」は「参加なし」が35.5%と最も多く、相対的に参加度合いが低い。



3. 閉じこもり傾向

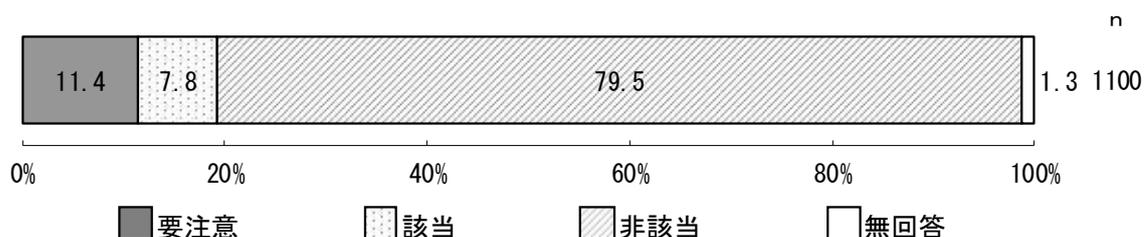
閉じこもり傾向のリスク判定は、「問2（6）週に1回以上は外出していますか」に「1. ほとんど外出しない」または「2. 週1回」と回答した者が「該当」となり、さらに「問2（7）昨年と比べて外出の回数が減っていますか」に「1. とても減っている」または「2. 減っている」と回答した者が「要注意」となる³。

閉じこもり傾向の判定項目

No	問	内容	該当選択肢
1	問2（6）	週に1回以上は外出していますか	1. ほとんど外出しない 2. 週1回
2	問2（7）	昨年と比べて外出の回数が減っていますか	1. とても減っている 2. 減っている

<全体>

全体では、「要注意」が11.4%、「該当」が7.8%、「非該当」が79.5%となっている。

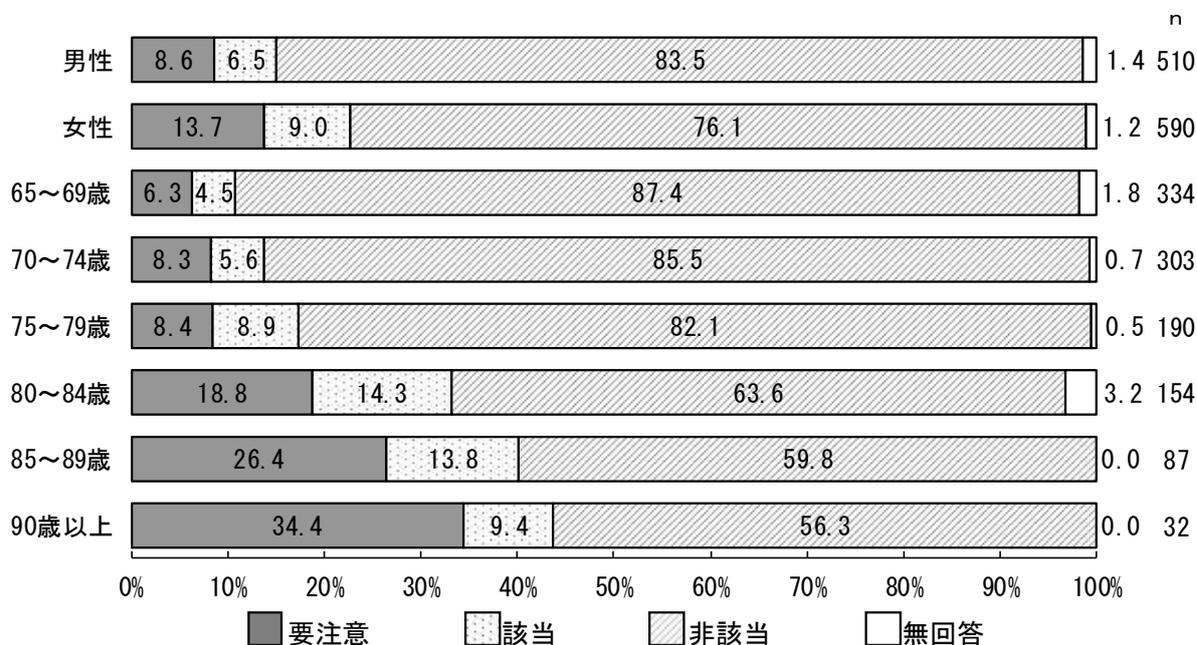


³ 「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査実施の手引き（2019年10月23日版）」46頁、47頁参照。さらにリスクの程度を分けるために「地域支援事業の実施について（老発0609001号厚生労働省老健局長通知）」での「要注意」の判定ロジックを準用した。

<性別・年齢区分別>

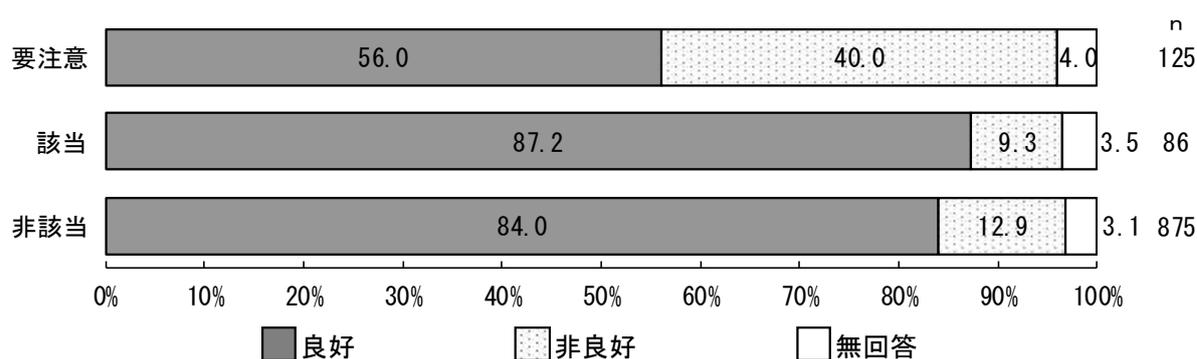
性別では、「要注意」、「該当」ともに、男性よりも女性に多い。

また、年齢区分が上がるにつれ「要注意」の割合が高くなっており、特に80～84歳以降、顕著に増加している。



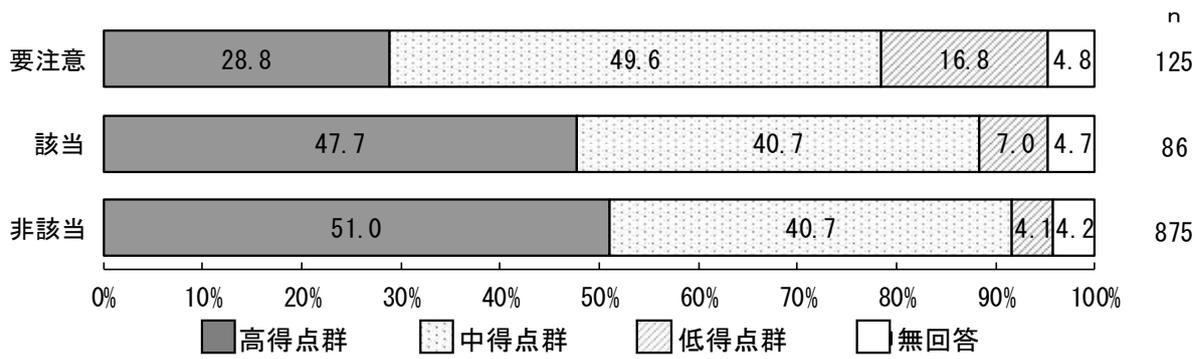
<主観的健康状態>

主観的健康状態では、「非該当」だけでなく、「該当」までは、「良好」の割合が8割以上を占めるが、「要注意」は「良好」が56.0%にとどまり、「非良好」の割合が40.0%となっている。



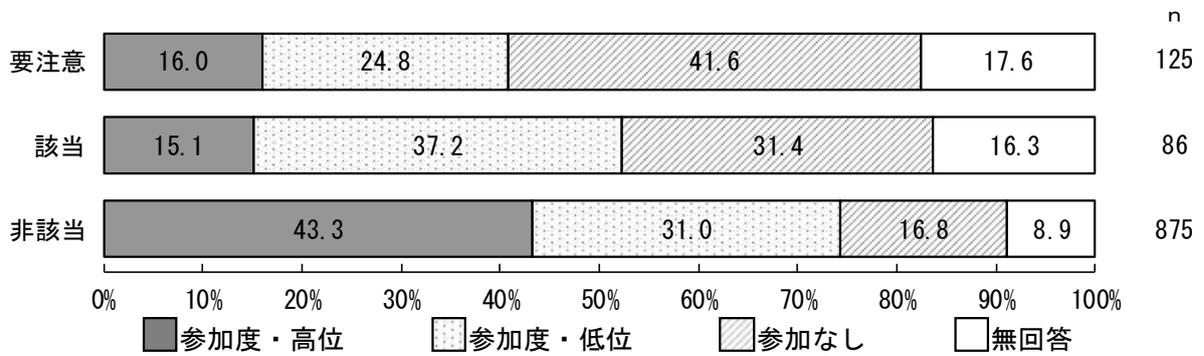
<主観的幸福度>

主観的幸福度では、閉じこもり傾向が強まるにつれ「高得点群」の割合が低下し、「低得点群」の割合が高くなっている。



<地域活動への参加度>

地域活動への参加度では、「非該当」は「参加度・高位」の割合が 43.3%と 4 割以上であるが、「該当」は 15.1%、「要注意」は 16.0%にとどまる。「参加なし」の割合は閉じこもり傾向が強まるにつれ高くなっている。



4. 低栄養状態

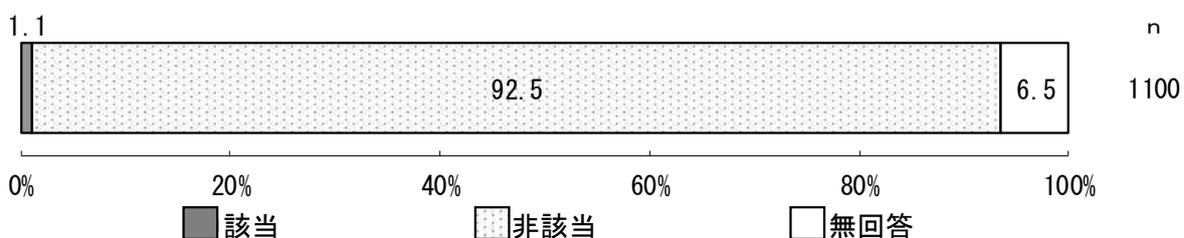
低栄養状態の判定は、「問3（1）身長・体重」からBMIを算出し、これが18.5以下であり、さらに「問3（7）6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか」に「1. はい」と回答した者が「低栄養状態」に該当する⁴。

低栄養状態の判定項目

No	問	内容	該当選択肢
1	問3（1）	身長__cm 体重__kg →BMI=体重(kg)÷身長(m)÷身長(m)	※ BMIが18.5以下
2	問3（7）	6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか	1. はい

<全体>

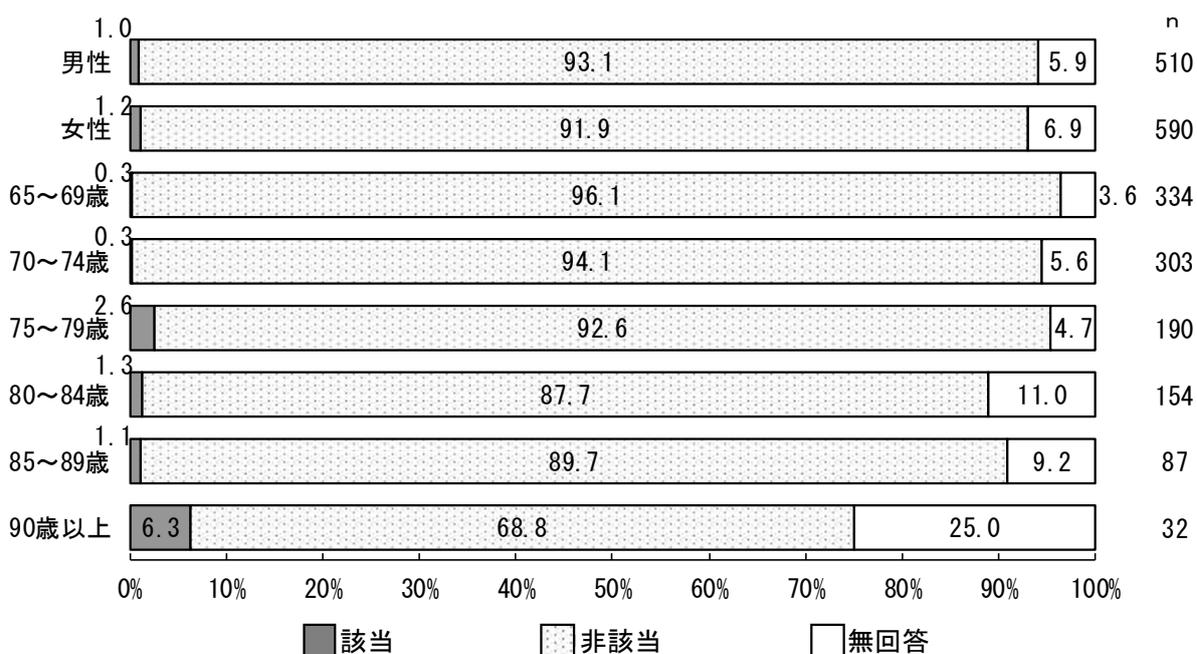
全体では、「該当」が1.1%（n=11）と少数である。



<性別・年齢区分別>

性別では、「該当」の割合に大きな差異はない。

年齢区分では、90歳以上に「該当」がやや多い。



※「該当」が少数であることから、以下は省略。

⁴ 「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査実施の手引き（2019年10月23日版）」27頁参照。

5. 口腔機能の低下

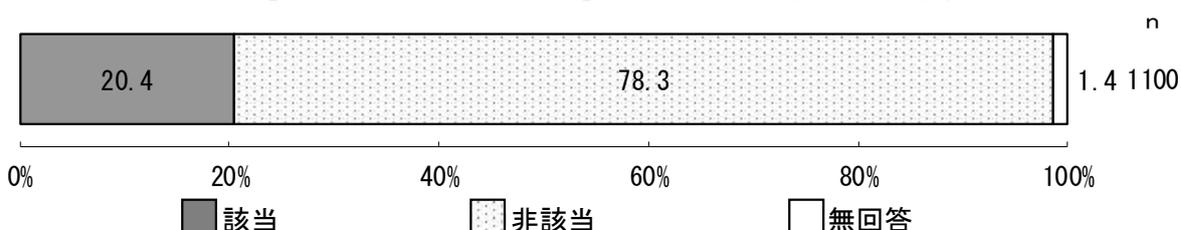
口腔機能の低下の判定は、下記3項目のうち、2項目以上が該当選択肢である場合に機能低下に「該当」するものとした⁵。

低栄養状態の判定項目

No	問	内容	該当選択肢
1	問3(2)	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	1. はい
2	問3(3)	お茶や汁物などでむせることがありますか	1. はい
3	問3(4)	口の渇きが気になりますか	1. はい

<全体>

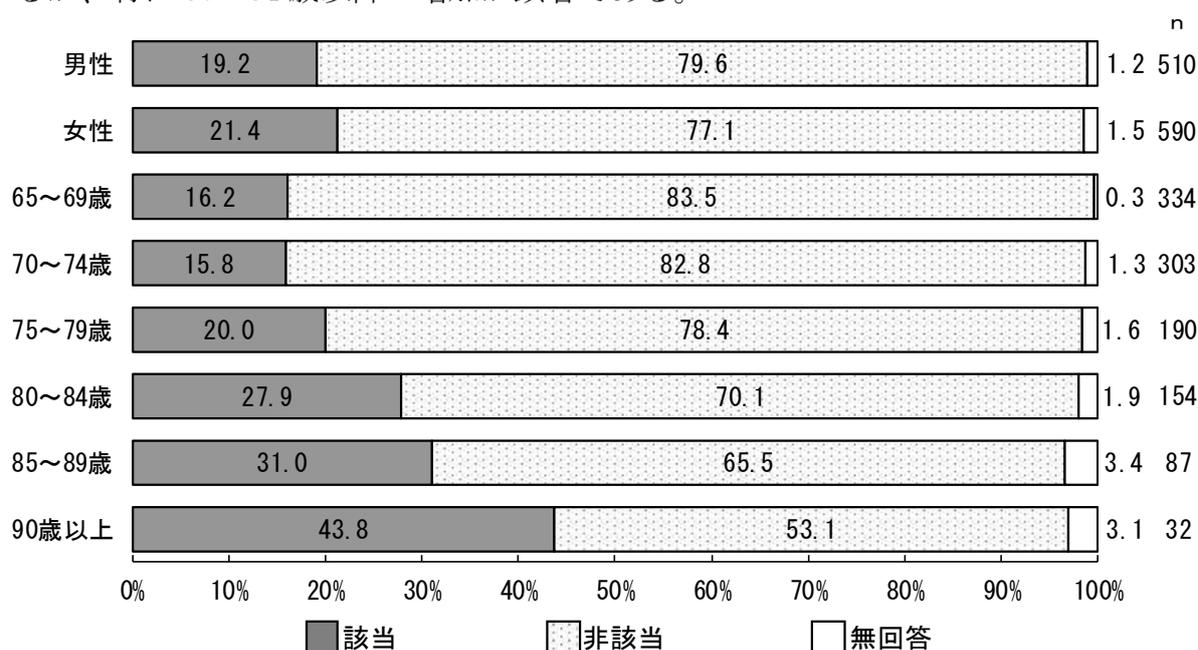
全体では、「該当」が20.4%、「非該当」が78.3%となっている。



<性別・年齢区分別>

性別では、特に大きな差異はない。

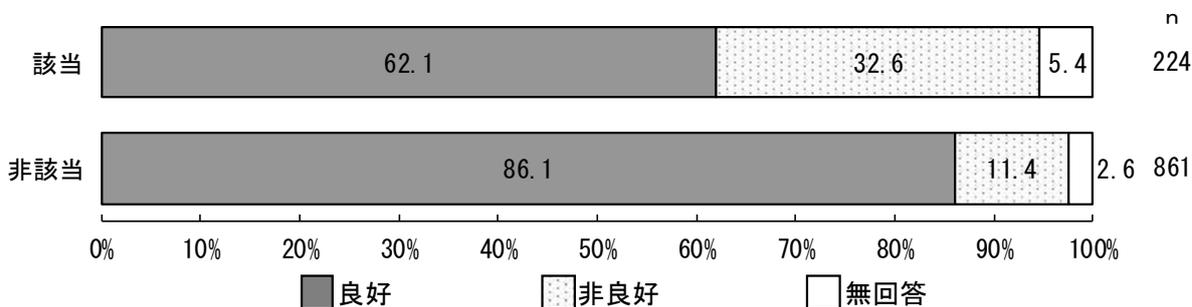
年齢区分では、70～74歳以降、年齢が上がるにつれ「該当」の割合が高まっているが、特に80～84歳以降の増加が顕著である。



⁵ 「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査実施の手引き（2019年10月23日版）」27頁参照。

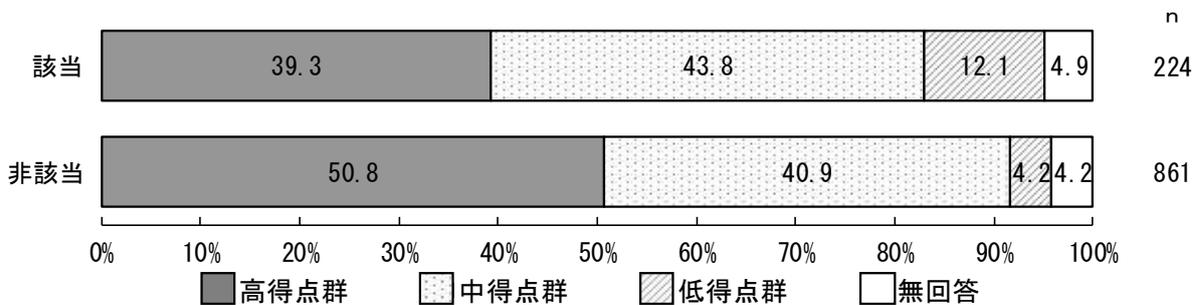
<主観的健康状態>

主観的健康状態では、「該当」は「良好」が62.1%であり、「非該当」(86.1%)よりも顕著に低い。



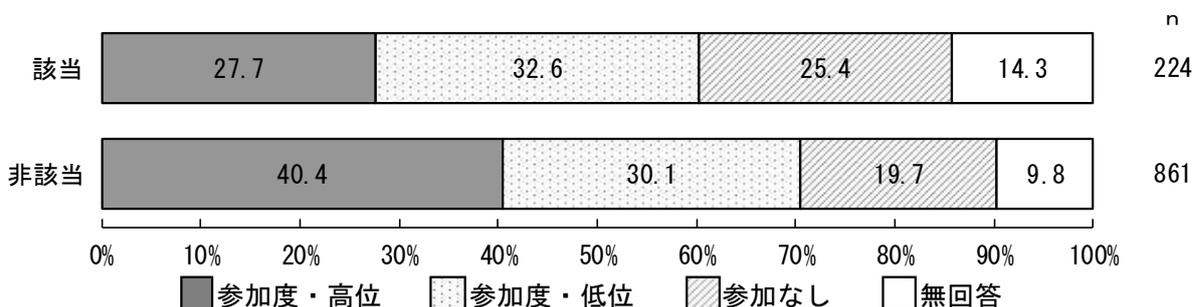
<主観的幸福度>

主観的幸福度では、「該当」は「非該当」よりも「高得点群」の割合が低く、「中得点群」、「低得点群」の割合が高い。



<地域活動への参加度>

地域活動への参加度では、「該当」は「非該当」よりも総じて参加度合いが低くなっている。



6. 認知機能の低下

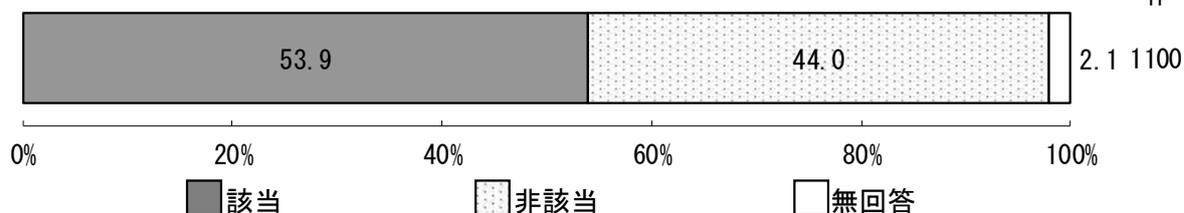
認知機能の低下の判定は、下記3項目のうち、1項目でも該当選択肢である場合に、機能低下に「該当」する⁶。

低栄養状態の判定項目

No	問	内容	該当選択肢
1	問4(1)	物忘れが多いと感じますか	1. はい
2	問4(2)	自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか	2. いいえ
3	問4(3)	今日が何月何日かわからないときがありますか	1. はい

<全体>

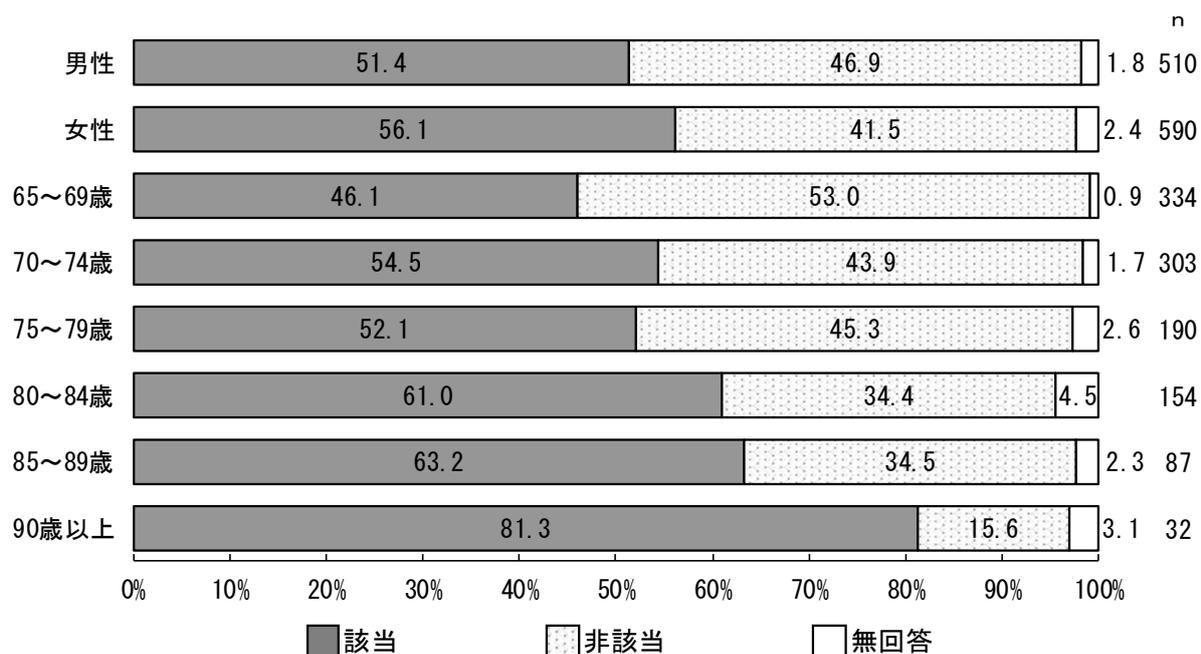
1項目でもあれば「該当」となるため、「該当」の割合が53.9%となっている。ⁿ



<性別・年齢区分別>

性別では、女性は男性よりもやや「該当」が多い。

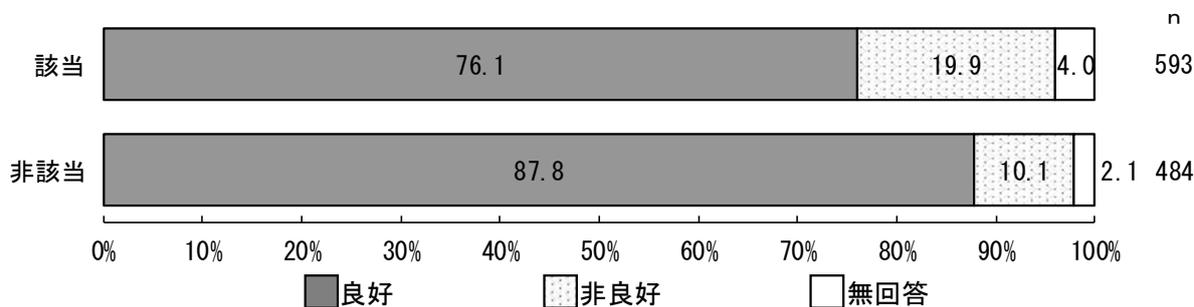
年齢区分では、70～74歳を除き、年齢が上がるにつれ「該当」の割合が高くなっている。



⁶ 「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査実施の手引き (2019年10月23日版)」27頁、51頁参照。

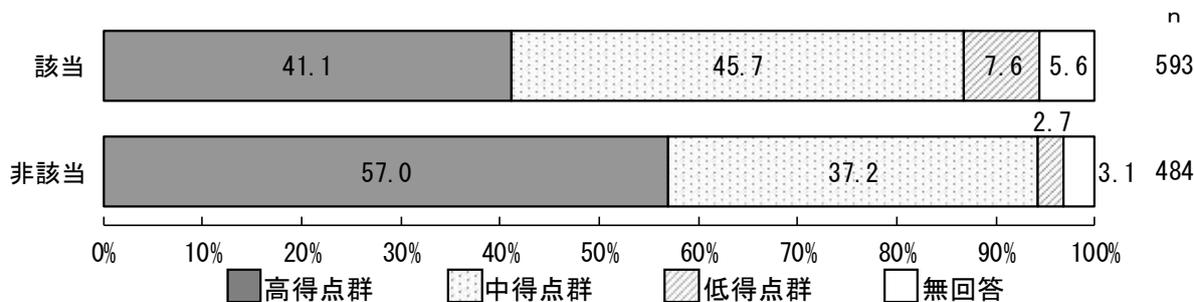
<主観的健康状態>

主観的健康状態では、「該当」は「非良好」が19.9%であり、「非該当」(10.1%)よりも高くなっている。



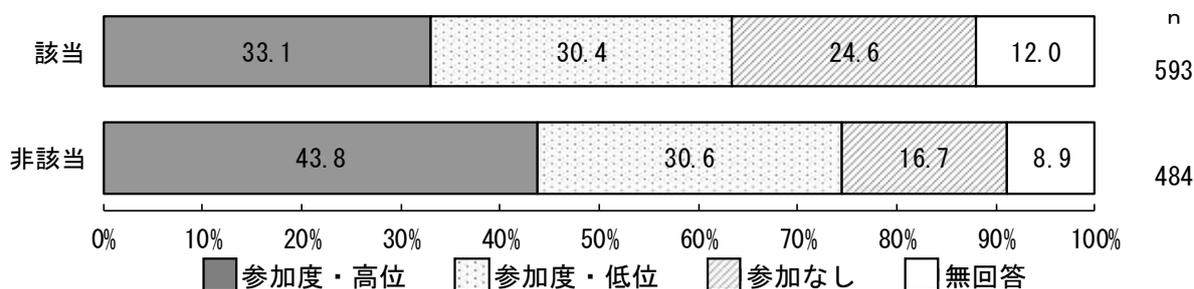
<主観的幸福度>

主観的幸福度では、「該当」は「非該当」より「高得点群」の割合が15.9ポイント低く、「中得点群」及び「低得点群」の割合が高い。



<地域活動への参加度>

地域活動への参加度では、「該当」は「非該当」よりも「参加度・高位」が10.7ポイント低く、「参加なし」が7.9ポイント高くなっており、参加度合いが低くなっている。



7. 手段的日常生活動作（IADL）

老研式活動能力指標の手段的日常生活動作（IADL）を判定する5項目は次のとおりである。

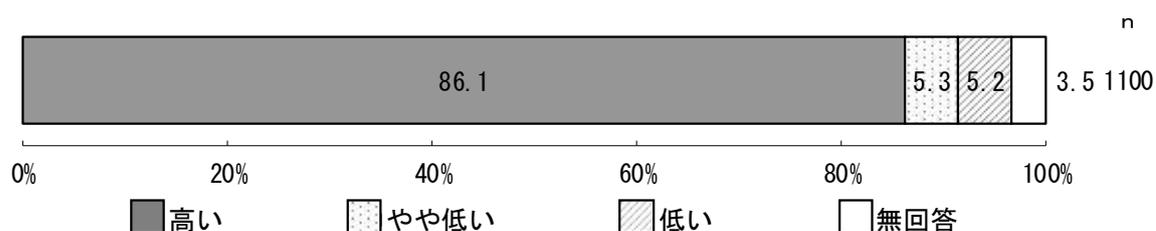
判定は、下記5項目に回答した選択肢による合計得点が5点であれば「高い」、4点であれば「やや低い」、3点以下であれば「低い」となる。

手段的日常生活動作（IADL）の判定項目

No	問	内 容	選択肢と配点
1	問4（4）	バスや電車を使って1人で外出していますか（自家用車でも可）	1点：「1. できるし、している」 「2. できるけどしていない」 0点：「3. できない」
2	問4（5）	自分で食品・日用品の買物をしていますか	1点：「1. できるし、している」 「2. できるけどしていない」 0点：「3. できない」
3	問4（6）	自分で食事の用意をしていますか	1点：「1. できるし、している」 「2. できるけどしていない」 0点：「3. できない」
4	問4（7）	自分で請求書の支払いをしていますか	1点：「1. できるし、している」 「2. できるけどしていない」 0点：「3. できない」
5	問4（8）	自分で預貯金の出し入れをしていますか	1点：「1. できるし、している」 「2. できるけどしていない」 0点：「3. できない」

<全体>

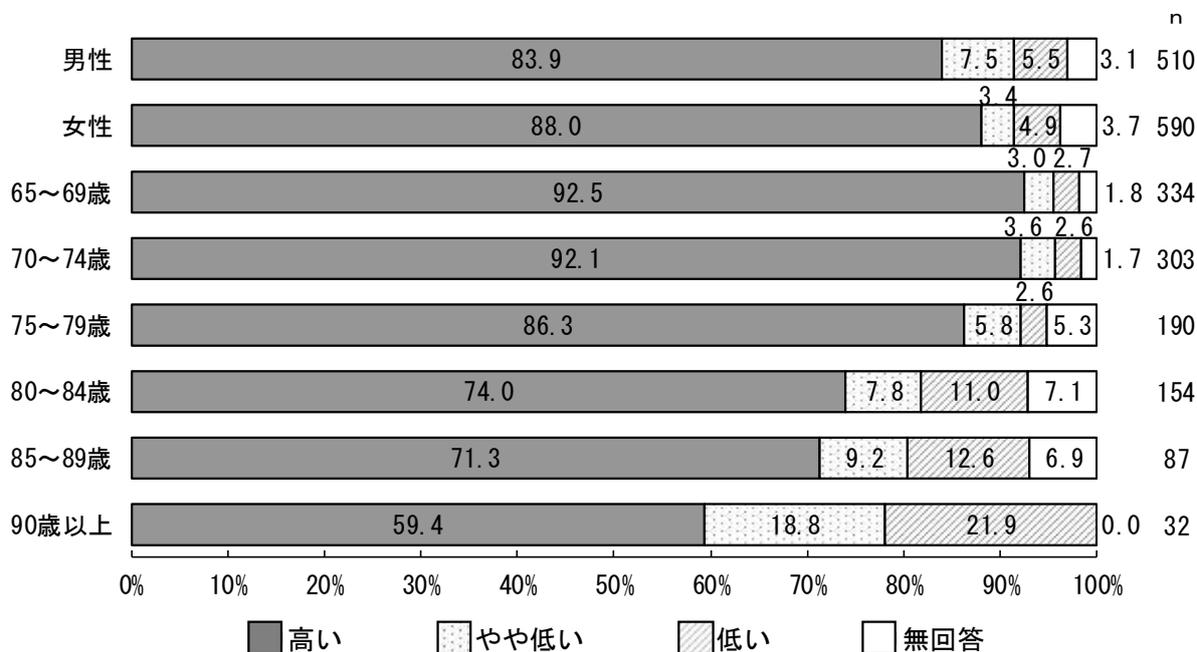
全体では、「高い」が86.1%、「やや低い」が5.3%、「低い」が5.2%となっている。



<性別・年齢区分別>

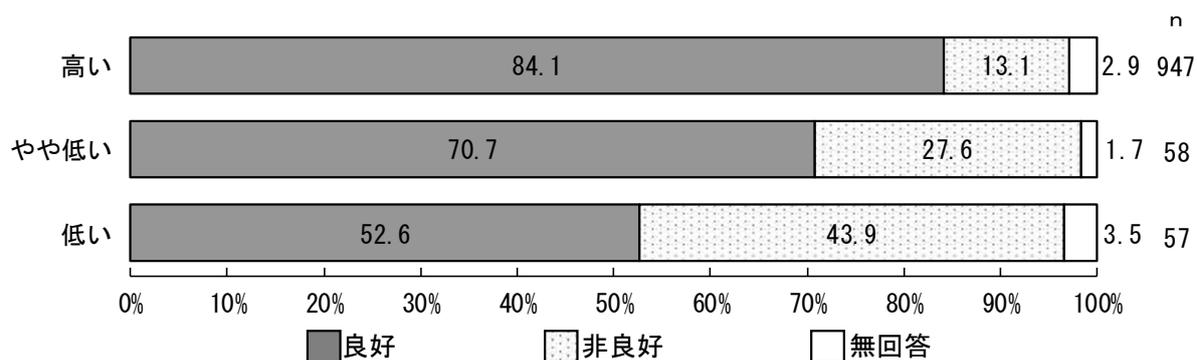
性別では、男性は「高い」の割合がより女性も4.1ポイント低い。

年齢区分では、特に70～74歳以降、「高い」の割合が減少し、「低い」の割合が増加する。80～84歳以降では、IADLの低下の度合いが大きくなっている。



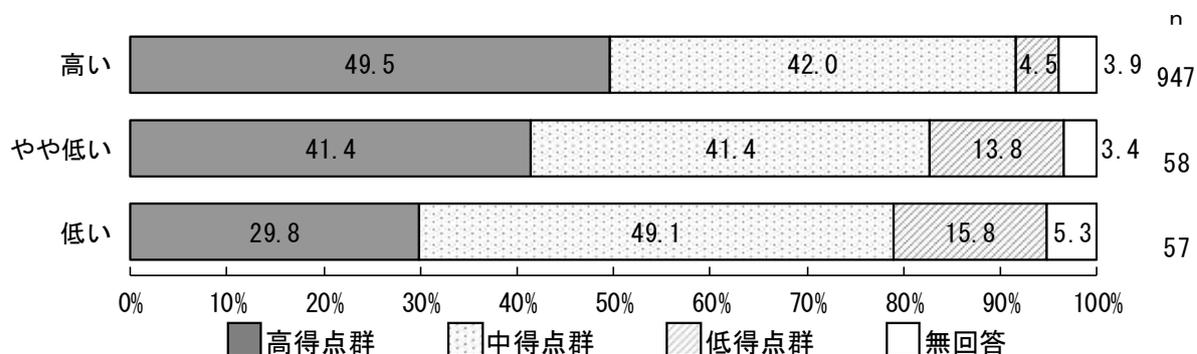
<主観的健康状態>

主観的健康状態では、IADLの低下とともに「良好」の割合が減少し、「非良好」の割合が増加する。



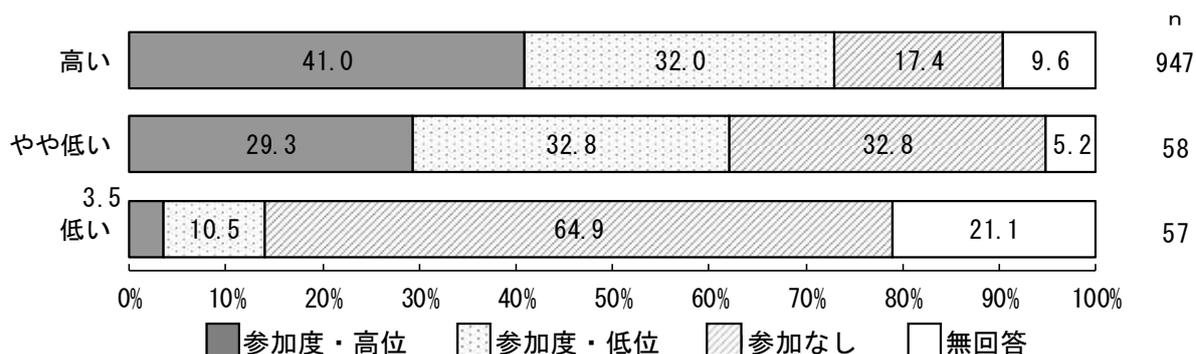
<主観的幸福度>

主観的幸福度では、IADLの低下とともに「高得点群」の割合が減少し、「低得点群」の割合が増加している。



<地域活動への参加度>

地域活動への参加度では、IADLの低下とともに参加度合いが減少する。特に「やや低い」と「低い」との間の格差が大きい。



8. 知的能動性

老研式活動能力指標の知的能動性を判定する4項目は次のとおりである。

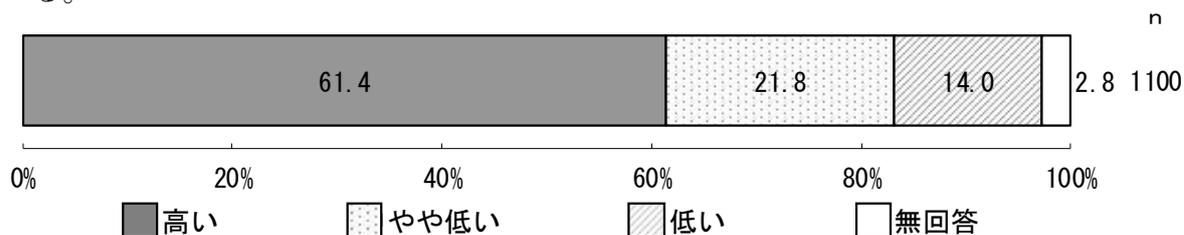
判定は、下記4項目に回答した選択肢による合計得点が4点であれば「高い」、3点であれば「やや低い」、2点以下であれば「低い」となる。

知的能動性の判定項目

No	問	内 容	選択肢と配点
1	問4 (9)	年金等の書類（役場や病院等に出す書類）が書けますか	1点：「1. はい」 0点：「2. いいえ」
2	問4 (10)	新聞を読んでいますか	1点：「1. はい」 0点：「2. いいえ」
3	問4 (11)	本や雑誌を読んでいますか	1点：「1. はい」 0点：「2. いいえ」
4	問4 (12)	健康についての記事や番組に関心がありますか	1点：「1. はい」 0点：「2. いいえ」

<全体>

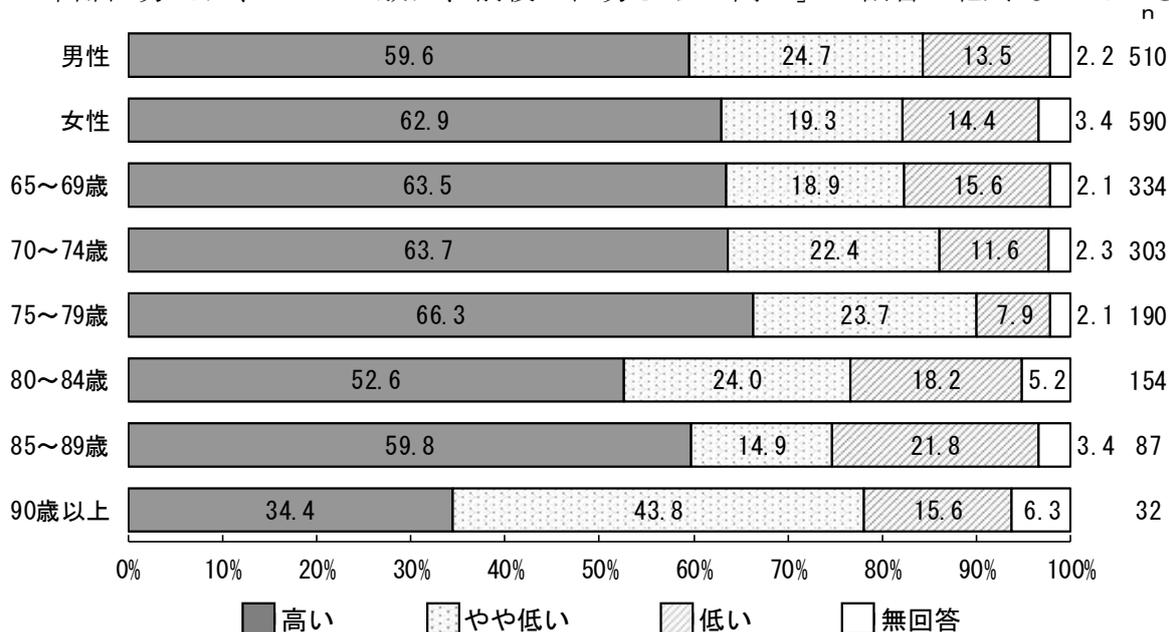
全体では、「高い」が61.4%、「やや低い」が21.8%、「低い」が14.0%となっている。



<性別・年齢区分別>

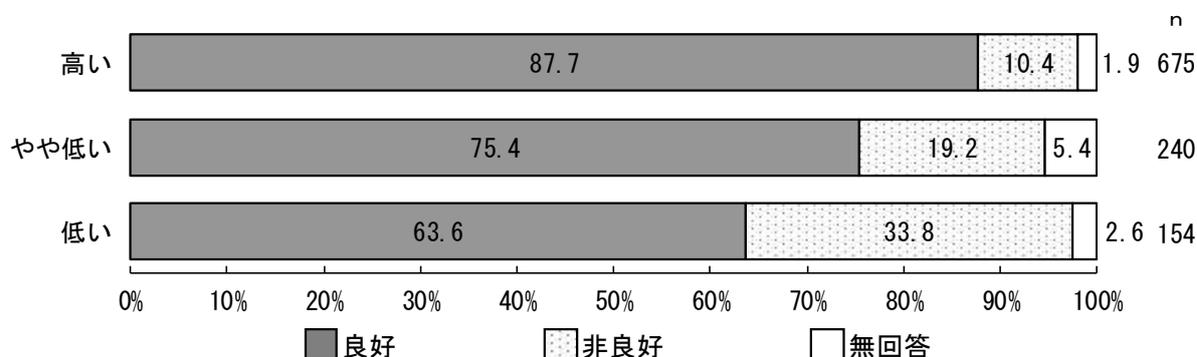
性別では、男性は「高い」の割合がよりも女性やや低い。

年齢区分では、80～84歳は、前後の区分より「高い」の割合が低くなっている。



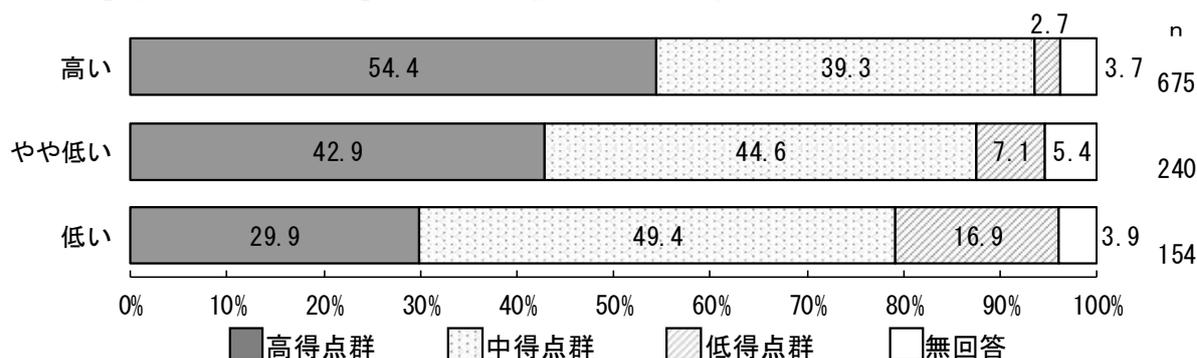
<主観的健康状態>

主観的健康状態では、知的能動性の低下とともに「良好」の割合が減少し、「非良好」の割合が増加している。



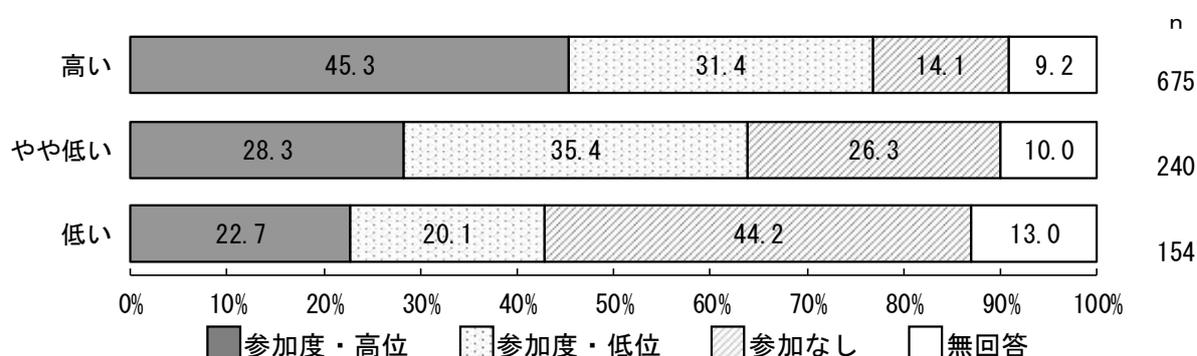
<主観的幸福度>

主観的幸福度では、知的能動性の低下とともに「高得点群」の割合が減少し、「中得点群」及び「低得点群」の割合が増加している。



<地域活動への参加度>

地域活動への参加度では、知的能動性の低下とともに参加度合いが減少している。



9. 社会的役割

老研式活動能力指標の社会的役割を判定する4項目は次のとおりである。

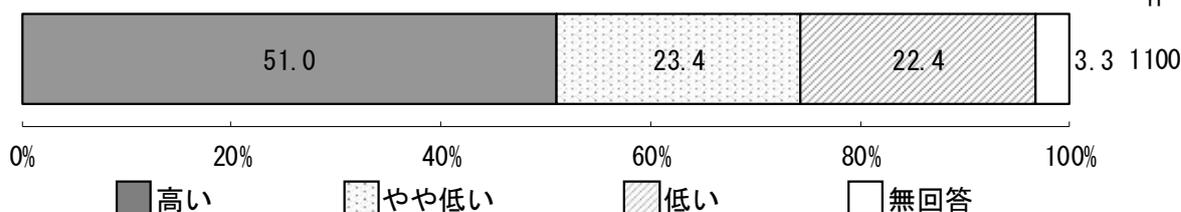
判定は、下記4項目に回答した選択肢による合計得点が4点であれば「高い」、3点であれば「やや低い」、2点以下であれば「低い」となる。

知的能動性の判定項目

No	問	内 容	選択肢と配点
1	問4 (13)	友人の家を訪ねていますか	1点:「1. はい」 0点:「2. いいえ」
2	問4 (14)	家族や友人の相談にのっていますか	1点:「1. はい」 0点:「2. いいえ」
3	問4 (15)	病人を見舞うことができますか	1点:「1. はい」 0点:「2. いいえ」
4	問4 (16)	若い人に自分から話しかけることがありますか	1点:「1. はい」 0点:「2. いいえ」

<全体>

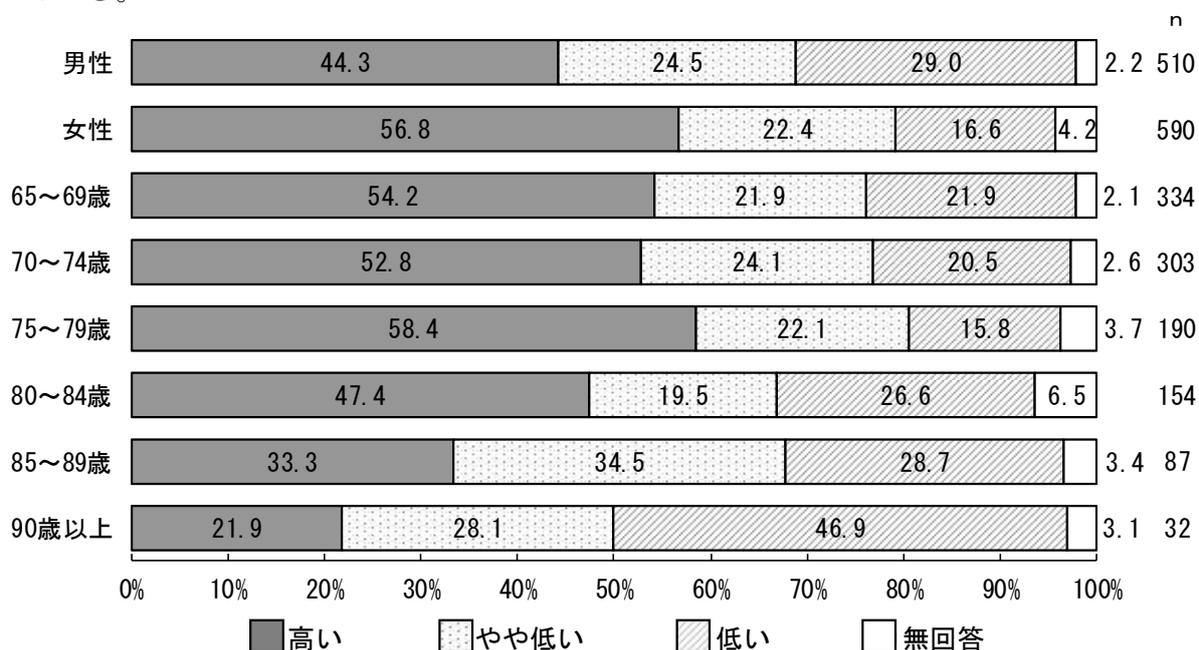
「高い」が51.0%、「やや低い」が23.4%、「低い」が22.4%となっている。ⁿ



<性別・年齢区分別>

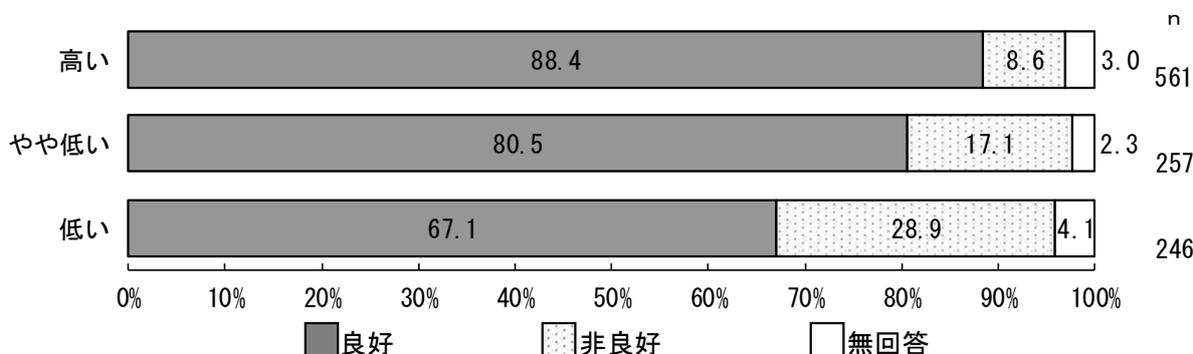
性別では、男性は「高い」の割合が女性よりも12.5ポイント低い。

年齢区分では、75～79歳以降、「高い」の割合が減少し、「低い」の割合が増加している。



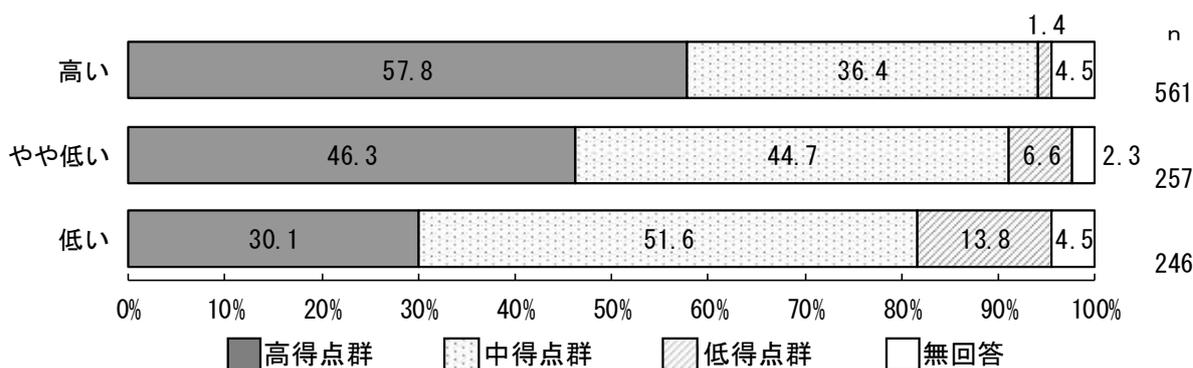
<主観的健康状態>

主観的健康状態では、社会的役割の低下とともに「良好」の割合が減少し、「非良好」の割合が増加している。



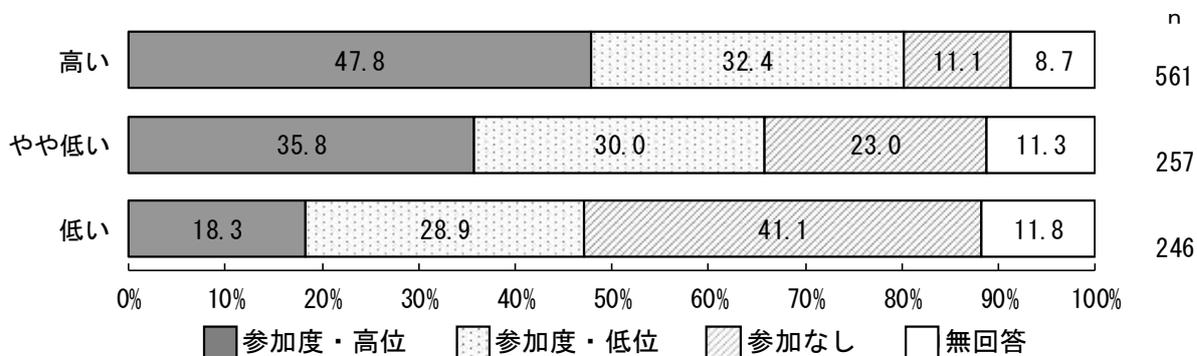
<主観的幸福度>

主観的幸福度では、社会的役割の低下とともに「高得点群」の割合が減少し、「中得点群」及び「低得点群」の割合が増加している。



<地域活動への参加度>

地域活動への参加度では、社会的役割の低下とともに参加度合いの低減が顕著となっている。



10. うつ傾向

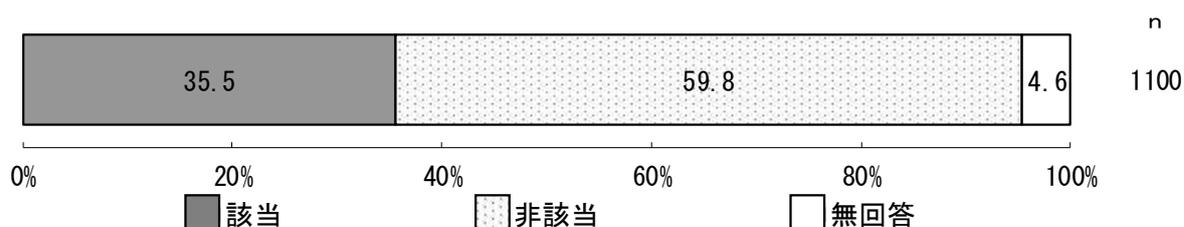
うつ傾向の判定は、下記2項目のうち、1項目でも該当選択肢である場合に「該当」する⁷。

うつ傾向の判定項目

No	問	内 容	該当選択肢
1	問7(3)	この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか	1. はい
2	問7(4)	この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか	1. はい

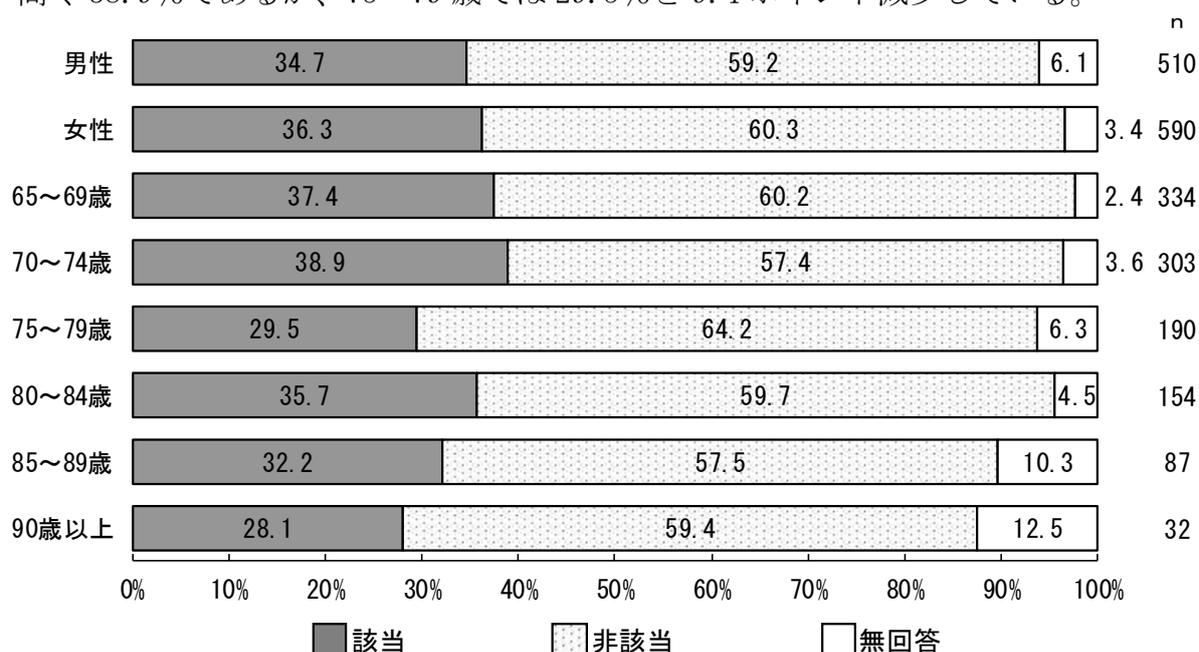
<全体>

いずれか1項目でもあれば「該当」となることから、「該当」の割合が35.5%となっている。



<性別・年齢区分別>

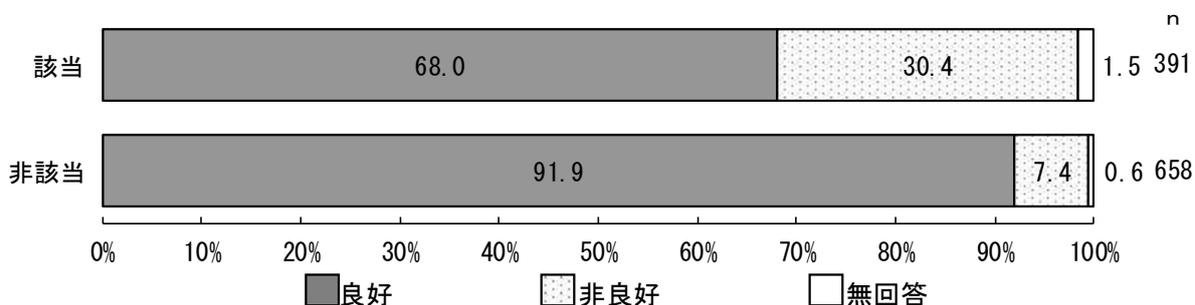
性別では、大きな差はないが、年齢区分では、「該当」の割合は70～74歳が最も高く38.9%であるが、75～79歳では29.5%と9.4ポイント減少している。



⁷ 「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査実施の手引き（2019年10月23日版）」56頁参照。

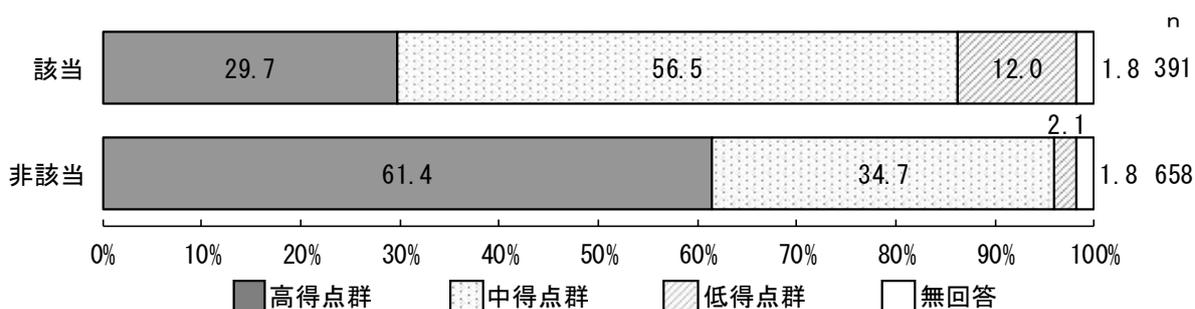
<主観的健康状態>

主観的健康状態では、「該当」は「良好」の割合が 68.0%と「非該当」(91.9%)よりも 23.9 ポイント低い。



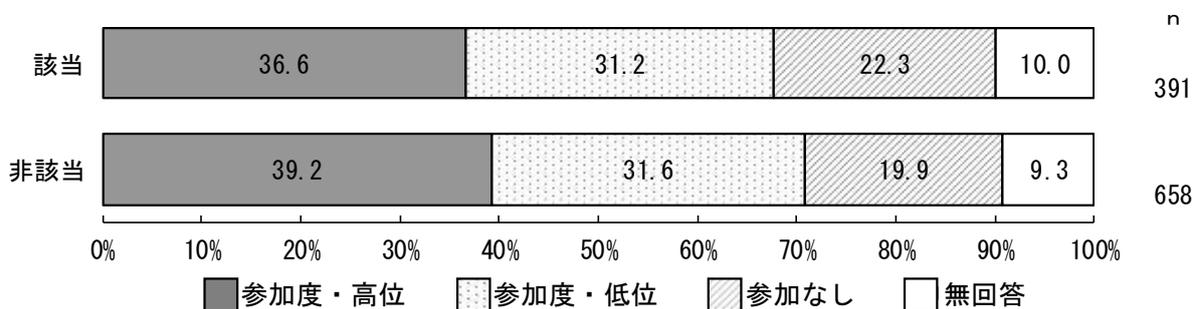
<主観的幸福度>

主観的幸福度では、「該当」は「非該当」より「高得点群」の割合が 31.7 ポイント低く、「中得点群」の割合が 21.8 ポイント、「低得点群」の割合が 9.9 ポイント高い。



<地域活動への参加度>

地域活動への参加度では、「該当」は「非該当」よりも参加度合いがやや低い。



11. 「介護予防のための通いの場」への不参加者のリスク判定

「問5（1）⑤ 介護予防のための通いの場」に「6. 参加していない」と回答した者（n=718）の各リスク判定の結果は次のとおりとなる。

介護予防事業に関連の強い判定項目についてみると、「運動器の機能低下」は「該当」が12.3%、閉じこもり傾向は「要注意」が12.1%、「該当」が6.8%、「低栄養状態」は「該当」が1.1%、「口腔機能の低下」は「該当」が20.6%となっている。

■ 「問5（1）⑤ 介護予防のための通いの場」に「6. 参加していない」と回答した者（n=718）の各リスク判定結果（上段：n、下段：%）

	合計	該当	非該当	無回答
運動器の機能低下	718	88	601	29
	100.0	12.3	83.7	4.0

	合計	要注意	該当	非該当	無回答
閉じこもり傾向	718	87	49	577	5
	100.0	12.1	6.8	80.4	0.7

	合計	該当	非該当	無回答
低栄養状態	718	8	678	32
	100.0	1.1	94.4	4.5

	合計	該当	非該当	無回答
口腔機能の低下	718	148	567	3
	100.0	20.6	79.0	0.4

	合計	該当	非該当	無回答
認知機能の低下	718	384	326	8
	100.0	53.5	45.4	1.1

	合計	高い	やや低い	低い	無回答
手段的日常生活動作（IADL）	718	621	42	42	13
	100.0	86.5	5.8	5.8	1.8

	合計	高い	やや低い	低い	無回答
知的能動性	718	437	164	111	6
	100.0	60.9	22.8	15.5	0.8

	合計	高い	やや低い	低い	無回答
社会的役割	718	342	179	185	12
	100.0	47.6	24.9	25.8	1.7

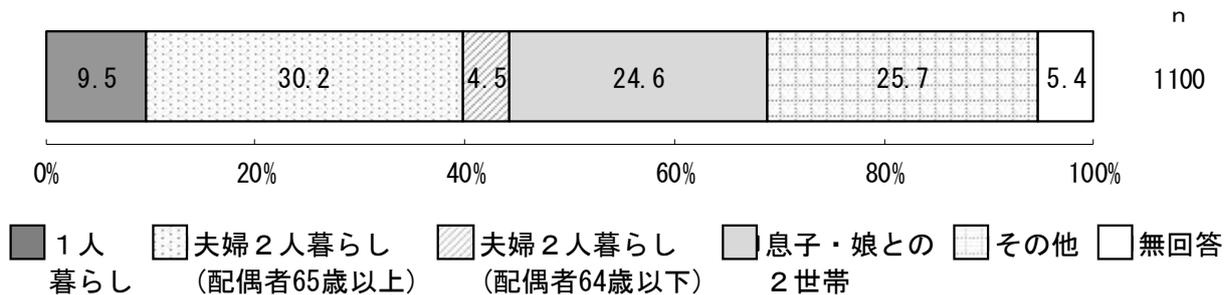
	合計	該当	非該当	無回答
うつ傾向	718	273	426	19
	100.0	38.0	59.3	2.6

IV. 項目別集計結果

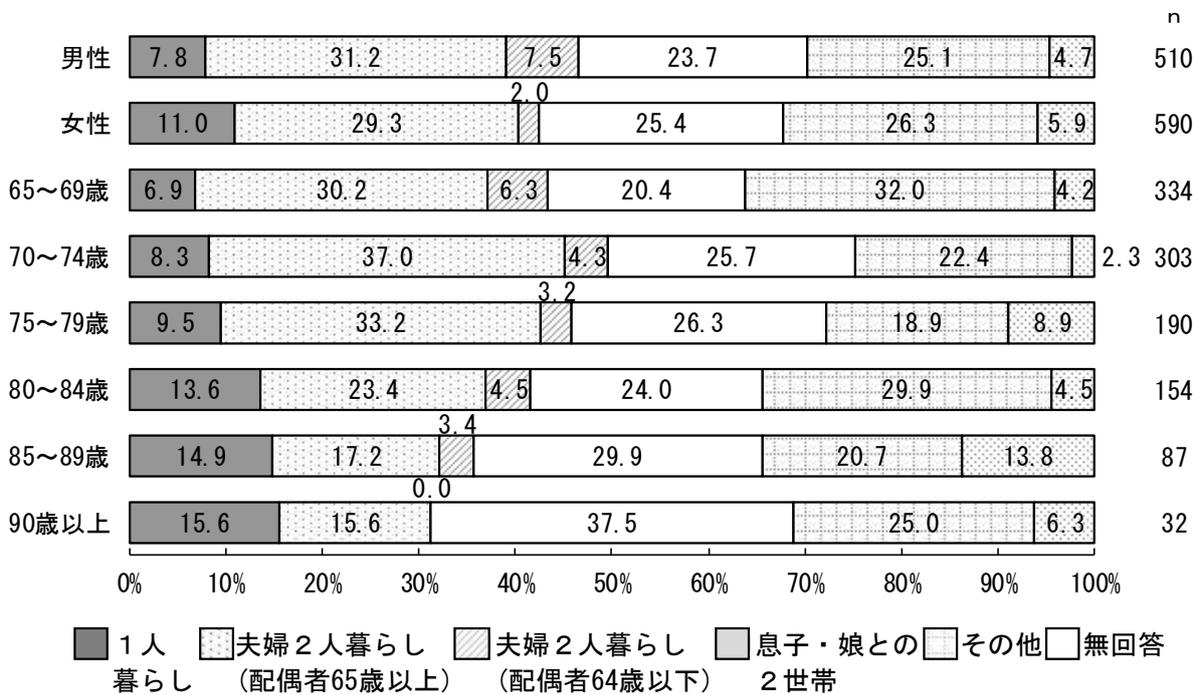
1. あなたのご家族や生活状況について

■家族構成は、「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」が30.2%と最も多く、次いで「その他」が25.7%、「息子・娘との2世帯」が24.6%、「1人暮らし」が9.5%、「夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)」が4.5%となっている。

(1) 家族構成

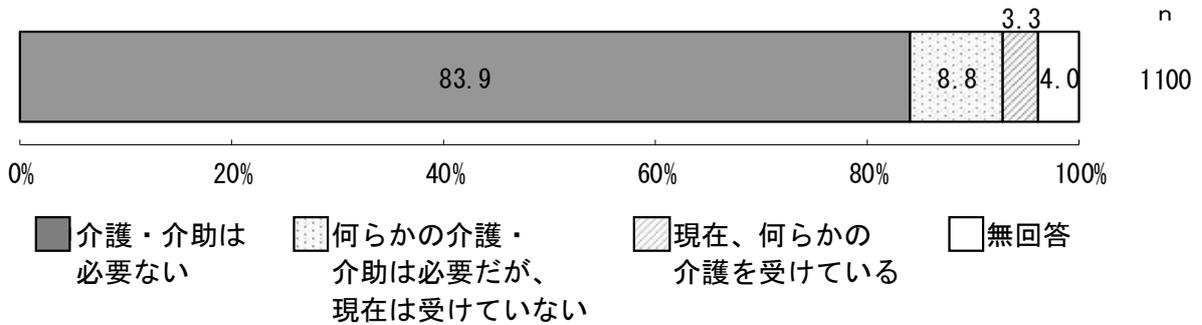


<性別・年齢クロス>

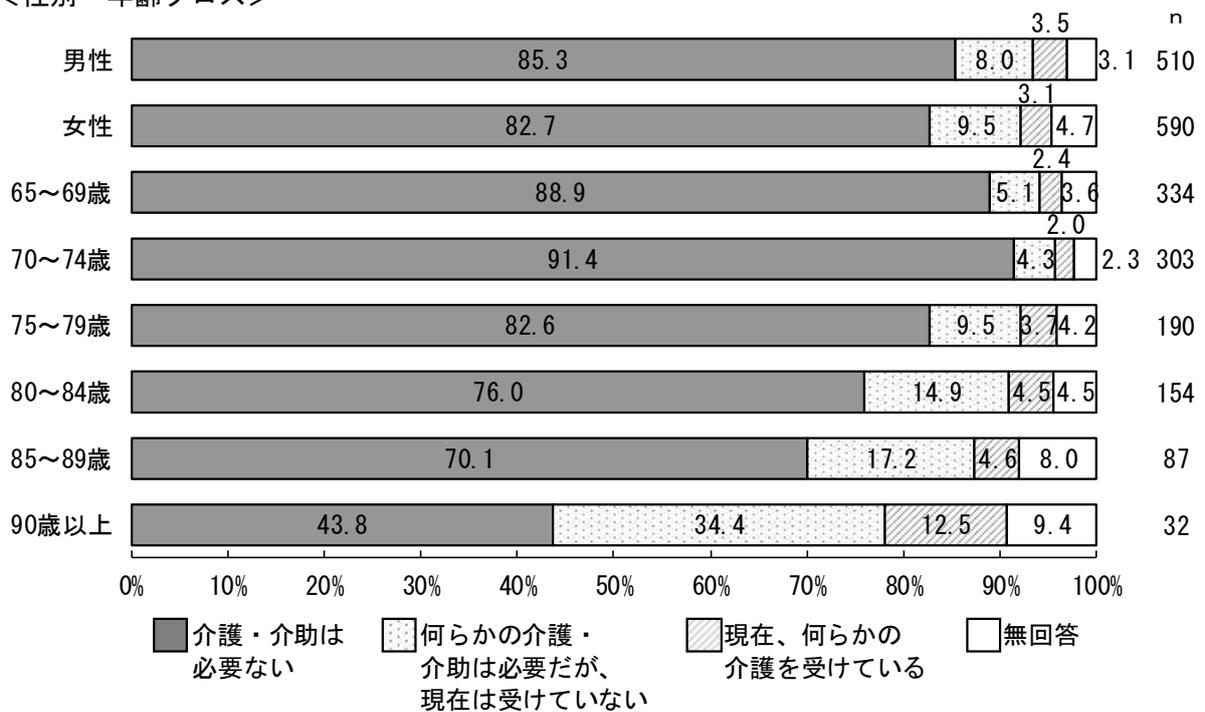


■介護・介助の必要の有無は、「介護・介助は必要ない」が83.9%、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」は8.8% (n=97)、「現在、何らかの介護を受けている」は3.3% (n=36) となっており、必要性のある者は12.1% (n=133) となる。

(2) 介護・介助の必要性



<性別・年齢クロス>

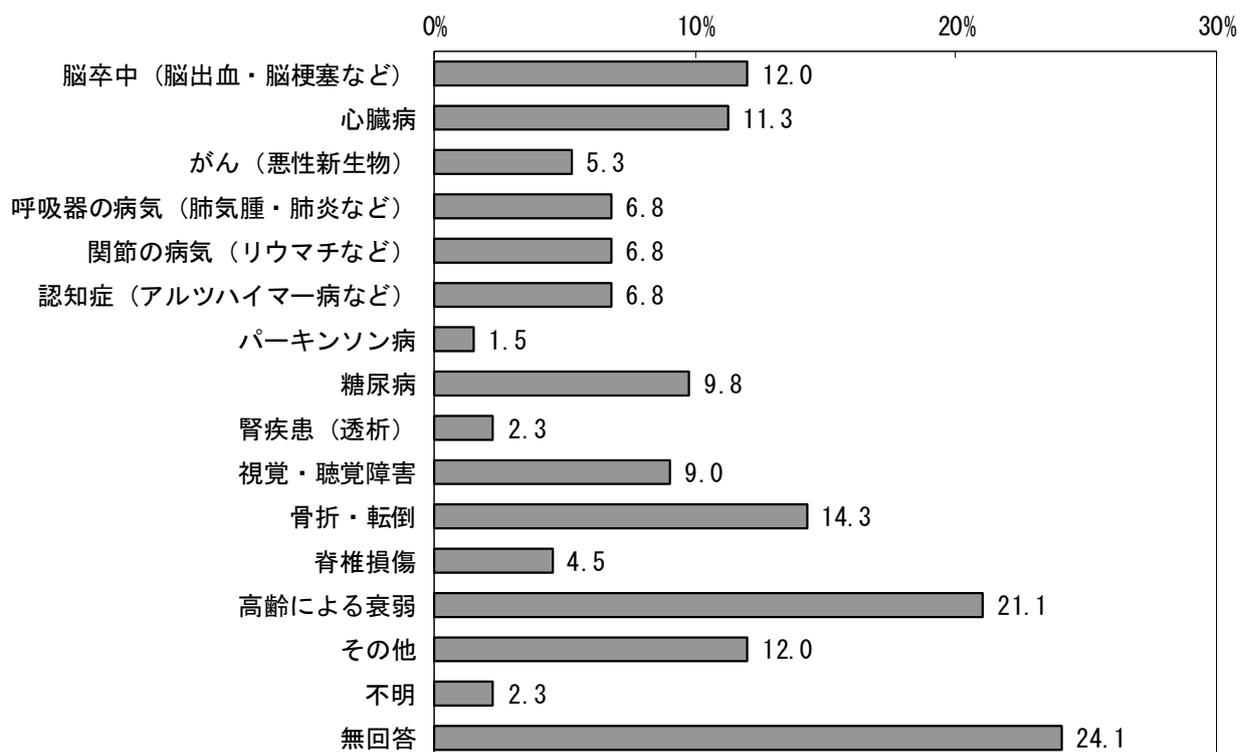


■介護・介助が必要になった主な原因は、「高齢による衰弱」が21.1%と最も多く、次いで「骨折・転倒」(14.3%)、「脳卒中(脳出血・脳梗塞など)」(12.0%)、「その他」(12.0%)、「心臓病」(11.3%)などとなっている。

① 介護・介助が必要になった主な原因

※(2) 介護・介助の必要性で「2. 介護・介助は必要だが、現在は受けていない」「3. 現在、介護を受けている」と回答した人のみ。

n=133



【複数回答】

<性別・年齢クロス>

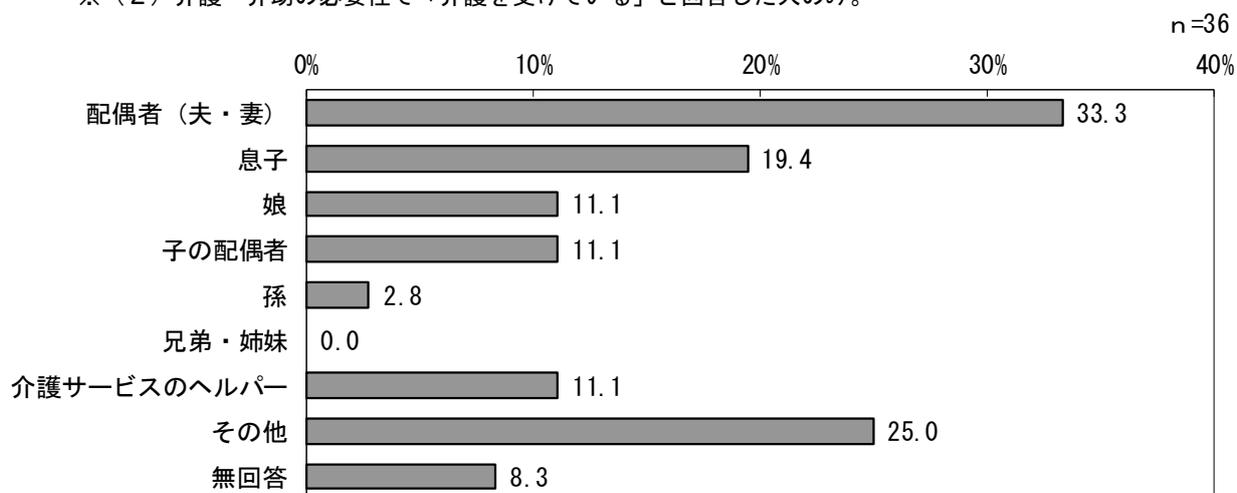
	合計	問1-(2)-① 介護・介助が必要になった主な原因								
		脳卒中(脳出血・脳梗塞など)	心臓病	がん(悪性新生物)	呼吸器の病気(肺気腫・肺炎など)	関節の病気(リウマチなど)	認知症(アルツハイマー病など)	パーキンソン病	糖尿病	
全体	133	16	15	7	9	9	9	2	13	
	100.0	12.0	11.3	5.3	6.8	6.8	6.8	1.5	9.8	
性別	男性	59	7	7	4	4	2	8	1	6
	100.0	11.9	11.9	6.8	6.8	3.4	13.6	1.7	10.2	
女性	74	9	8	3	5	7	1	1	7	
	100.0	12.2	10.8	4.1	6.8	9.5	1.4	1.4	9.5	
年齢	65~69歳	25	2	1	0	2	2	6	0	2
	100.0	8.0	4.0	0.0	8.0	8.0	24.0	0.0	8.0	
	70~74歳	19	3	3	1	1	1	2	1	2
	100.0	15.8	15.8	5.3	5.3	5.3	10.5	5.3	10.5	
	75~79歳	25	6	5	3	2	1	1	0	3
	100.0	24.0	20.0	12.0	8.0	4.0	4.0	0.0	12.0	
	80~84歳	30	2	3	2	2	3	0	1	4
100.0	6.7	10.0	6.7	6.7	10.0	0.0	3.3	13.3		
85~89歳	19	2	1	1	2	2	0	0	1	
100.0	10.5	5.3	5.3	10.5	10.5	0.0	0.0	5.3		
90歳以上	15	1	2	0	0	0	0	0	1	
100.0	6.7	13.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.7		

		合計	問1-(2)-① 介護・介助が必要になった主な原因							
			腎疾患 (透析)	視覚・聴 覚障害	骨折・転 倒	脊椎損傷	高齢によ る衰弱	その他	不明	無回答
全体		133 100.0	3 2.3	12 9.0	19 14.3	6 4.5	28 21.1	16 12.0	3 2.3	32 24.1
性別	男性	59 100.0	1 1.7	3 5.1	5 8.5	2 3.4	11 18.6	8 13.6	2 3.4	14 23.7
	女性	74 100.0	2 2.7	9 12.2	14 18.9	4 5.4	17 23.0	8 10.8	1 1.4	18 24.3
年齢	65～69歳	25 100.0	1 4.0	2 8.0	6 24.0	4 16.0	1 4.0	4 16.0	1 4.0	2 8.0
	70～74歳	19 100.0	0 0.0	2 10.5	2 10.5	0 0.0	2 10.5	3 15.8	0 0.0	4 21.1
	75～79歳	25 100.0	1 4.0	1 4.0	5 20.0	0 0.0	4 16.0	4 16.0	0 0.0	8 32.0
	80～84歳	30 100.0	1 3.3	3 10.0	3 10.0	0 0.0	9 30.0	4 13.3	2 6.7	6 20.0
	85～89歳	19 100.0	0 0.0	1 5.3	2 10.5	1 5.3	4 21.1	1 5.3	0 0.0	8 42.1
	90歳以上	15 100.0	0 0.0	3 20.0	1 6.7	1 6.7	8 53.3	0 0.0	0 0.0	4 26.7

■主な介助者は、「配偶者（夫・妻）」が33.3%と最も多く、次いで「その他」が25.0%、「息子」が19.4%となっている。

(4) 主な介護・介助者

※(2) 介護・介助の必要性で「介護を受けている」と回答した人のみ。



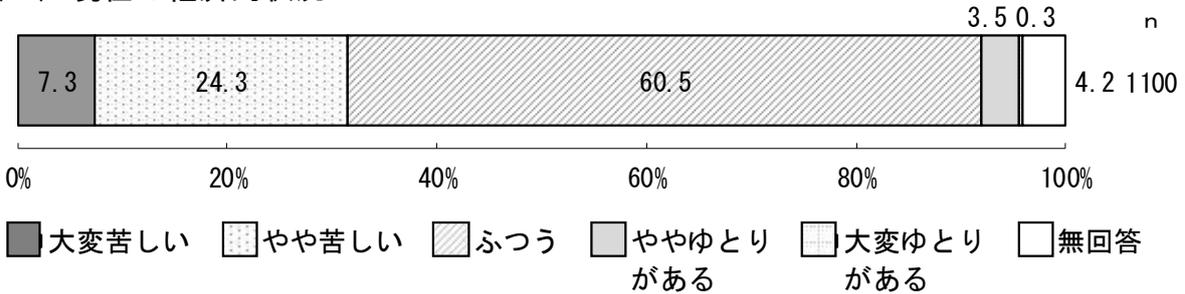
【複数回答】

<性別・年齢クロス>

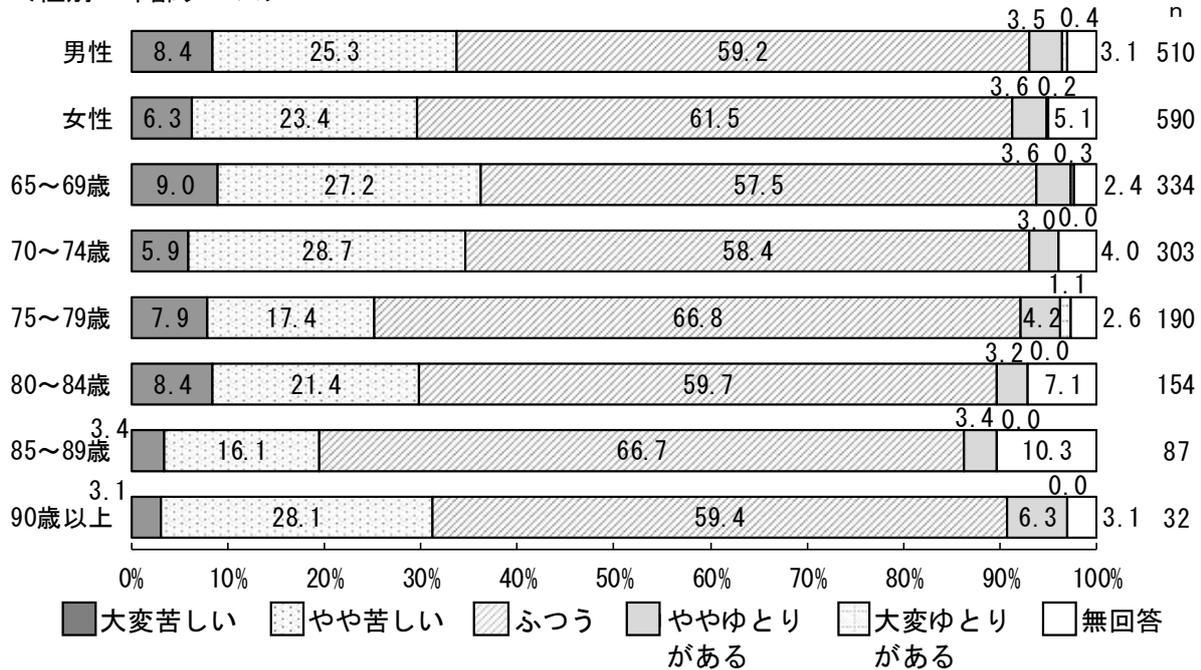
	合計	問1-(2)-② 主な介助者									
		配偶者 (夫・妻)	息子	娘	子の配偶者	孫	兄弟・姉妹	介護サービスのヘルパー	その他	無回答	
全体	36 100.0	12 33.3	7 19.4	4 11.1	4 11.1	1 2.8	0 0.0	4 11.1	9 25.0	3 8.3	
性別	男性	18 100.0	8 44.4	2 11.1	0 0.0	3 16.7	0 0.0	0 0.0	2 11.1	3 16.7	1 5.6
	女性	18 100.0	4 22.2	5 27.8	4 22.2	1 5.6	1 5.6	0 0.0	2 11.1	6 33.3	2 11.1
年齢	65～69歳	8 100.0	1 12.5	0 0.0	0 0.0	2 25.0	0 0.0	0 0.0	2 25.0	4 50.0	0 0.0
	70～74歳	6 100.0	3 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 16.7	2 33.3	0 0.0
	75～79歳	7 100.0	2 28.6	2 28.6	1 14.3	0 0.0	1 14.3	0 0.0	0 0.0	1 14.3	3 42.9
	80～84歳	7 100.0	5 71.4	0 0.0	1 14.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 14.3	1 14.3	0 0.0
	85～89歳	4 100.0	1 25.0	3 75.0	1 25.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	90歳以上	4 100.0	0 0.0	2 50.0	1 25.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0

■現在の経済的状況は、「ふつう」が60.5%と最も多く、次いで「やや苦しい」が24.3%、「大変苦しい」が7.3%となっている。

(5) 現在の経済的状況

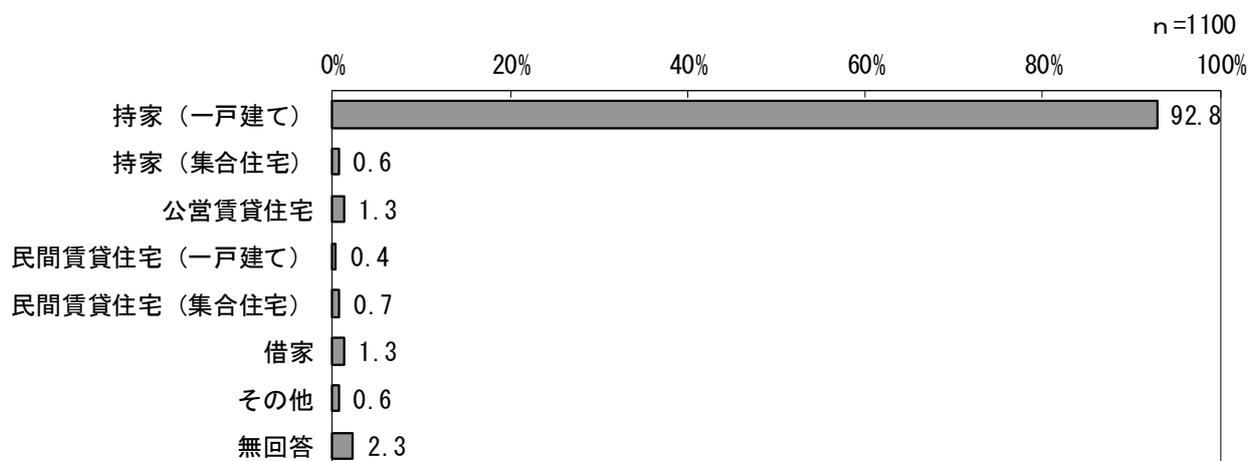


<性別・年齢クロス>



■「持家（一戸建て）」が92.8%と多くを占める。

(6) 住居



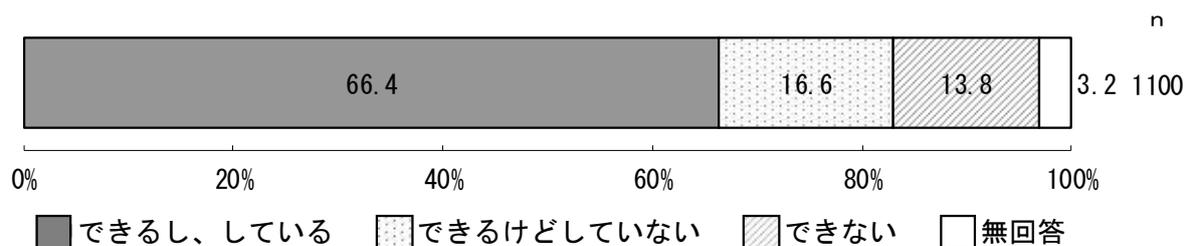
<性別・年齢クロス>

	合計	問1-(4) 住居								
		持家（一戸建て）	持家（集合住宅）	公営賃貸住宅	民間賃貸住宅（一戸建て）	民間賃貸住宅（集合住宅）	借家	その他	無回答	
全体	1100 100.0	1021 92.8	7 0.6	14 1.3	4 0.4	8 0.7	14 1.3	7 0.6	25 2.3	
性別	男性	510 100.0	474 92.9	3 0.6	7 1.4	2 0.4	3 0.6	6 1.2	4 0.8	11 2.2
	女性	590 100.0	547 92.7	4 0.7	7 1.2	2 0.3	5 0.8	8 1.4	3 0.5	14 2.4
年齢	65～69歳	334 100.0	309 92.5	0 0.0	4 1.2	0 0.0	5 1.5	7 2.1	3 0.9	6 1.8
	70～74歳	303 100.0	281 92.7	2 0.7	5 1.7	2 0.7	2 0.7	3 1.0	2 0.7	6 2.0
	75～79歳	190 100.0	180 94.7	1 0.5	2 1.1	0 0.0	1 0.5	2 1.1	0 0.0	4 2.1
	80～84歳	154 100.0	141 91.6	1 0.6	2 1.3	2 1.3	0 0.0	1 0.6	2 1.3	5 3.2
	85～89歳	87 100.0	80 92.0	1 1.1	1 1.1	0 0.0	0 0.0	1 1.1	0 0.0	4 4.6
	90歳以上	32 100.0	30 93.8	2 6.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

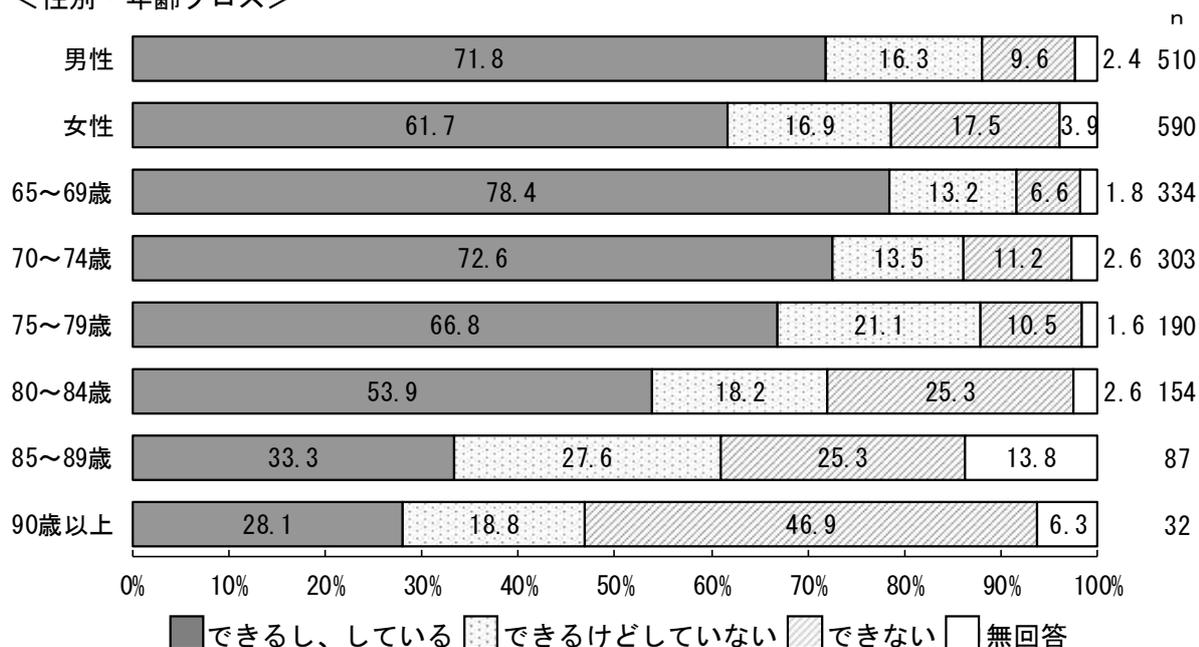
2. からだを動かすことについて

- 運動器に関する(1)～(3)は、「できるし、している」が6～7割台となっている。
- 各項目とも、80～84歳以降、「できるし、している」の割合が顕著に低下している。

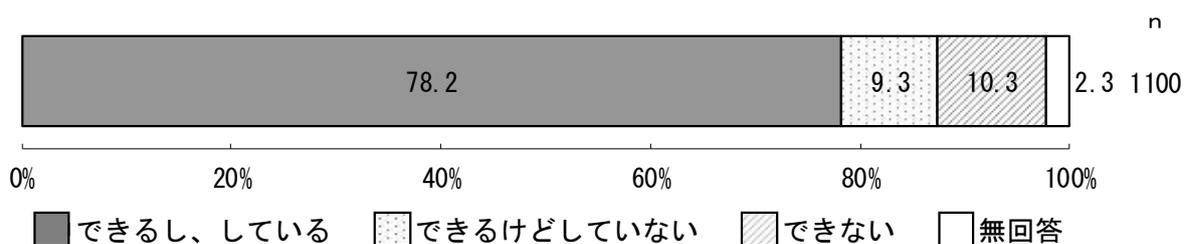
(1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか



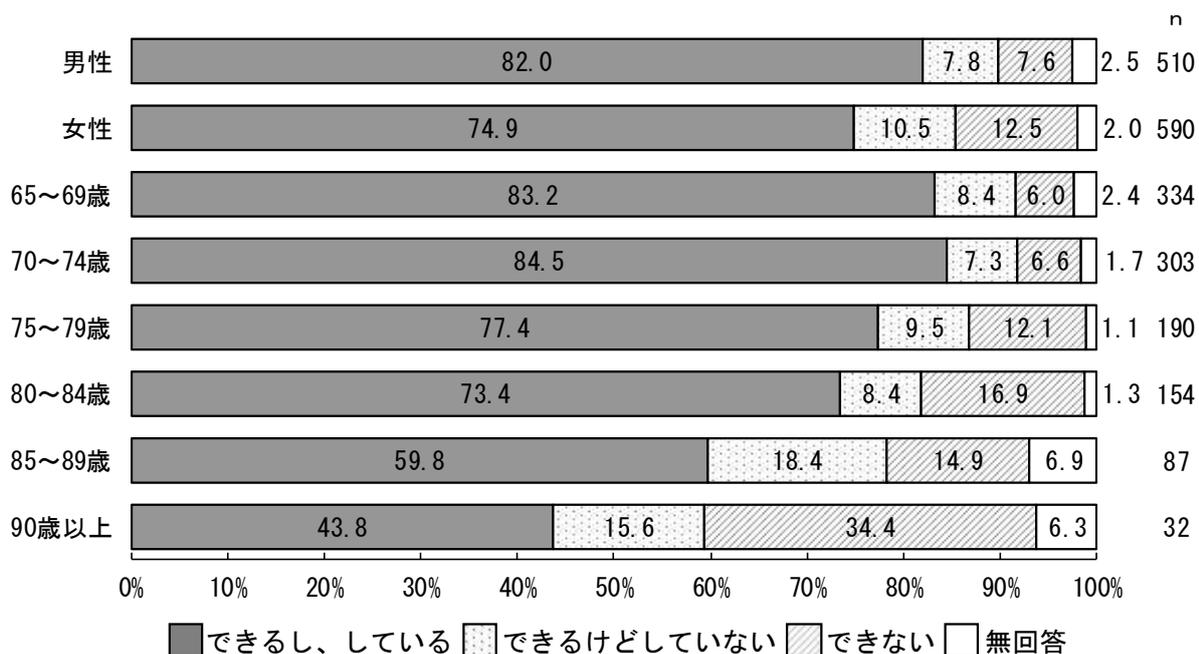
<性別・年齢クロス>



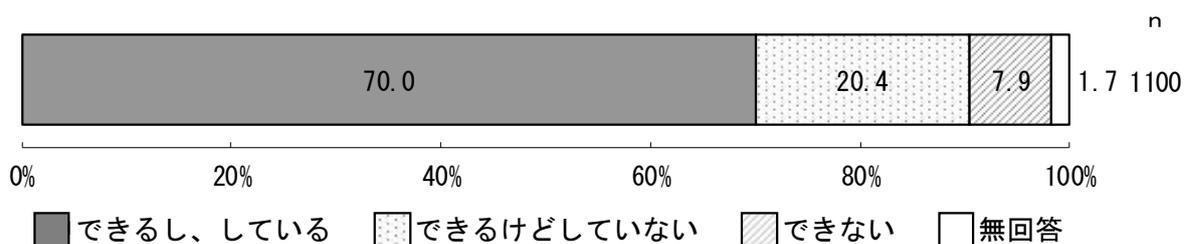
(2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか



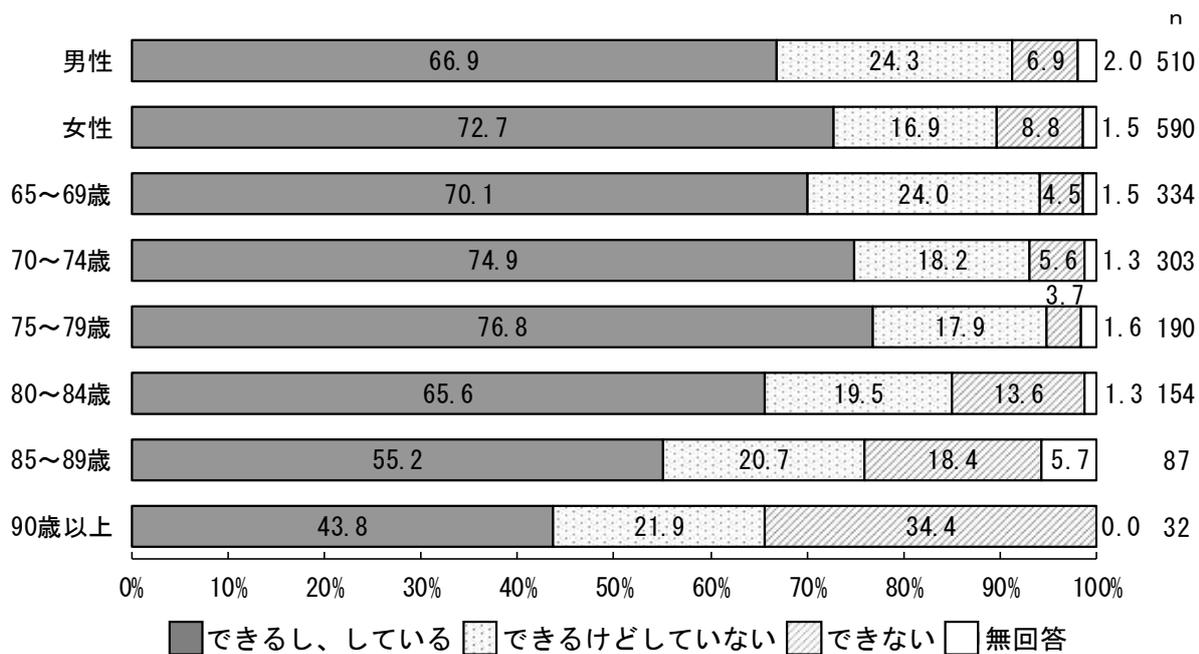
<性別・年齢クロス>



(3) 15分位続けて歩いていますか



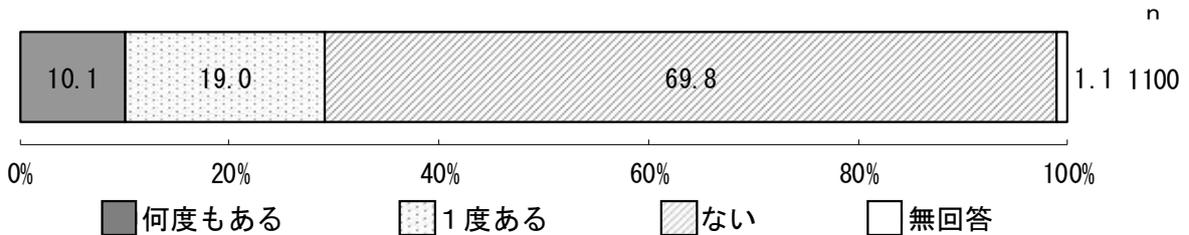
<性別・年齢クロス>



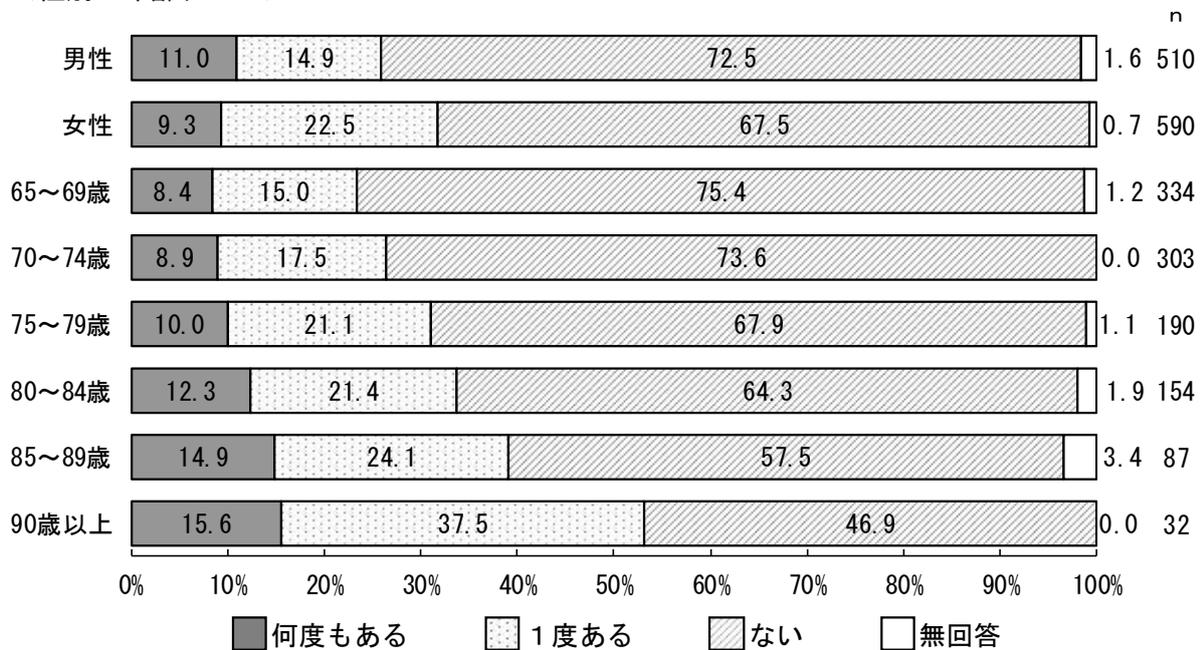
■転倒に関する（４）～（５）について、転倒経験は69.8%が「ない」としているが、転倒の不安は「とても不安」（14.0%）と「やや不安」（34.5%）を合わせ約5割となる。

■年齢区分が上がるにつれ、転倒経験と転倒不安の割合が高くなっている。

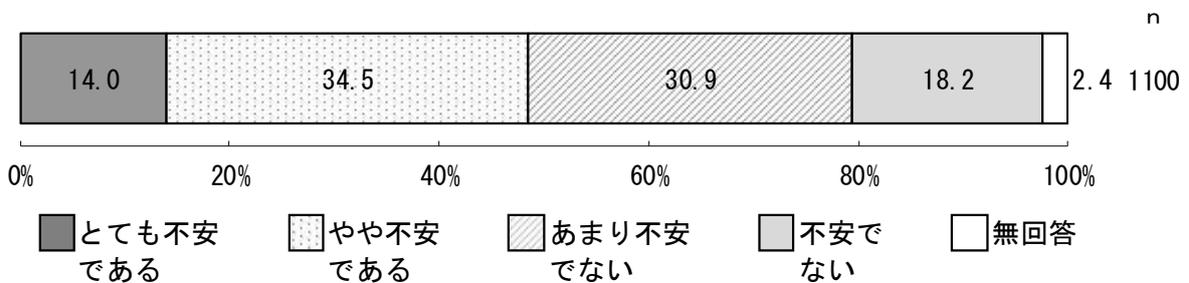
（４）過去１年間に転んだ経験がありますか



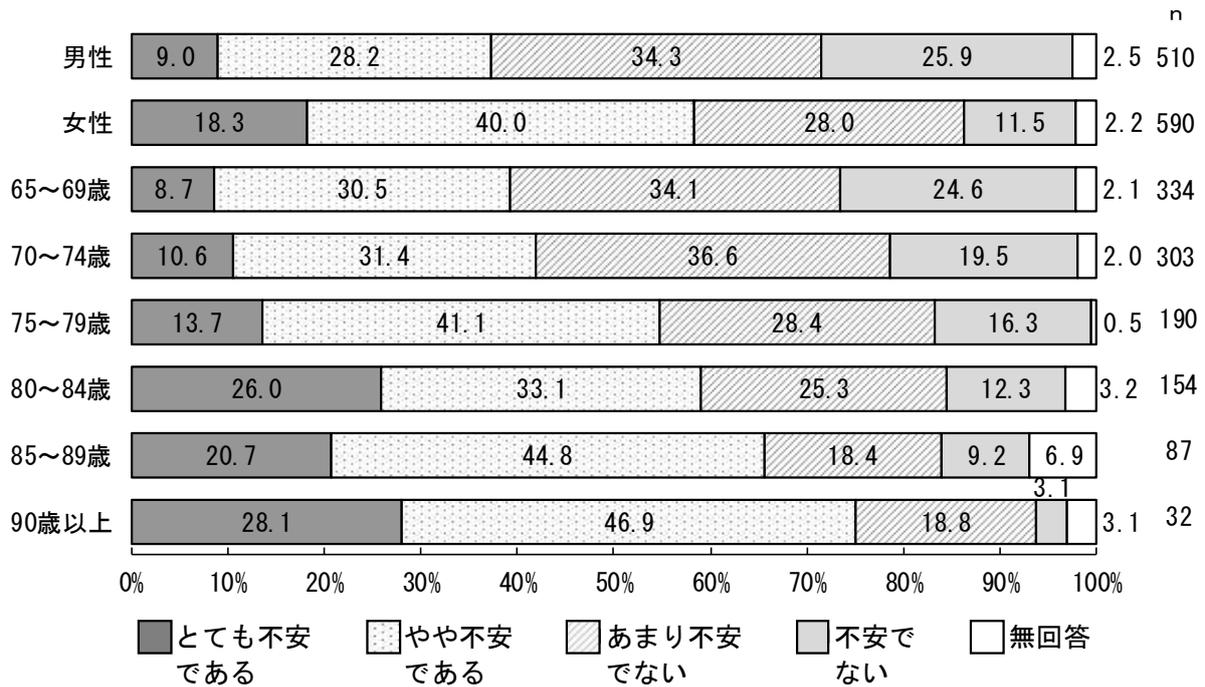
<性別・年齢クロス>



（５）転倒に対する不安は大きいですか

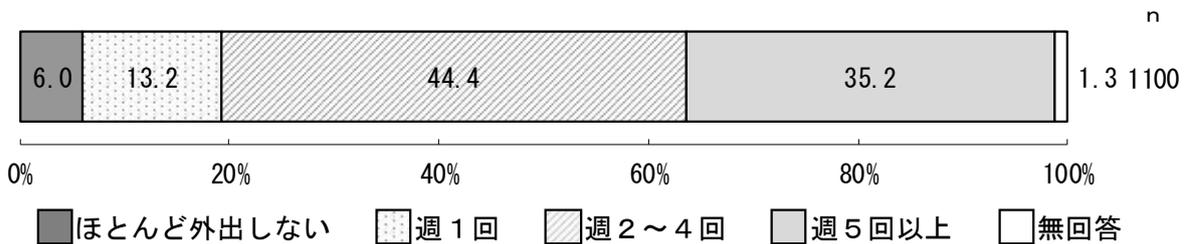


<性別・年齢クロス>

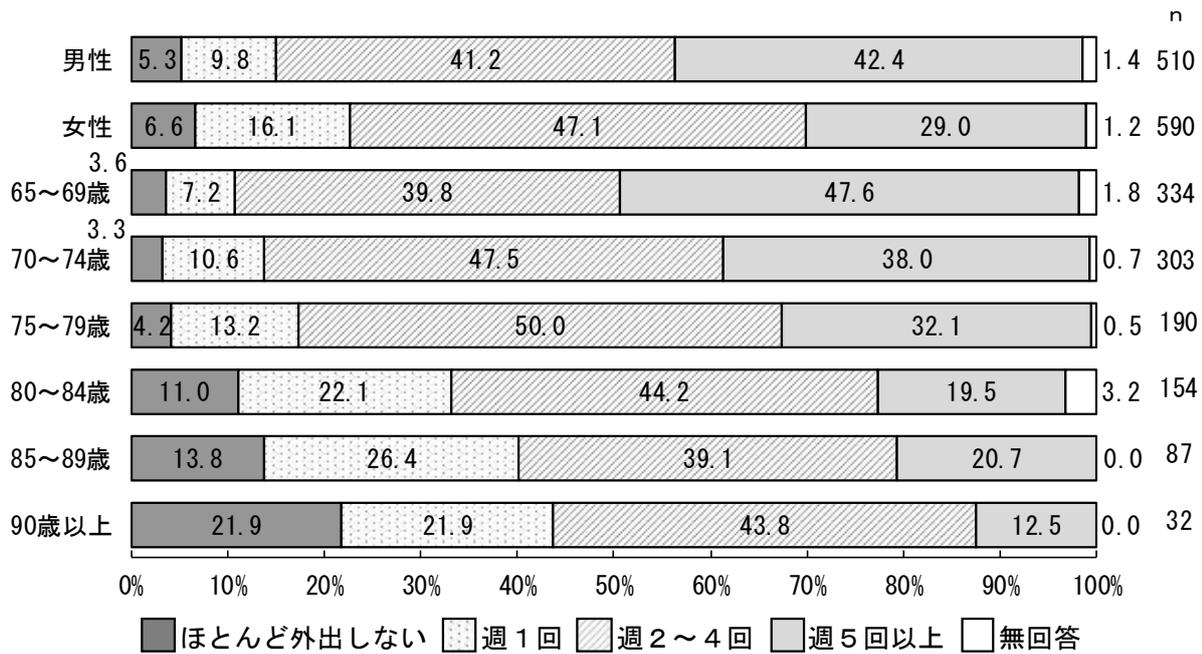


- 外出に関する(6)～(9)について、約9割は「週1回以上」の外出をしており、「ほとんど外出しない」は6.0%にとどまるが、昨年に比べた外出回数は約2割が「減っている」状況にある。また、20.4%が外出を控える傾向にあり、その理由として、45.5%が「足腰などの痛み」をあげている。
- 外出の際の移動手段は、「自動車(自分で運転)」が66.9%と最も多く、次いで、「徒歩」が41.0%、「自動車(人に乗せてもらう)」が27.3%となっている。
- 女性は、男性よりも外出頻度が少なく、外出を控える傾向にある。
- 年齢区分が上がるにつれ、外出を控える傾向にある。

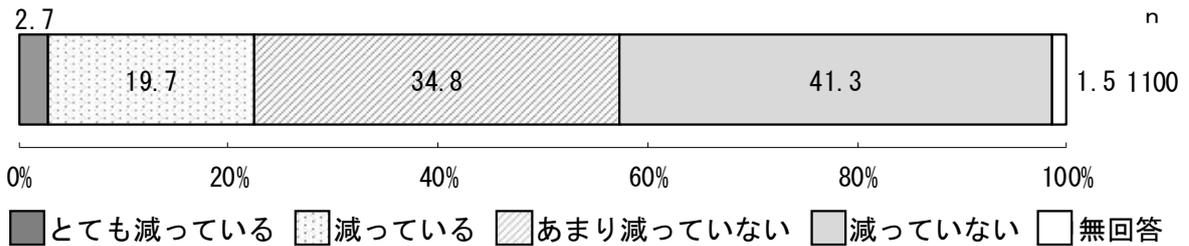
(6) 週に1回以上は外出していますか



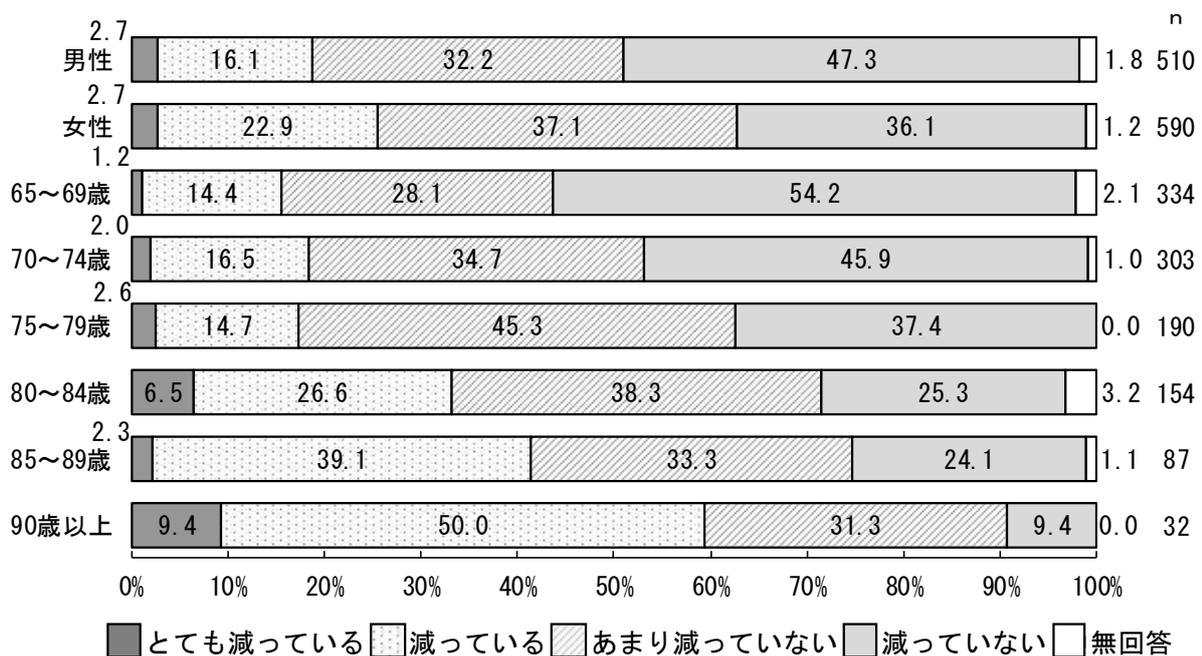
<性別・年齢クロス>



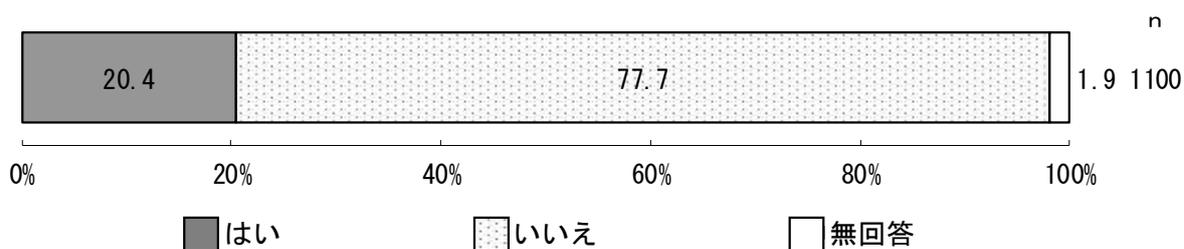
(7) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか



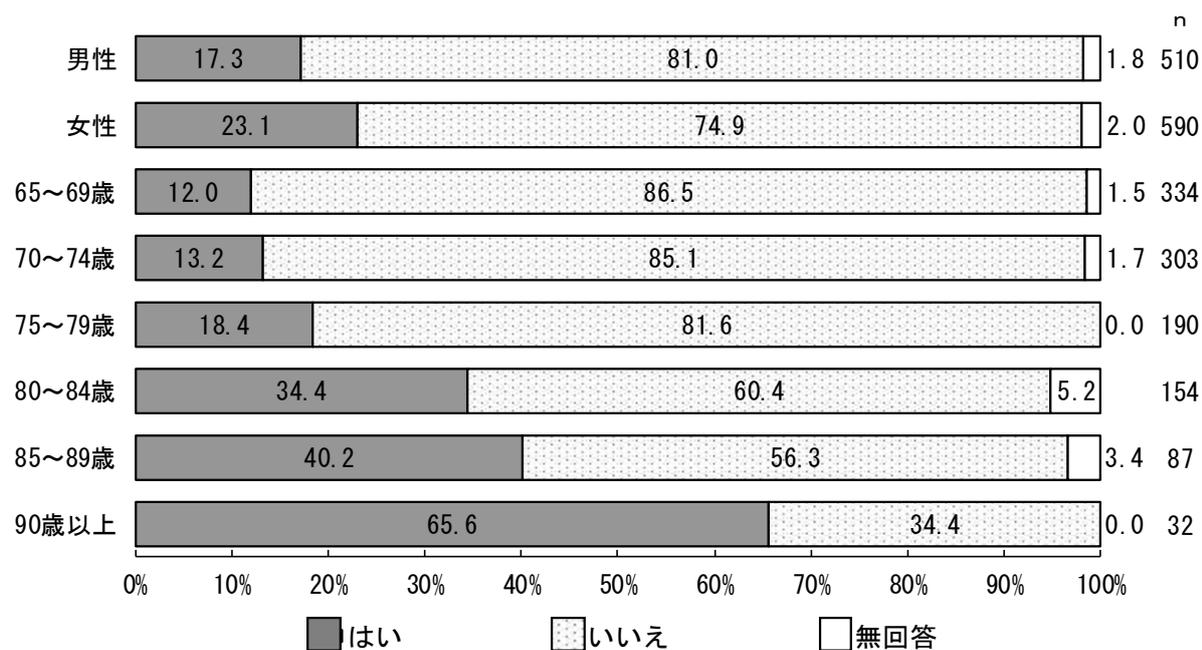
<性別・年齢クロス>



(8) 外出を控えていますか

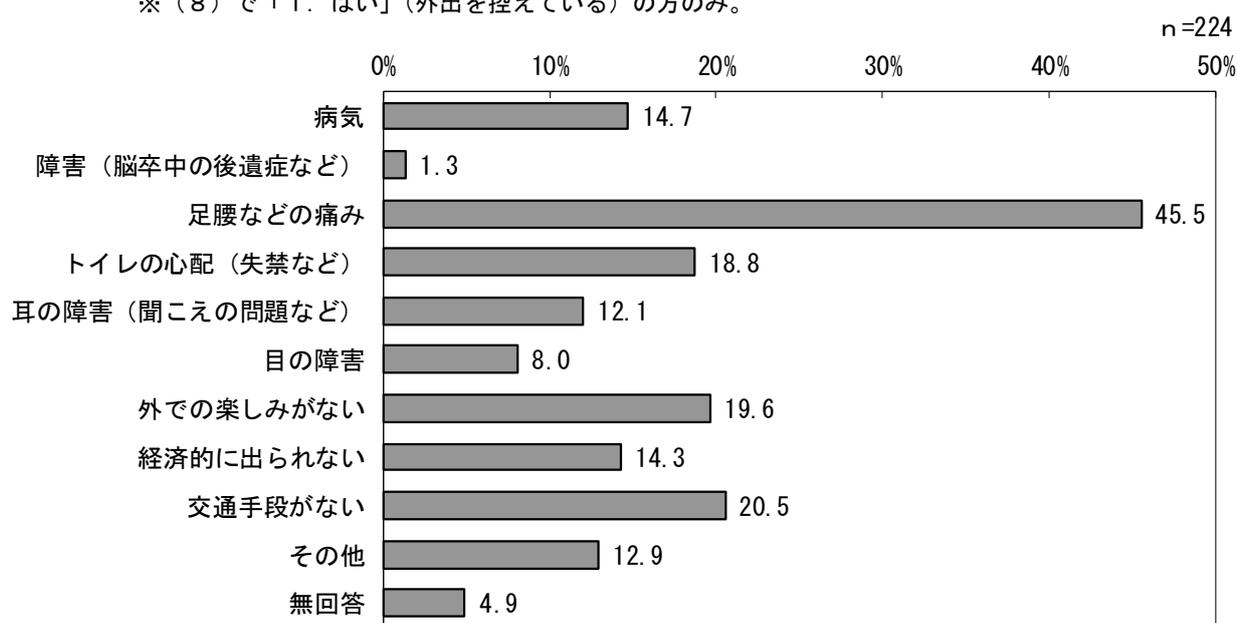


<性別・年齢クロス>



① 外出を控えている理由は、次のどれですか

※ (8) で「1. はい」(外出を控えている)の方のみ。

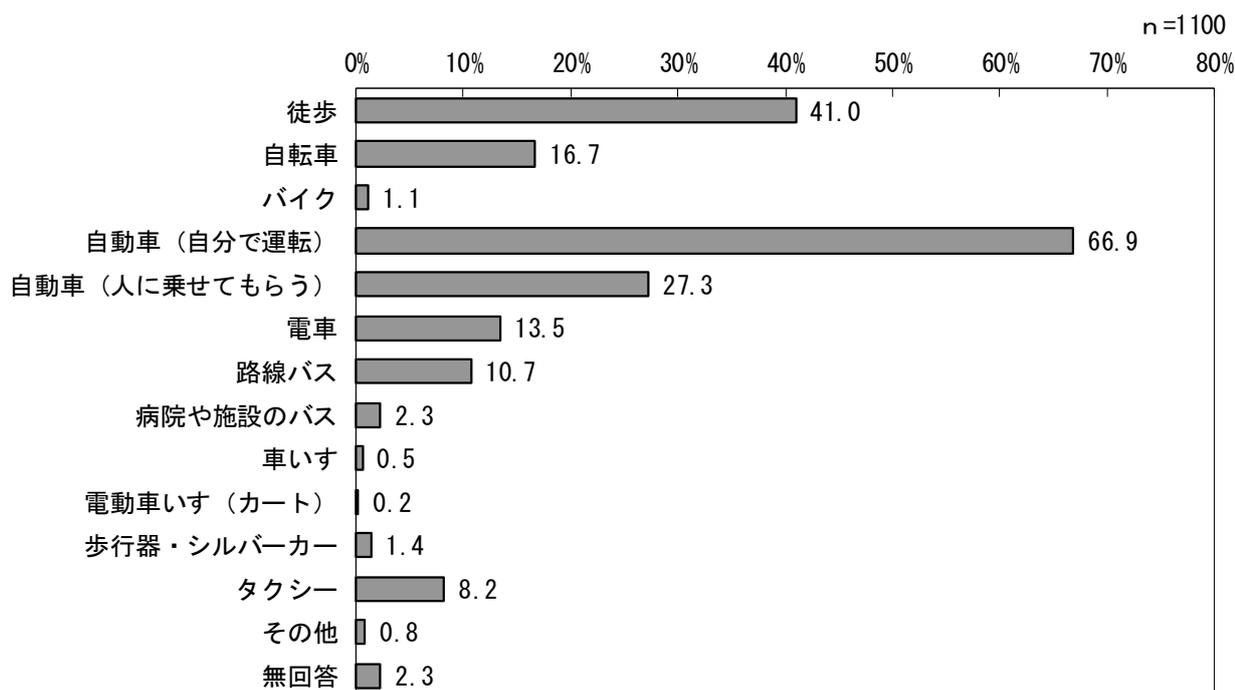


【複数回答】

<性別・年齢クロス>

		合計	問2-(8)-① 外出を控えている理由										
			病気	障害（脳卒中の後遺症など）	足腰などの痛み	トイレの心配（失禁など）	耳の障害（聞こえの問題など）	目の障害	外での楽しみがない	経済的に出られない	交通手段がない	その他	無回答
全体		224 100.0	33 14.7	3 1.3	102 45.5	42 18.8	27 12.1	18 8.0	44 19.6	32 14.3	46 20.5	29 12.9	11 4.9
性別	男性	88 100.0	13 14.8	2 2.3	34 38.6	17 19.3	10 11.4	7 8.0	16 18.2	14 15.9	16 18.2	8 9.1	3 3.4
	女性	136 100.0	20 14.7	1 0.7	68 50.0	25 18.4	17 12.5	11 8.1	28 20.6	18 13.2	30 22.1	21 15.4	8 5.9
年齢	65～69歳	40 100.0	8 20.0	1 2.5	15 37.5	3 7.5	1 2.5	1 2.5	9 22.5	9 22.5	6 15.0	12 30.0	0 0.0
	70～74歳	40 100.0	5 12.5	0 0.0	15 37.5	6 15.0	3 7.5	3 7.5	9 22.5	7 17.5	7 17.5	6 15.0	1 2.5
	75～79歳	35 100.0	5 14.3	0 0.0	12 34.3	10 28.6	3 8.6	3 8.6	4 11.4	8 22.9	12 34.3	4 11.4	4 11.4
	80～84歳	53 100.0	10 18.9	1 1.9	28 52.8	11 20.8	9 17.0	9 17.0	8 15.1	5 9.4	13 24.5	3 5.7	4 7.5
	85～89歳	35 100.0	3 8.6	0 0.0	20 57.1	9 25.7	6 17.1	1 2.9	12 34.3	3 8.6	6 17.1	2 5.7	0 0.0
	90歳以上	21 100.0	2 9.5	1 4.8	12 57.1	3 14.3	5 23.8	1 4.8	2 9.5	0 0.0	2 9.5	2 9.5	2 9.5

(9) 外出する際の移動手段は何ですか



【複数回答】

<性別・年齢クロス>

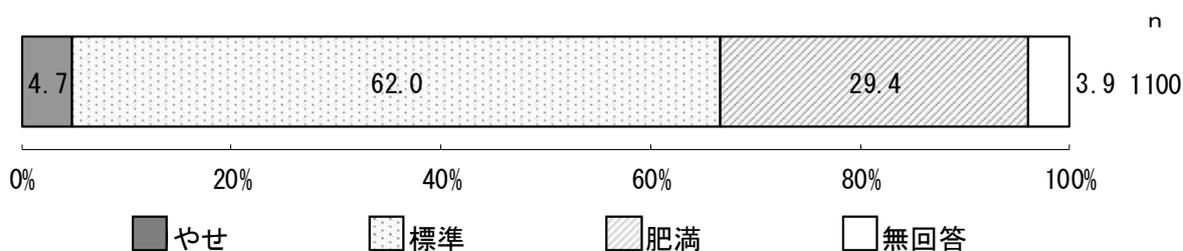
		合計	問2-(9) 外出する際の移動手段は何ですか						路線バス
			徒歩	自転車	バイク	自動車 (自分で 運転)	自動車 (人に乗 せてもら う)	電車	
全体		1100 100.0	451 41.0	184 16.7	12 1.1	736 66.9	300 27.3	148 13.5	118 10.7
性別	男性	510 100.0	195 38.2	96 18.8	11 2.2	422 82.7	63 12.4	61 12.0	27 5.3
	女性	590 100.0	256 43.4	88 14.9	1 0.2	314 53.2	237 40.2	87 14.7	91 15.4
年齢	65～69歳	334 100.0	121 36.2	45 13.5	4 1.2	283 84.7	52 15.6	50 15.0	20 6.0
	70～74歳	303 100.0	130 42.9	63 20.8	5 1.7	236 77.9	68 22.4	45 14.9	27 8.9
	75～79歳	190 100.0	95 50.0	38 20.0	2 1.1	112 58.9	59 31.1	34 17.9	33 17.4
	80～84歳	154 100.0	57 37.0	30 19.5	1 0.6	70 45.5	63 40.9	11 7.1	18 11.7
	85～89歳	87 100.0	32 36.8	8 9.2	0 0.0	30 34.5	41 47.1	6 6.9	13 14.9
	90歳以上	32 100.0	16 50.0	0 0.0	0 0.0	5 15.6	17 53.1	2 6.3	7 21.9

		合計	問2-(9) 外出する際の移動手段は何ですか						無回答
			病院や施 設のバス	車いす	電動車い す(カー ト)	歩行器・ シルバー カー	タクシー	その他	
全体		1100 100.0	25 2.3	6 0.5	2 0.2	15 1.4	90 8.2	9 0.8	25 2.3
性別	男性	510 100.0	6 1.2	3 0.6	2 0.4	1 0.2	25 4.9	2 0.4	14 2.7
	女性	590 100.0	19 3.2	3 0.5	0 0.0	14 2.4	65 11.0	7 1.2	11 1.9
年齢	65～69歳	334 100.0	2 0.6	3 0.9	1 0.3	0 0.0	11 3.3	1 0.3	5 1.5
	70～74歳	303 100.0	3 1.0	0 0.0	0 0.0	2 0.7	15 5.0	2 0.7	9 3.0
	75～79歳	190 100.0	5 2.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	17 8.9	2 1.1	3 1.6
	80～84歳	154 100.0	9 5.8	1 0.6	0 0.0	2 1.3	23 14.9	4 2.6	4 2.6
	85～89歳	87 100.0	5 5.7	2 2.3	1 1.1	9 10.3	14 16.1	0 0.0	2 2.3
	90歳以上	32 100.0	1 3.1	0 0.0	0 0.0	2 6.3	10 31.3	0 0.0	2 6.3

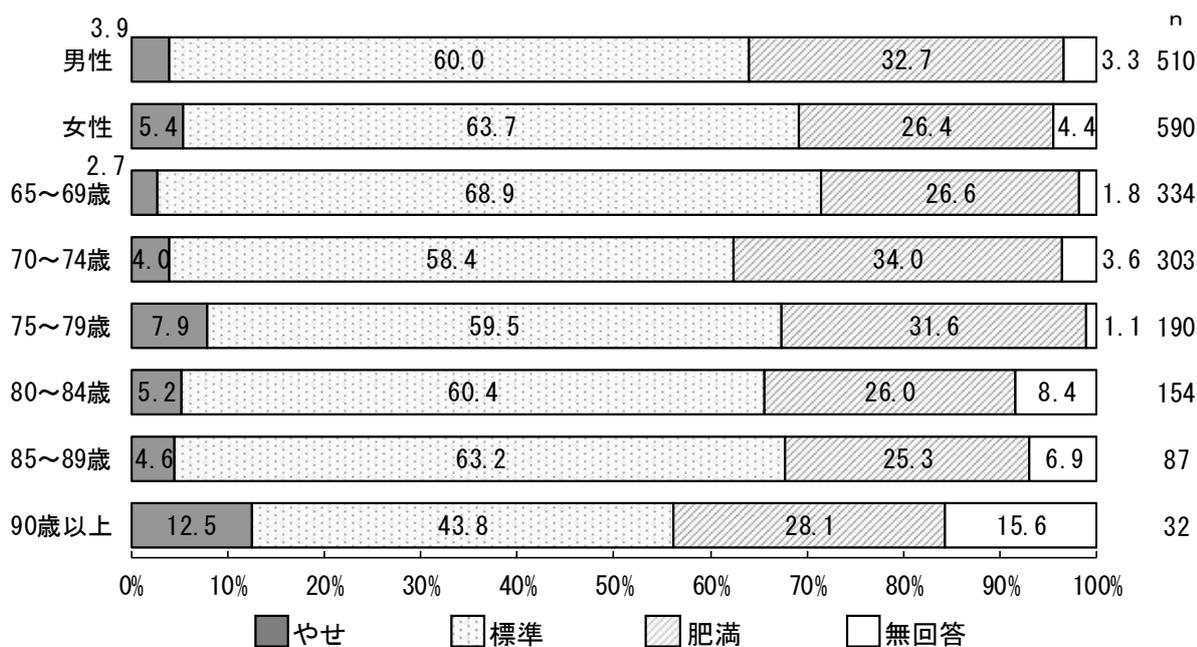
3. 食べることについて

- 身長及び体重からBMIを算出すると、「標準」が62.0%、「肥満」が29.4%、「やせ」が4.7%となっている。
- 性別では女性、年齢区分では90歳以上に「やせ」がやや多い。

(1) BMI

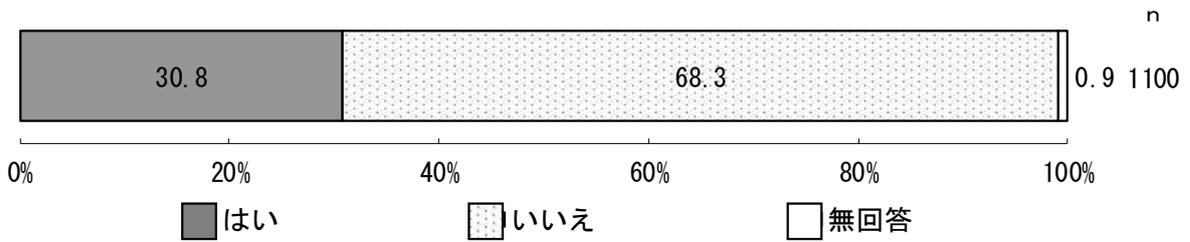


<性別・年齢クロス>

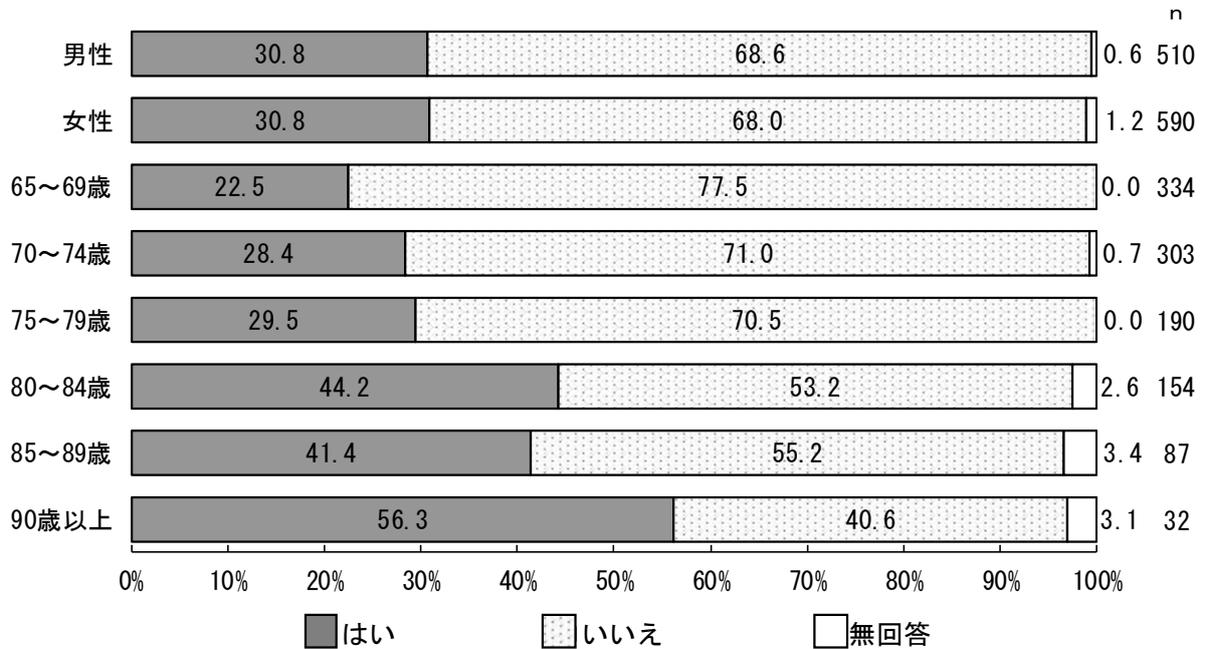


- 口腔機能に関する（２）～（４）について、症状を示す回答は、固いものの食べにくさが30.8%、嚥下時のむせ込みが23.4%、口渇が23.5%となっている。
- 性別では、大きな差異はない。
- 年齢区分では、固いものの食べにくさと口渇は90歳以上に、嚥下時のむせ込みは80～84歳に「はい」が最も多い。

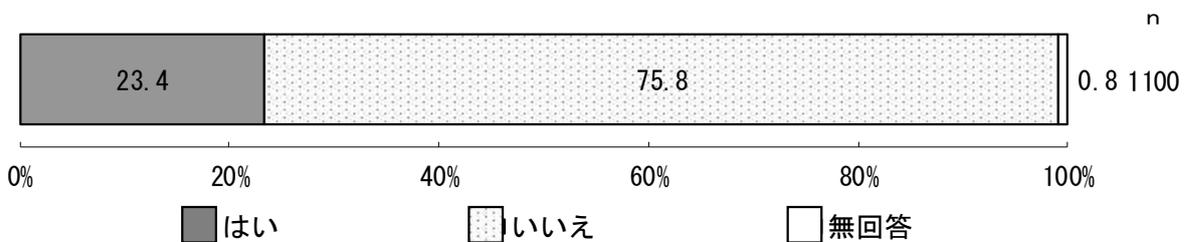
（２）半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか



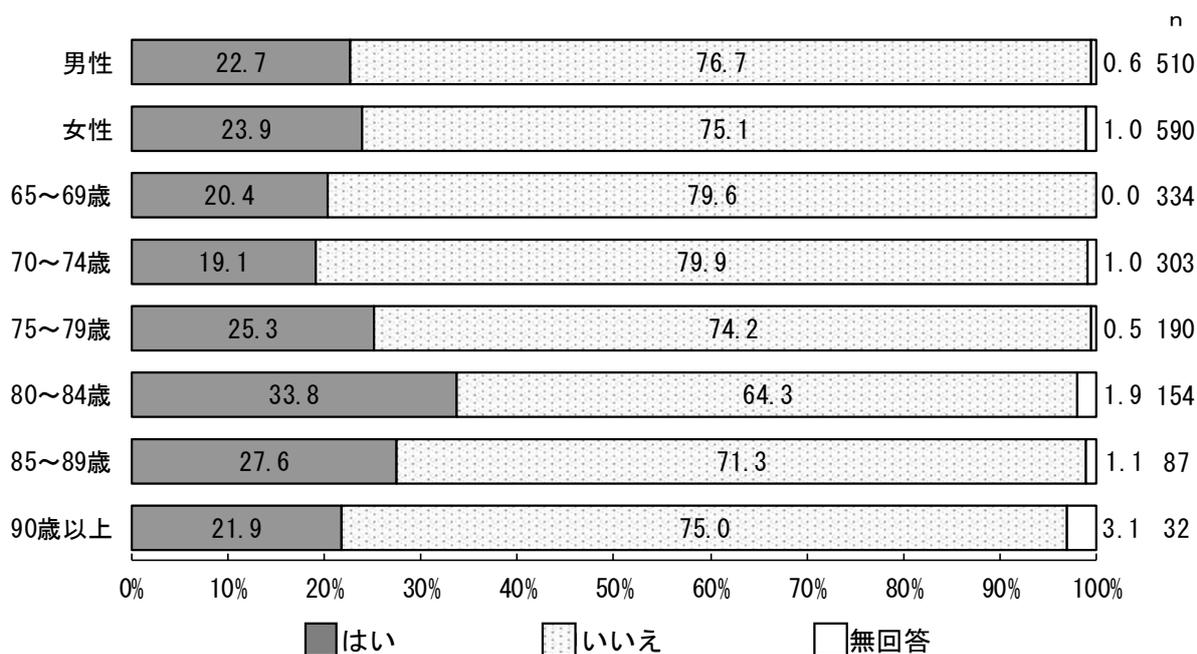
<性別・年齢クロス>



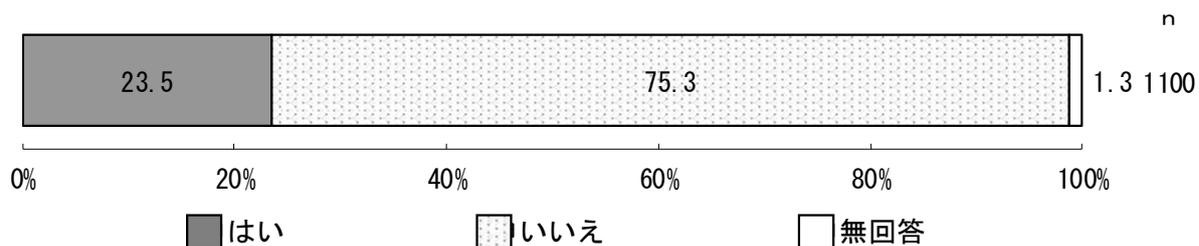
（３）お茶や汁物等でむせることがありますか



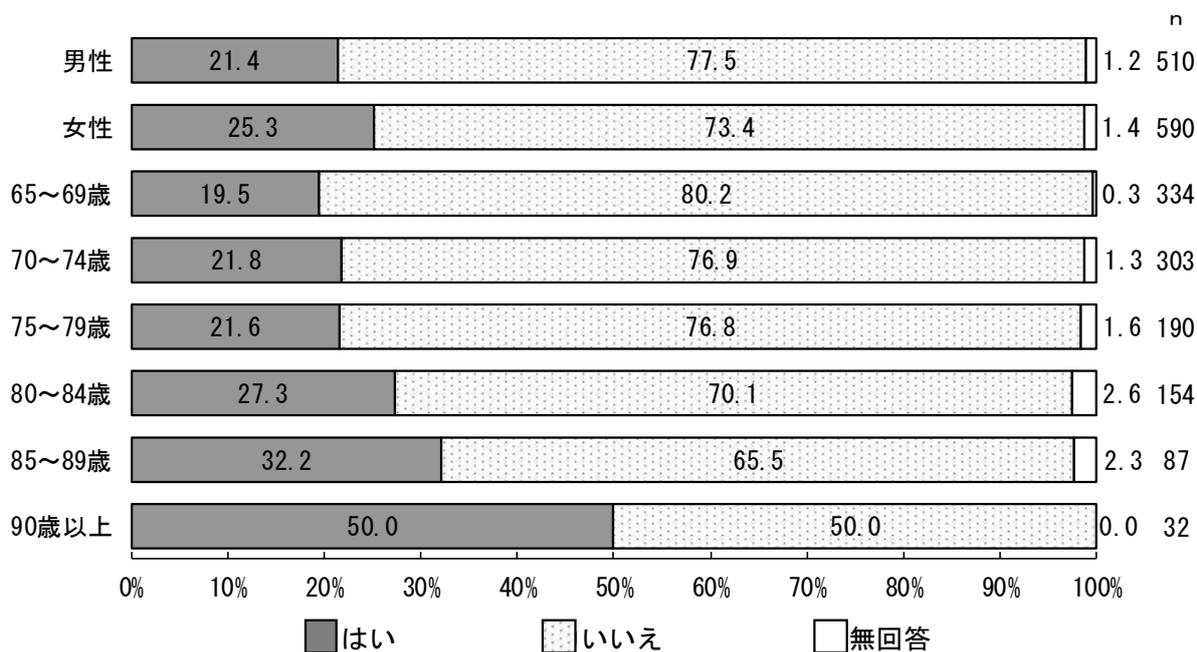
<性別・年齢クロス>



(4) 口の渇きが気になりますか

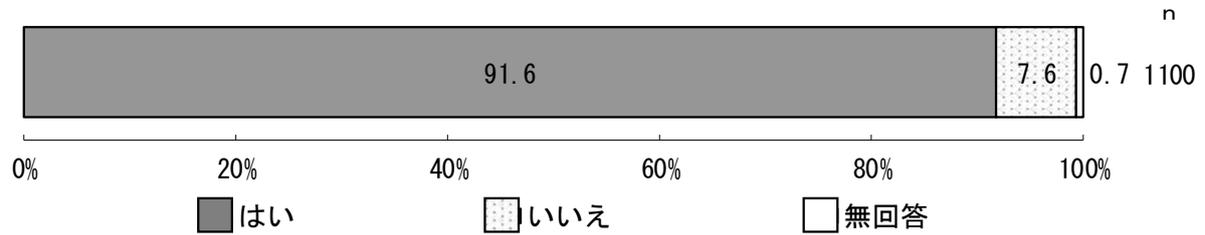


<性別・年齢クロス>

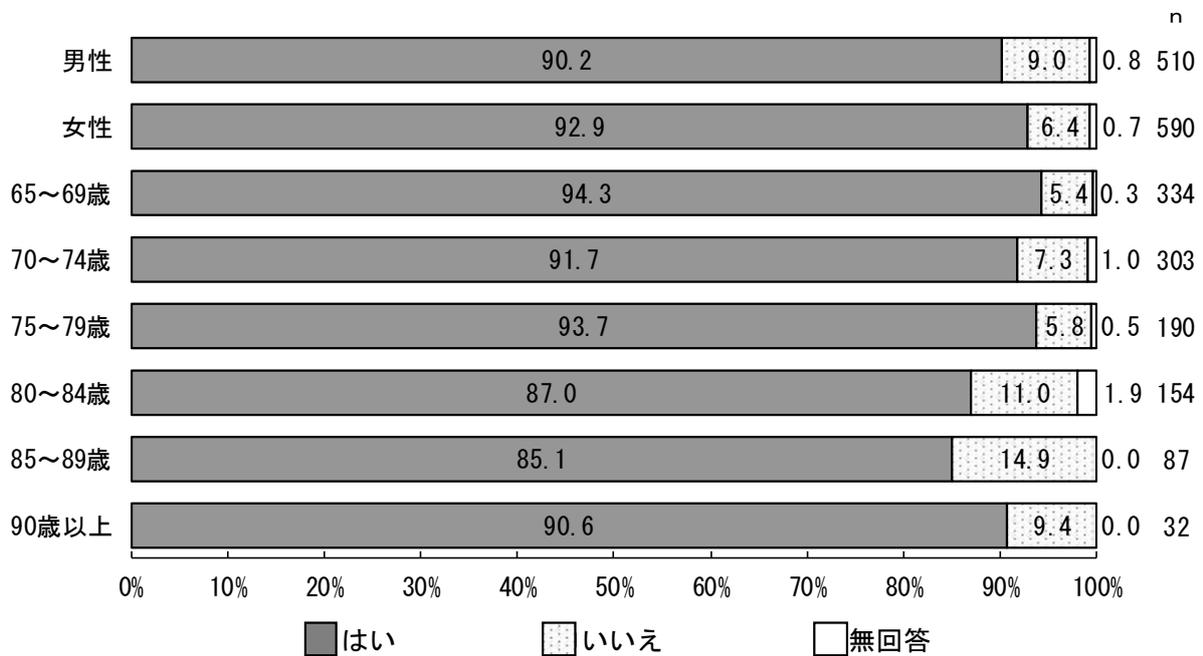


- 歯磨き（5）に関しては、91.6%が毎日行っている。
- 性別では、男性、年齢区分では、80～84歳以降に「いいえ」がやや多い。

（5）歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日していますか



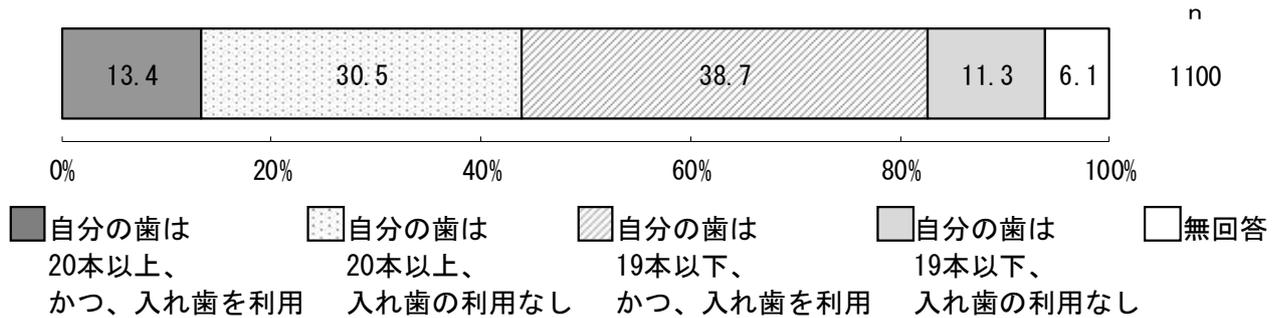
<性別・年齢クロス>



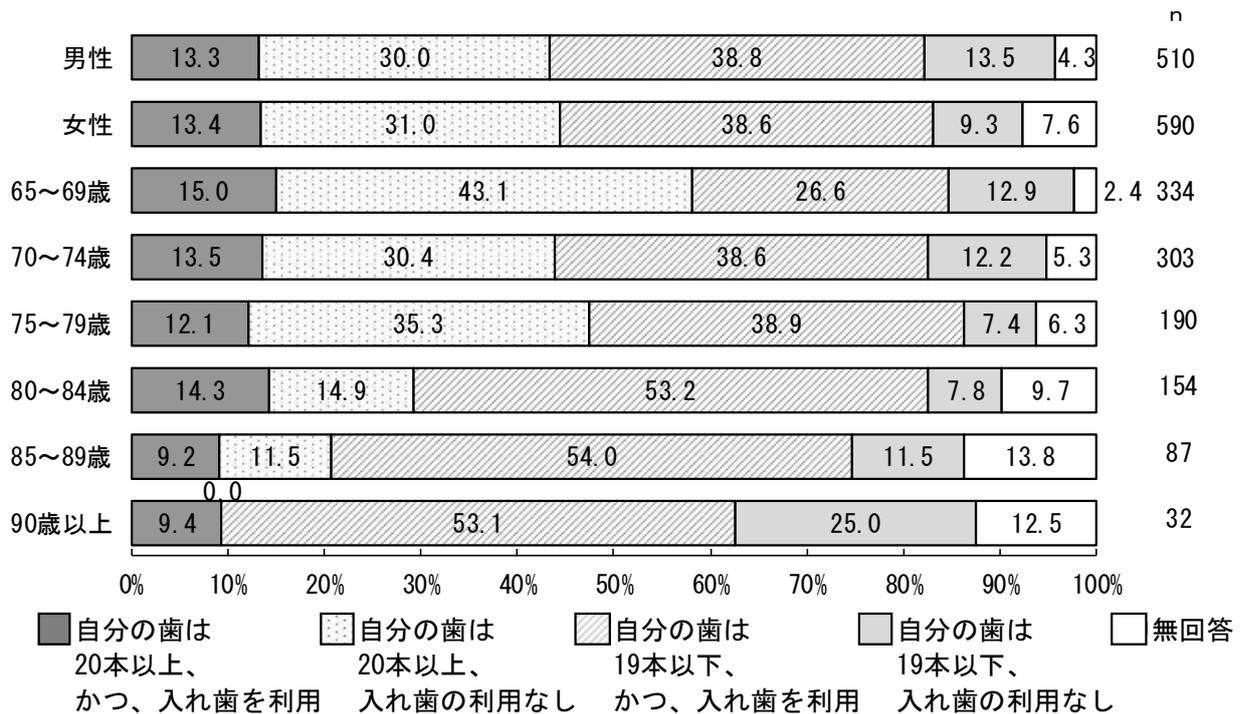
■入れ歯の利用状況（6）については、「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」が最も多く 38.7%、次いで「自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし」が 30.5%、「自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用」が 13.4%、「自分の歯は 19 本以下、入れ歯の利用なし」が 11.3%となっている。また、噛み合わせは約 8 割が良いとしており、入れ歯利用者の約 9 割は毎日手入れしている。

■80～84 歳以降は、「19 本以下・入れ歯を利用」が 5 割以上となっている。

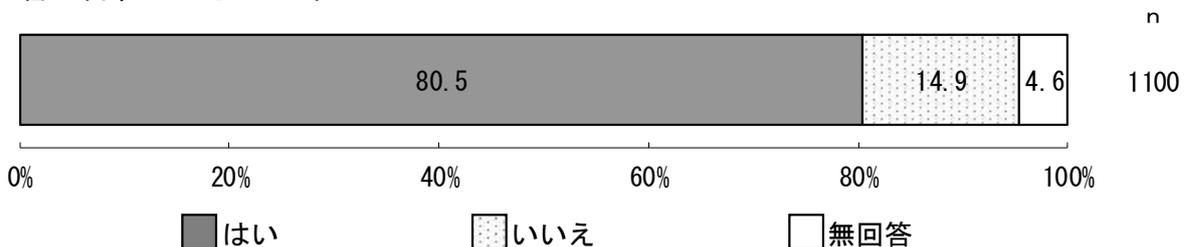
（6）歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください



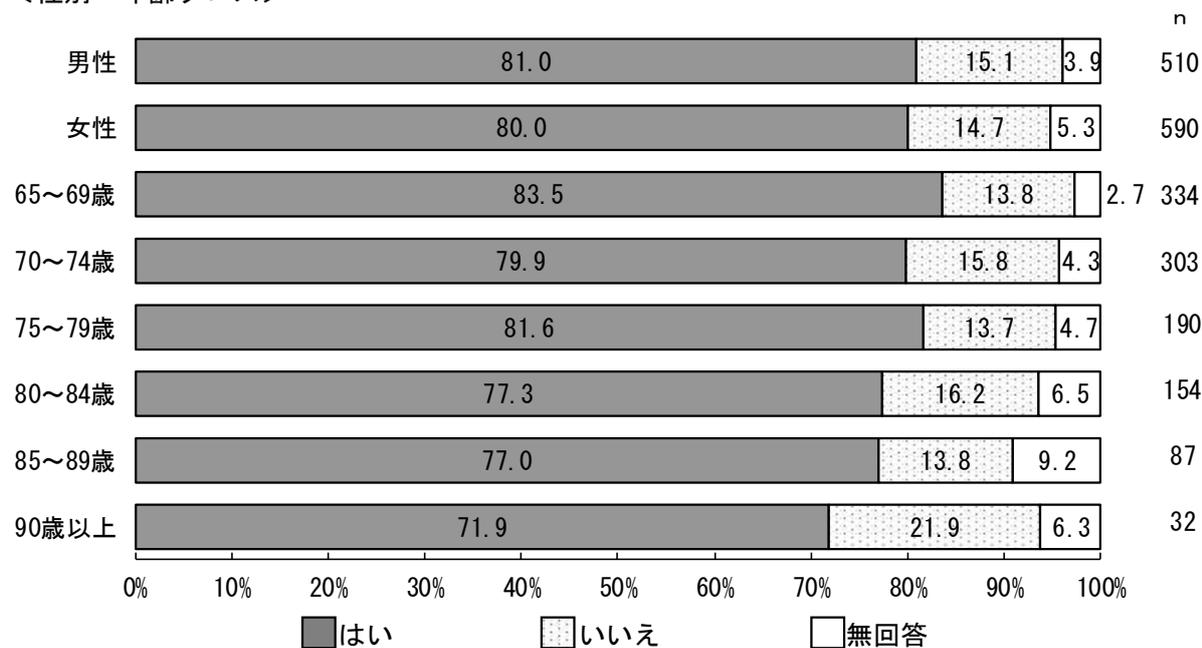
<性別・年齢クロス>



① 噛み合わせはよいですか

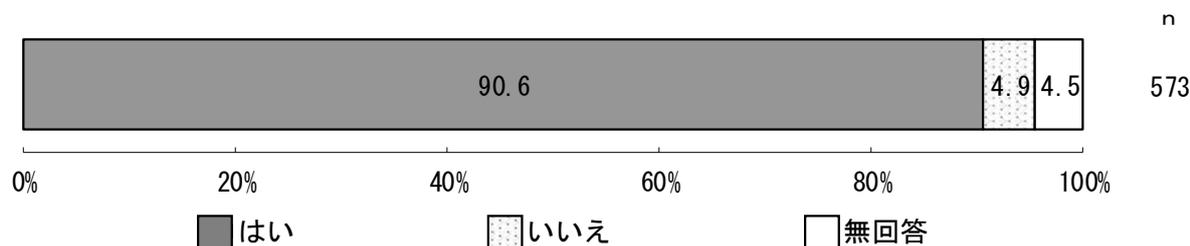


<性別・年齢クロス>

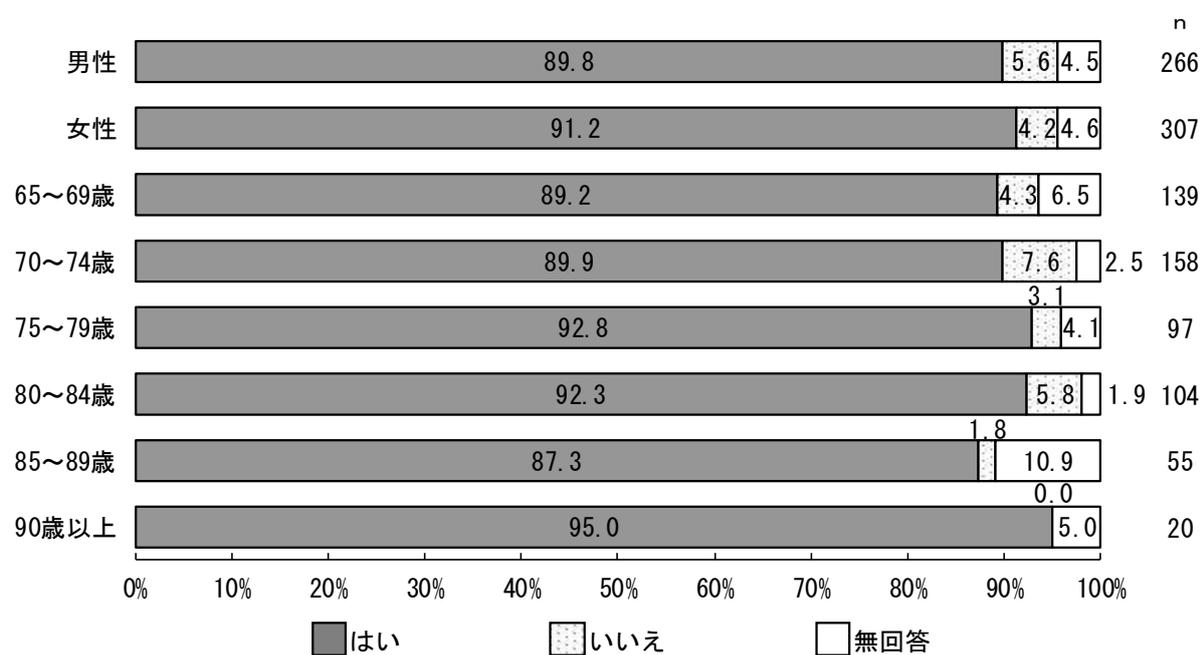


② 毎日入れ歯の手入れをしていますか

※ (6) で「1. 自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用」、「3. 自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」の方のみ

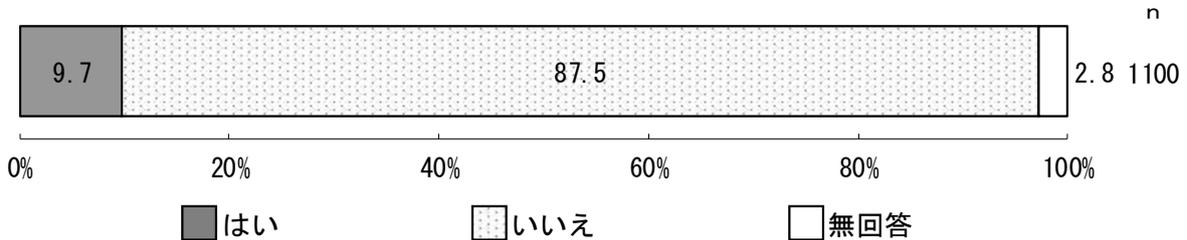


<性別・年齢クロス>

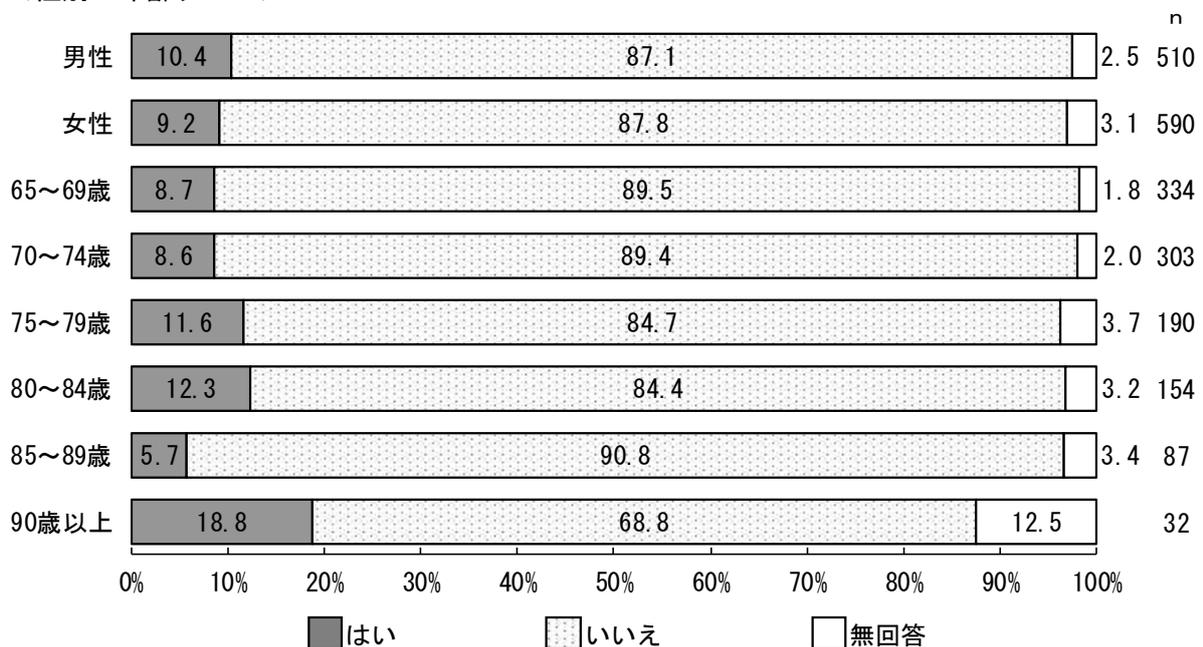


- 直近6か月間での体重減少（7）があったものは、9.7%となっている。
- 性別では大きな差はないが、年齢区分では90歳以上に「はい」が多い。

（7）6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか

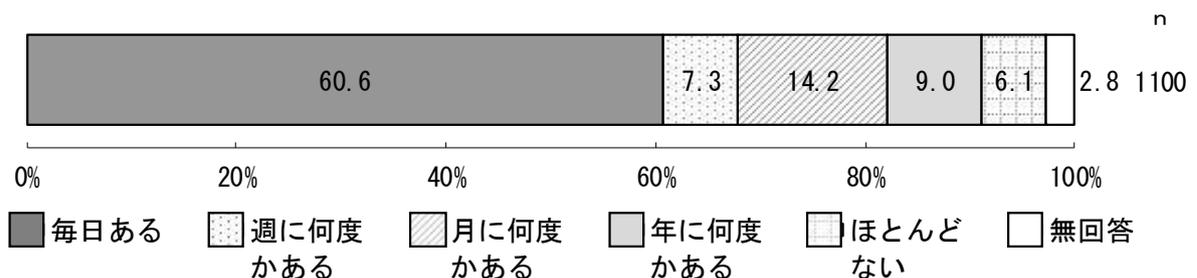


<性別・年齢クロス>

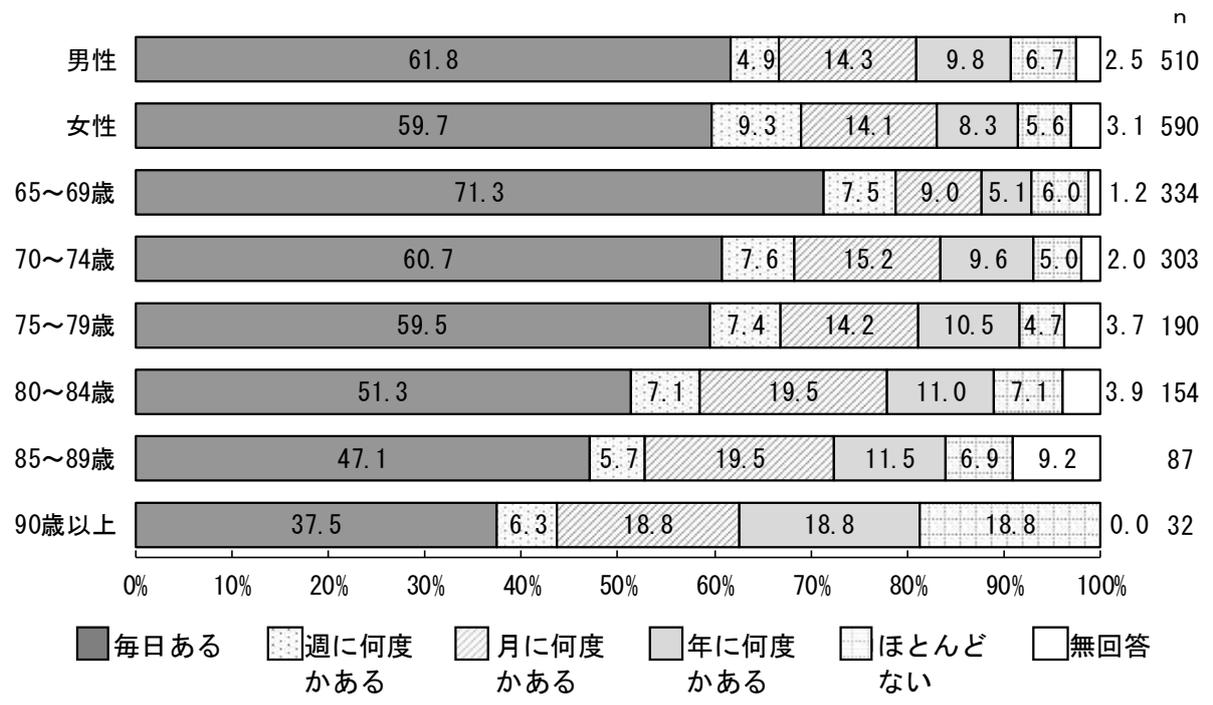


- 他者との食事機会（8）に関して、「毎日ある」が60.6%、「週に何度かある」が7.3%と、両者を合計して約7割であり、残る約3割は、日常的に孤食であることがうかがわれる。
- 女性は、男性よりも「毎日ある」の割合が2.1ポイント低い。
- 年齢区分では、年齢があがるにつれ「毎日ある」の割合が低下している。

（8）どなたかと食事をとる機会がありますか



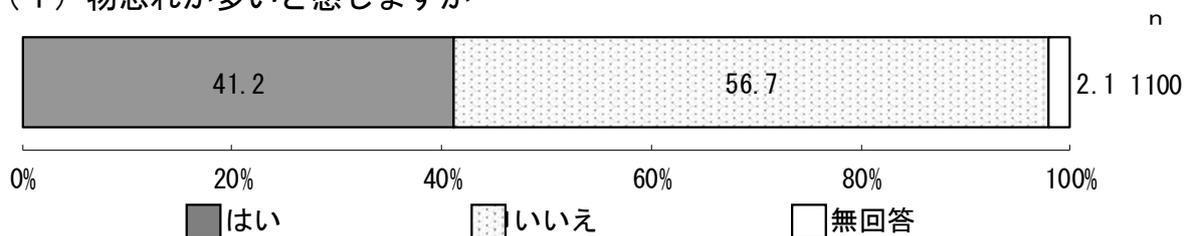
<性別・年齢クロス>



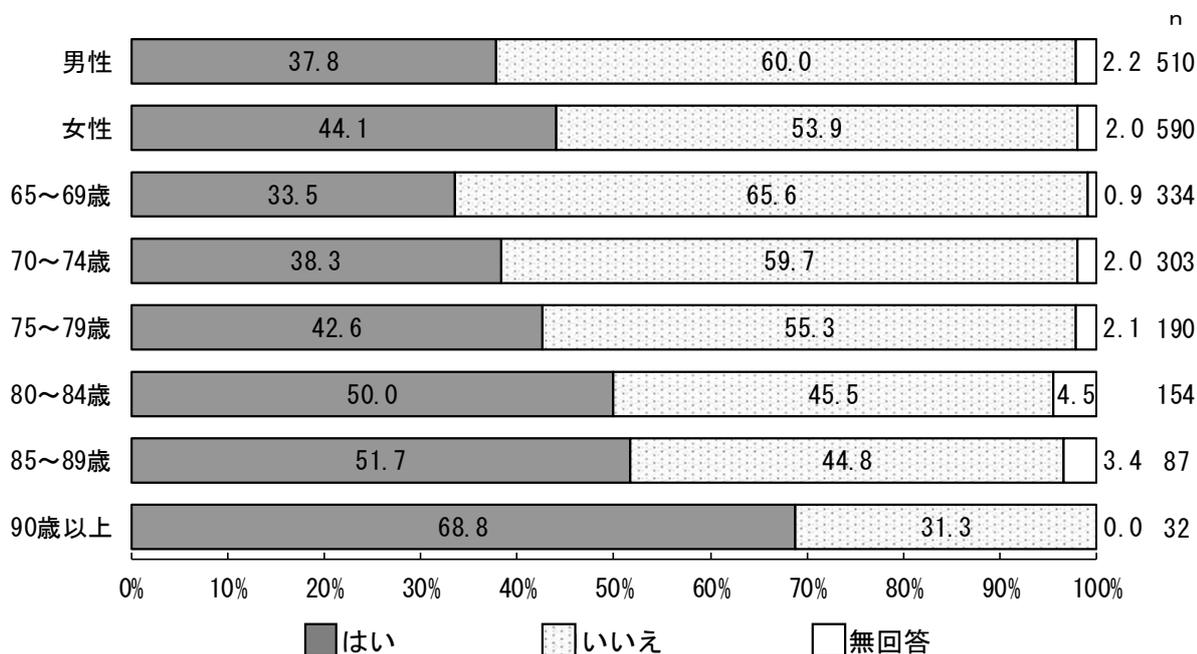
4. 毎日の生活について

- 認知症支援リスクの判定項目である（１）～（３）は、「物忘れ」について「はい」が41.2%と約４割であるものの、「自分で電話」は「はい」が90.5%、「今日がわからない」は「いいえ」が74.5%と、リスク非該当の回答が多数を占めている。
- 性別では、３項目とも女性に「はい」がやや多い。
- 年齢区分では、90歳以上は「物忘れ」と「今日がわからない」の２項目で「はい」が５割以上となっている。

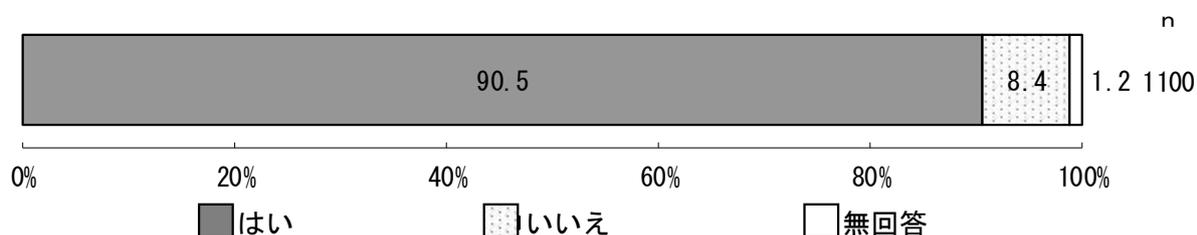
（１）物忘れが多いと感じますか



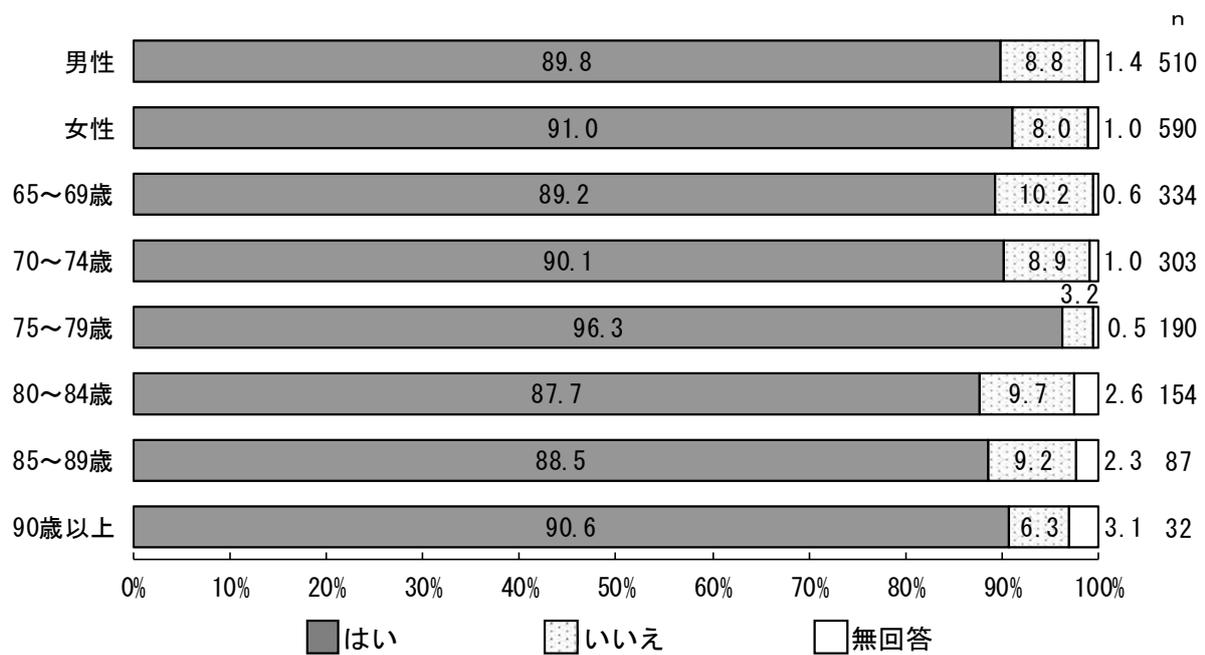
<性別・年齢クロス>



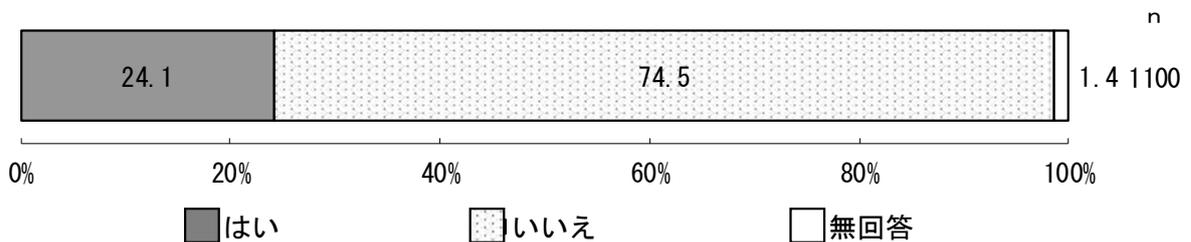
（２）自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか



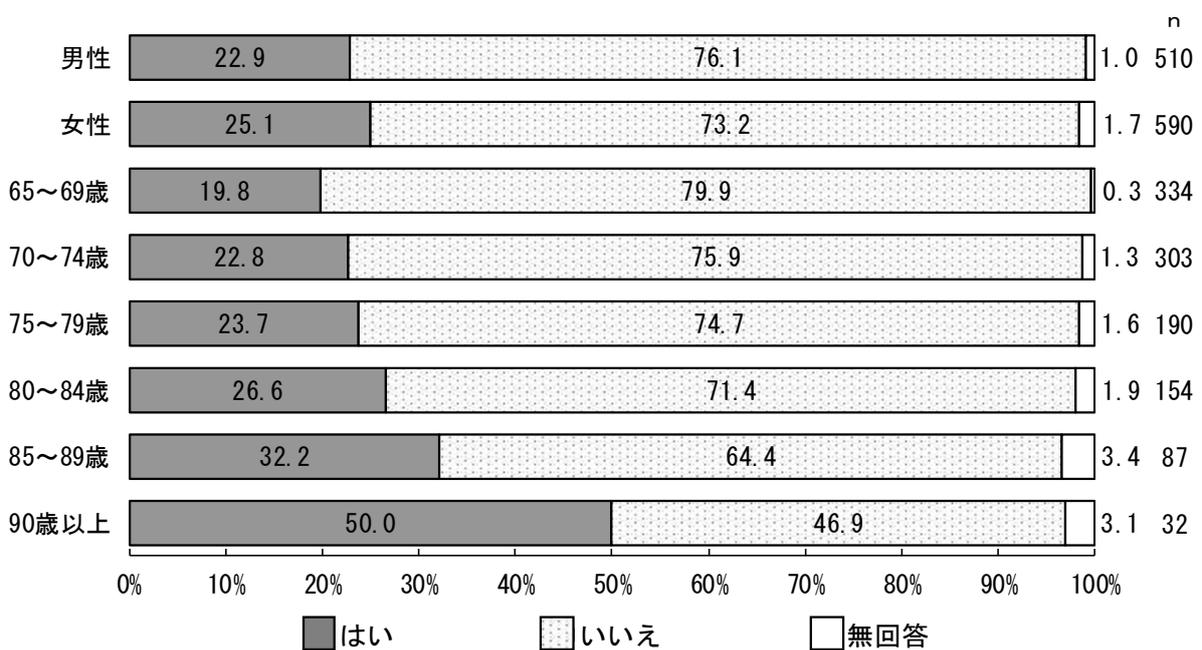
<性別・年齢クロス>



(3) 今日が何月何日かわからない時がありますか

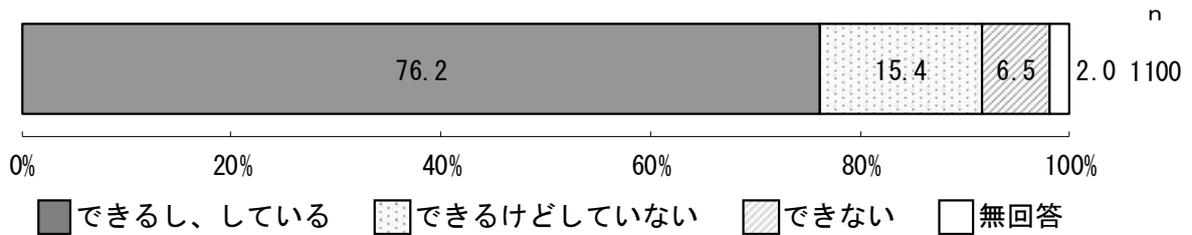


<性別・年齢クロス>

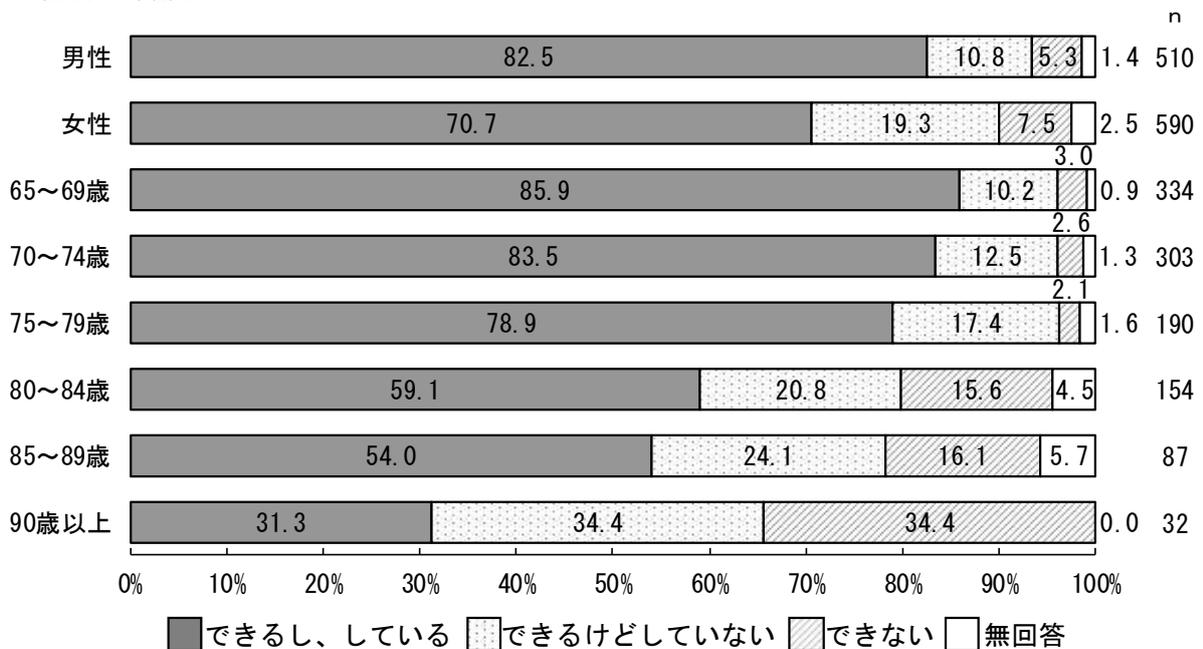


- 手段的日常生活動作（IADL）の判定項目である（４）～（８）は、各項目とも7割以上がリスク非該当の回答となっている。
- 項目により、男女間の差異が大きい。
- 年齢区分では、年齢が上がるにつれ、「できるし、している」の回答が減少している。

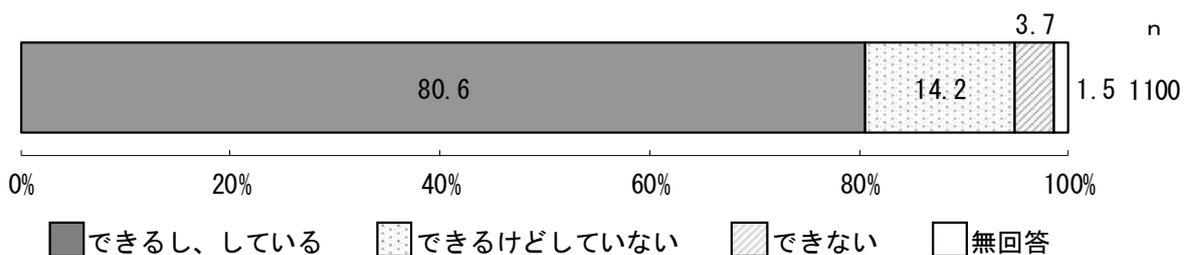
（４）バスや電車を使って1人で外出していますか（自家用車でも可）



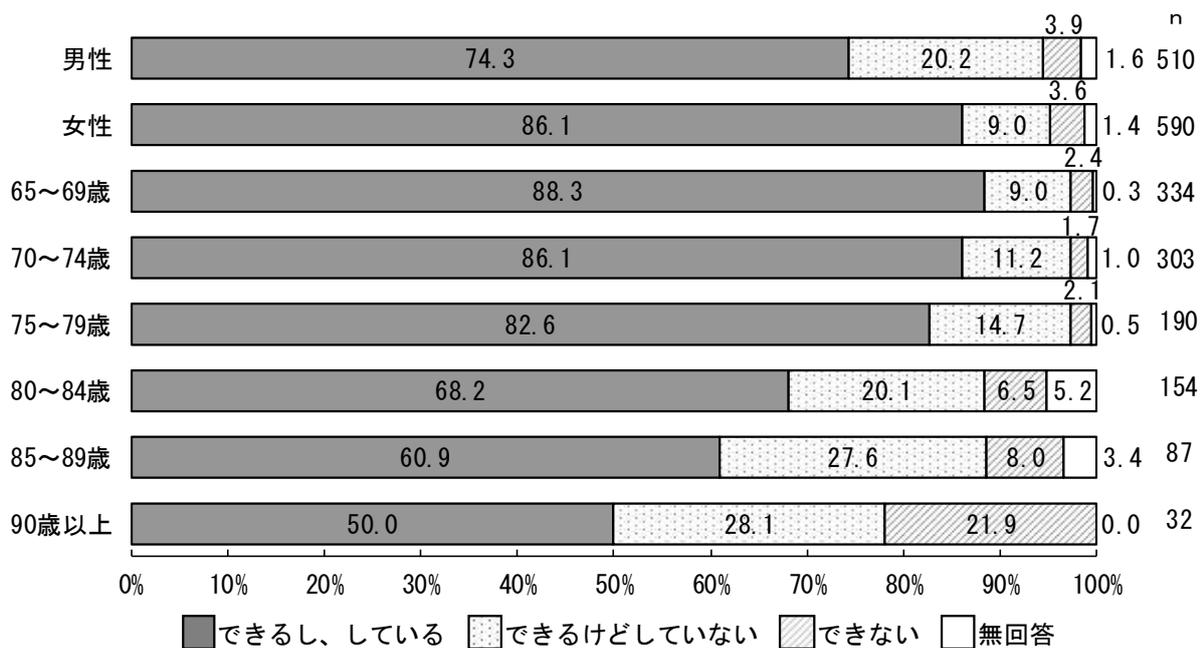
<性別・年齢クロス>



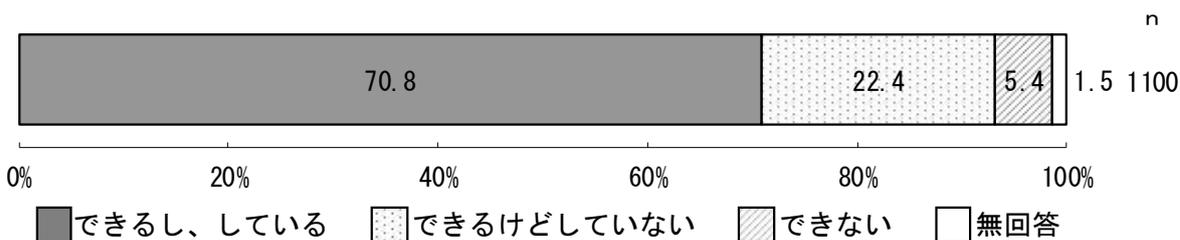
（５）自分で食品・日用品の買物をしていますか



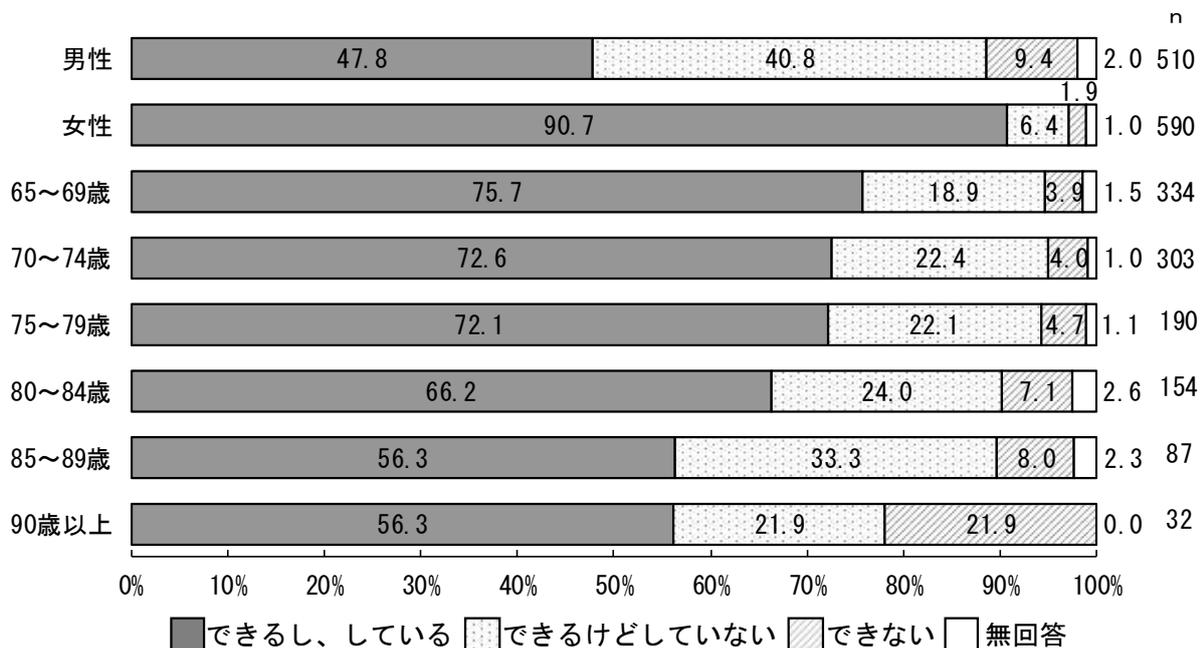
<性別・年齢クロス>



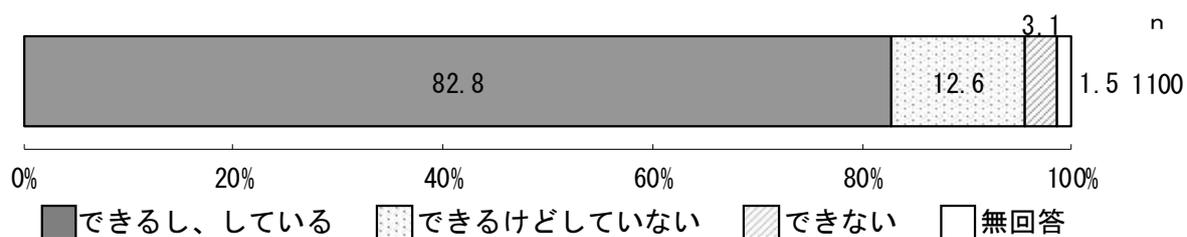
(6) 自分で食事の用意をしていますか



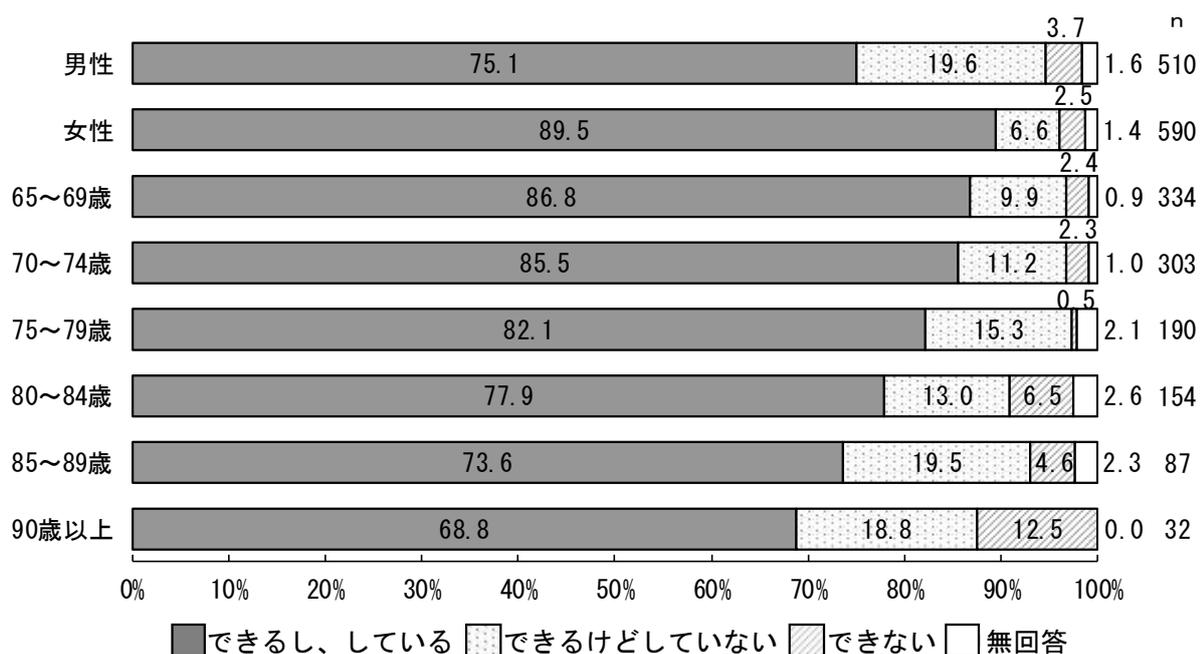
<性別・年齢クロス>



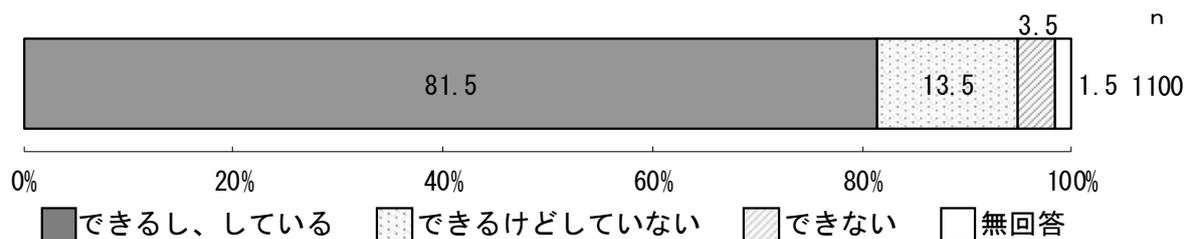
(7) 自分で請求書の支払いをしていますか



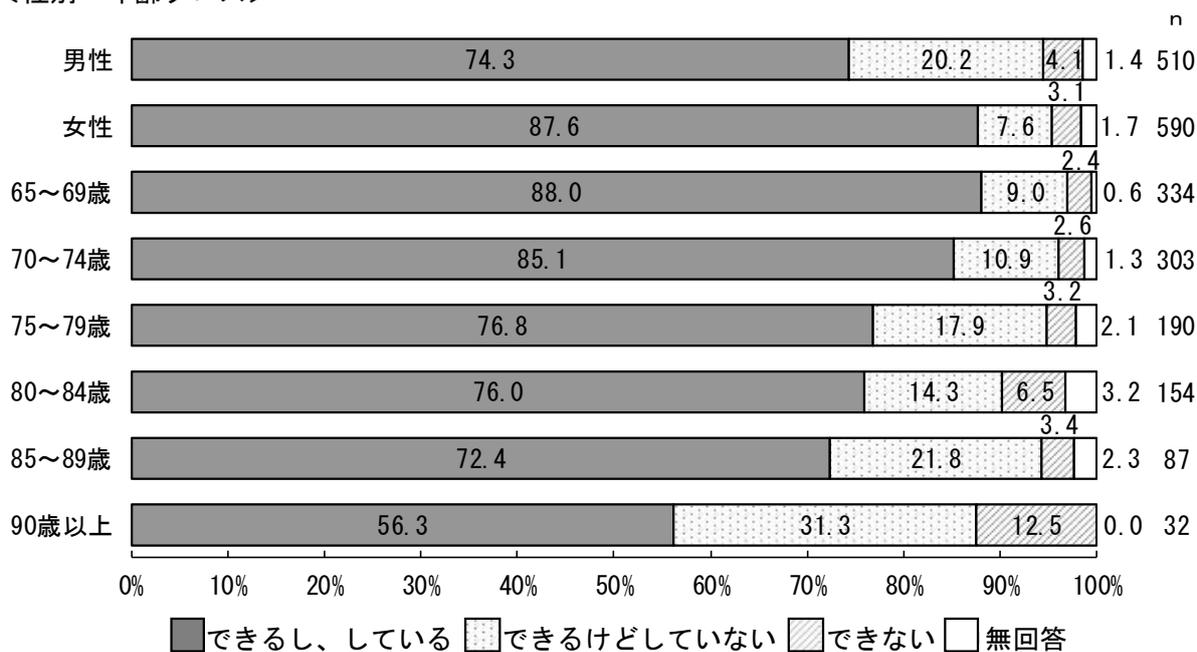
<性別・年齢クロス>



(8) 自分で預貯金の出し入れをしていますか

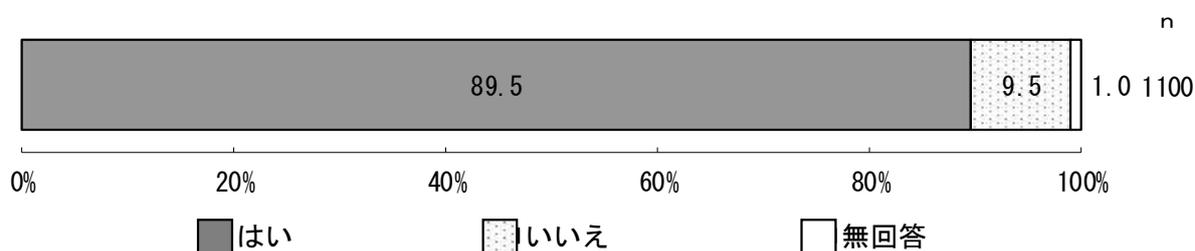


<性別・年齢クロス>

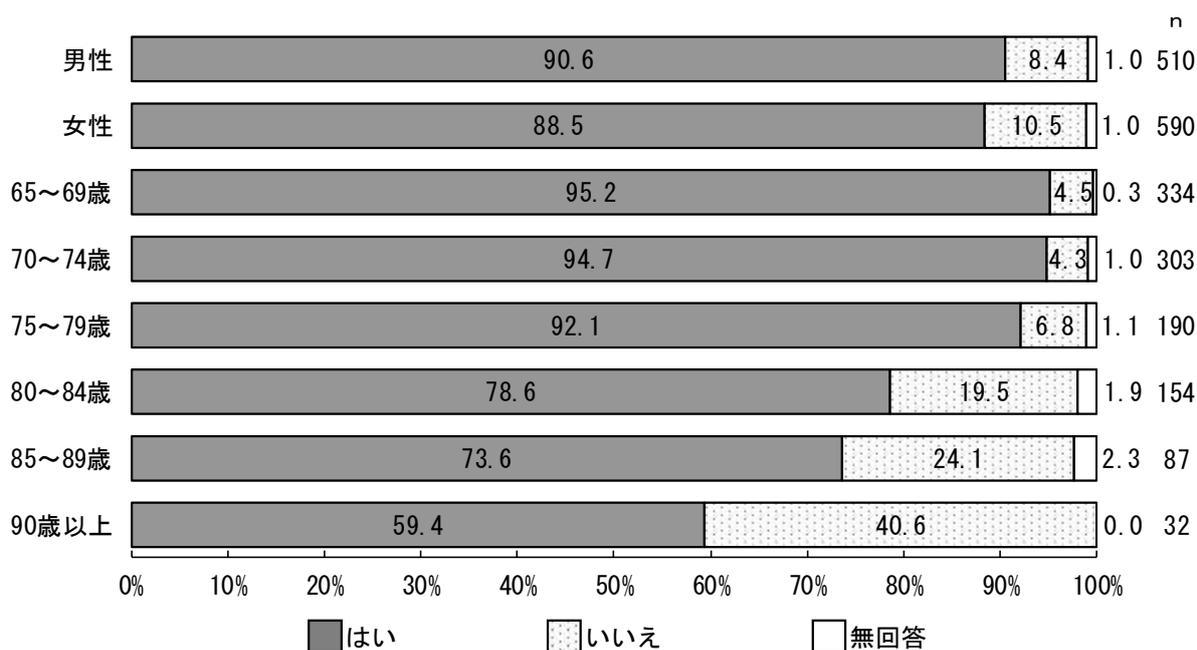


- 老研式活動能力指標・知的能動性の判定項目である（９）～（１２）は、「本や雑誌を読んでいるか」が 75.4%と 7 割台である以外は、各項目とも 8～9 割がリスク非該当の回答となっている。
- 性別では、男性は「新聞を読んでいるか」で、女性は「健康についての記事や番組に関心」で、いずれも「はい」の回答がやや多い。
- 年齢区分では、「年金等の書類」については年齢が上がるにつれ「はい」の回答割合が低下しているが、他の項目は異なる傾向となっている。

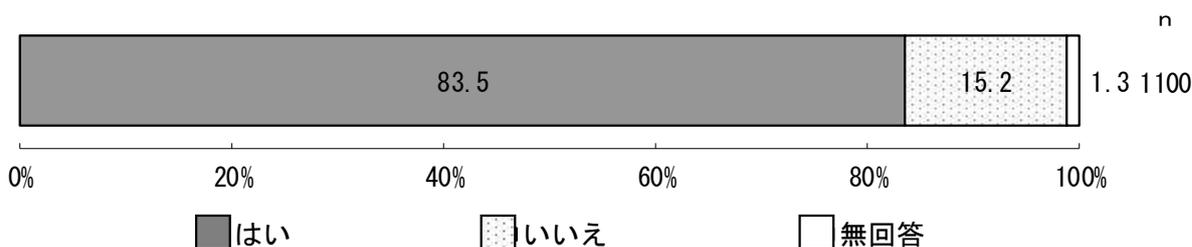
（９）年金等の書類（役場や病院等に出す書類）が書けますか



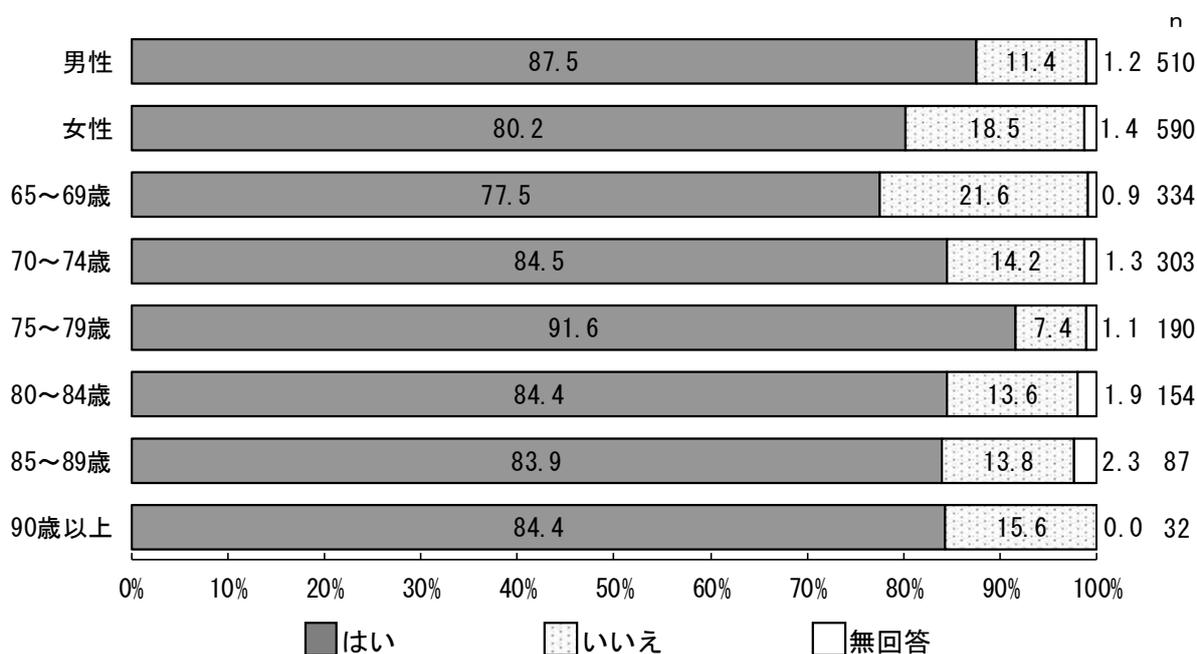
<性別・年齢クロス>



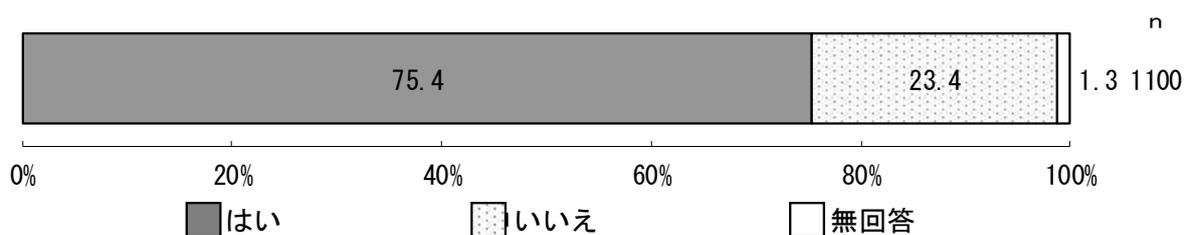
(10) 新聞を読んでいますか



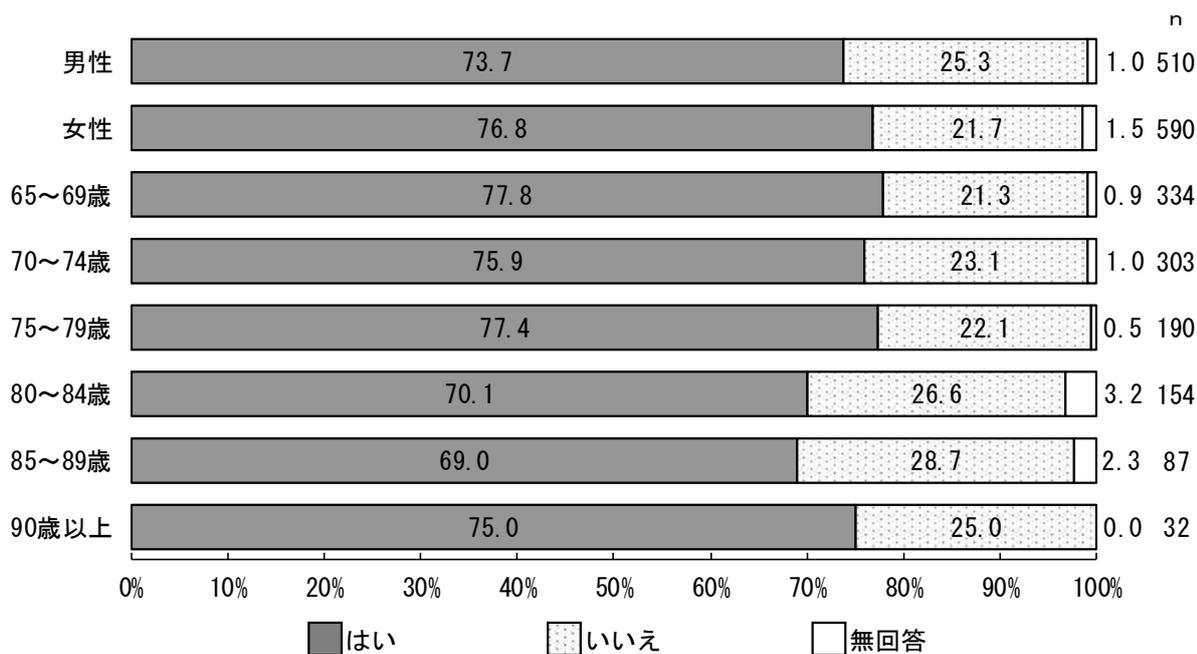
<性別・年齢クロス>



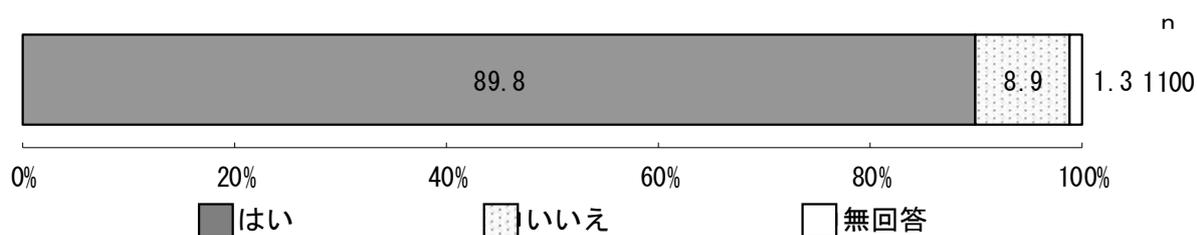
(11) 本や雑誌を読んでいますか



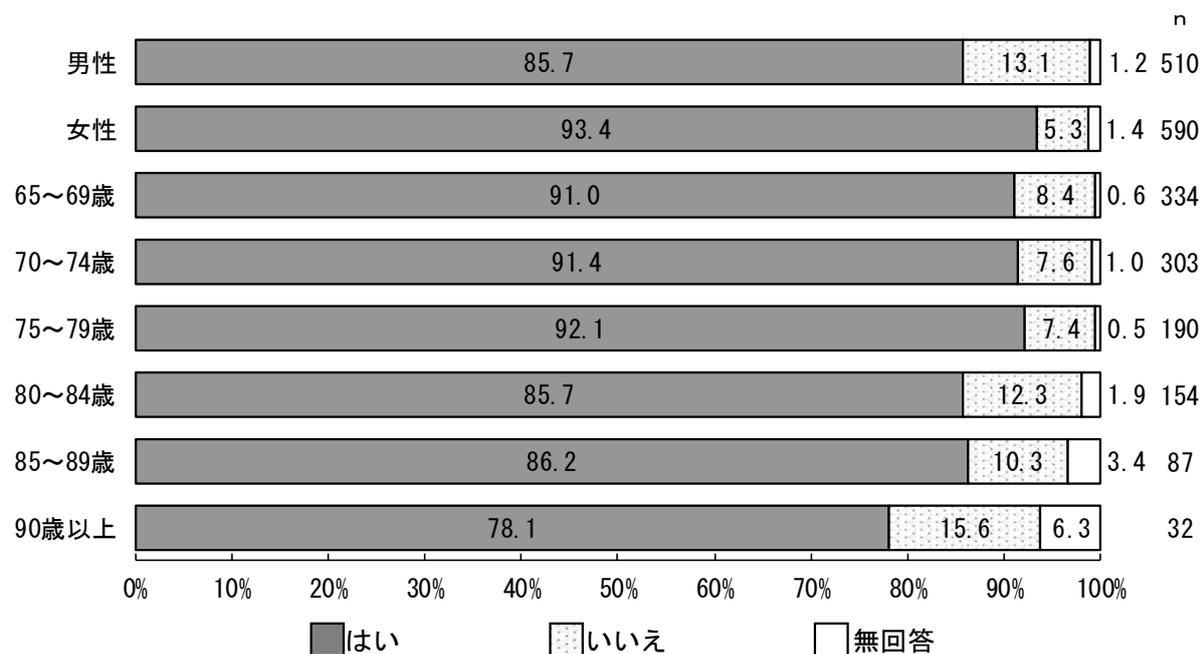
<性別・年齢クロス>



(12) 健康についての記事や番組に関心がありますか

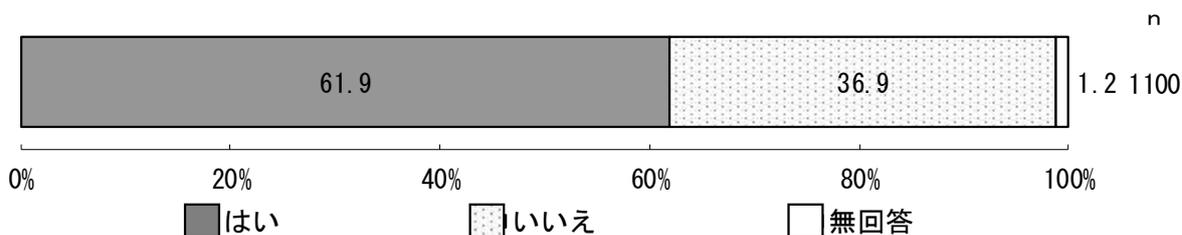


<性別・年齢クロス>

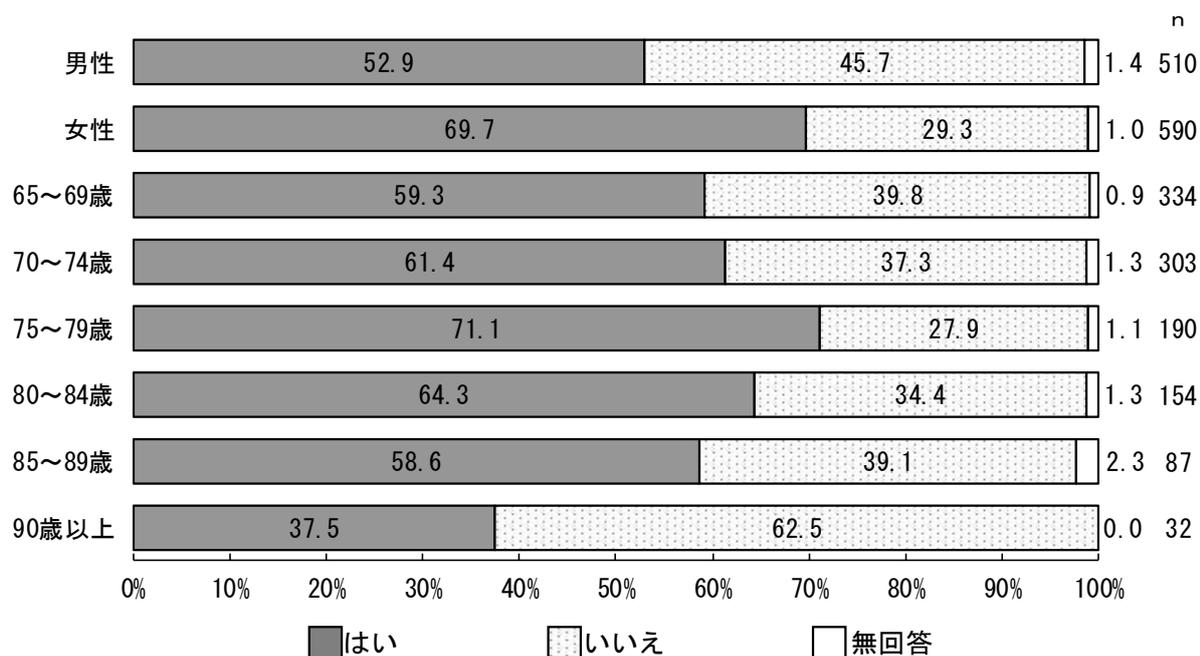


- 老研式活動能力指標・社会的役割の判定項目である(13)～(16)は、「友人の家を訪ねているか」が61.9%と6割台である以外は、各項目との概ね8～9割がリスク非該当の回答となっている。
- 性別では、すべての項目で男性は女性よりも「はい」の割合が低い。
- 年齢区分では、すべての項目において、90歳以上で「はい」の回答の割合が顕著に低下している。

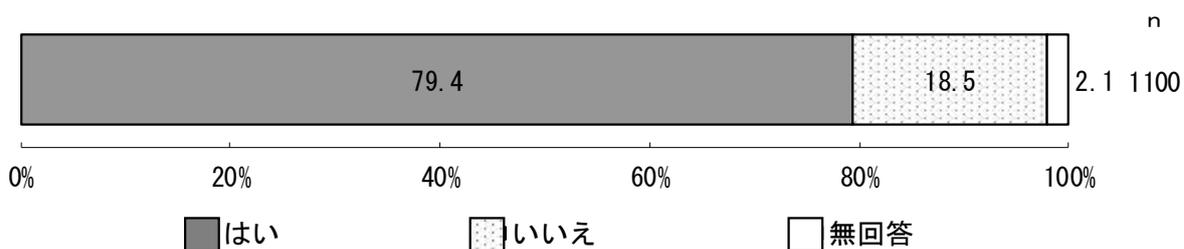
(13) 友人の家を訪ねていますか



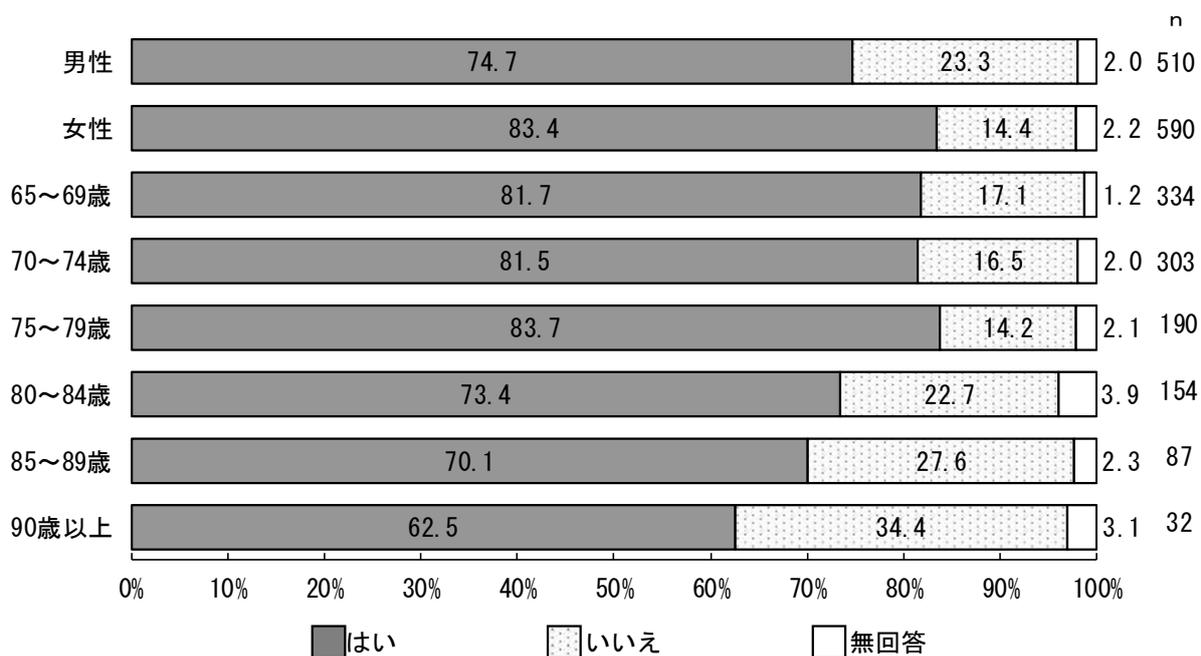
<性別・年齢クロス>



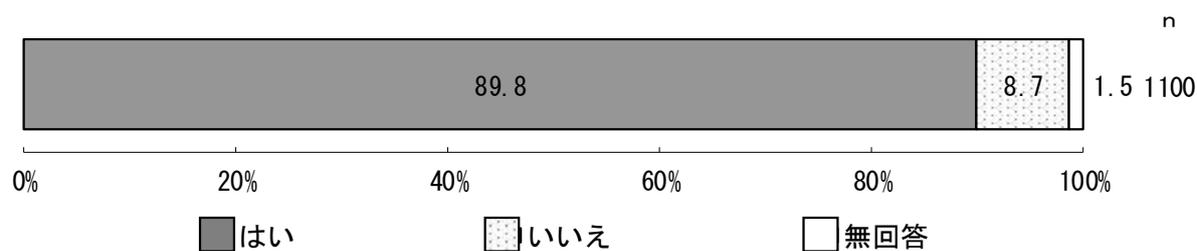
(14) 家族や友人の相談にのっていますか



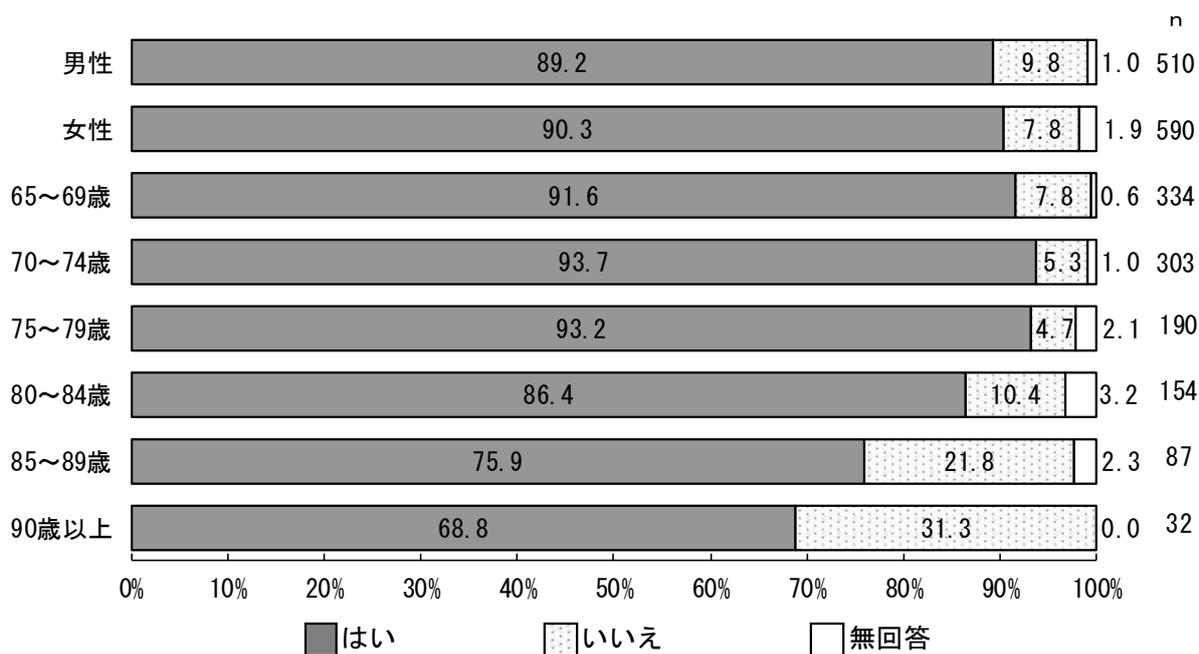
<性別・年齢クロス>



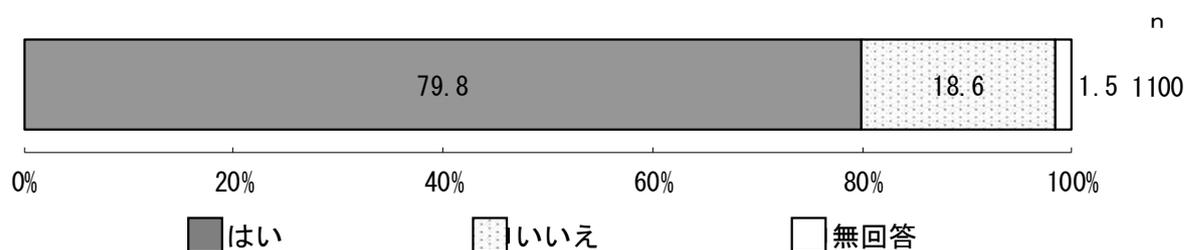
(15) 病人を見舞うことができますか



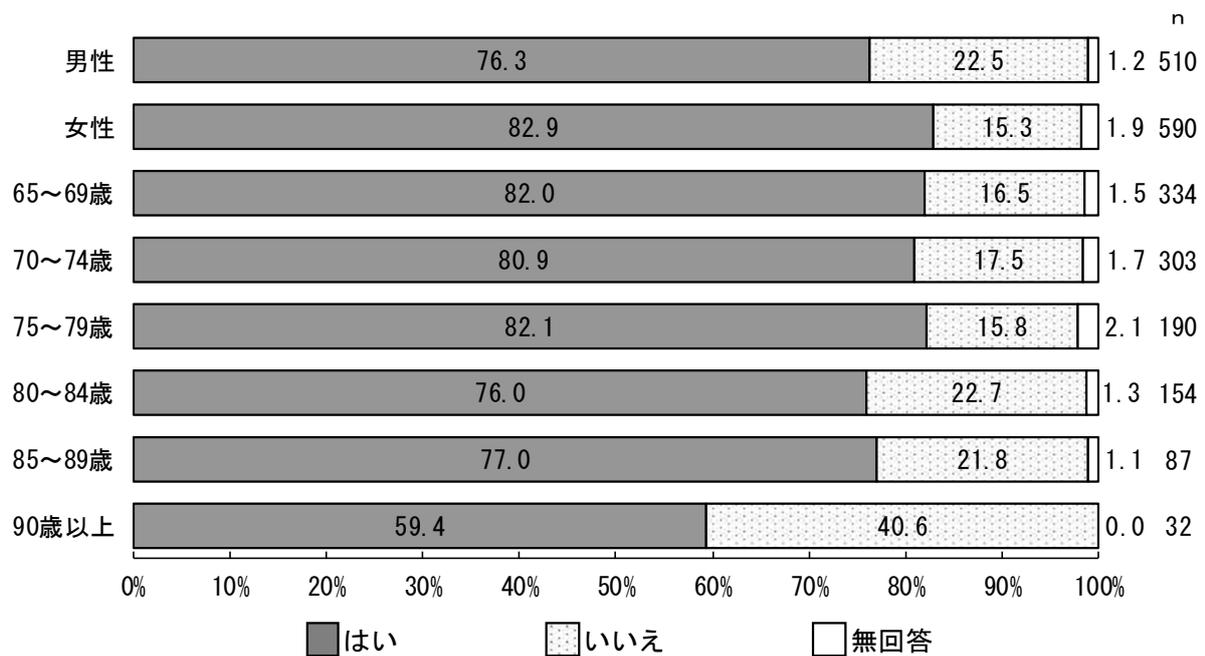
<性別・年齢クロス>



(16) 若い人に自分から話しかけることがありますか

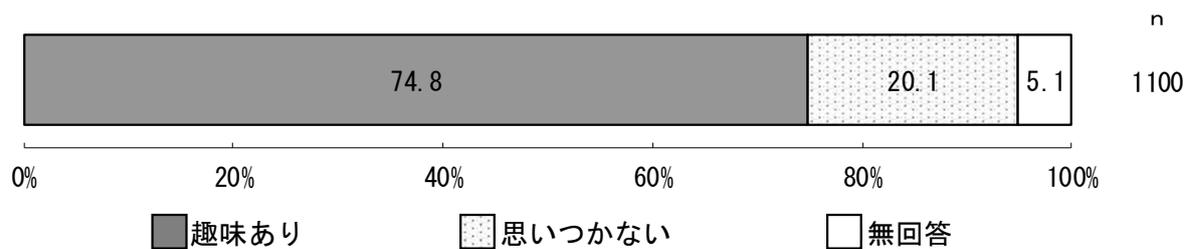


<性別・年齢クロス>

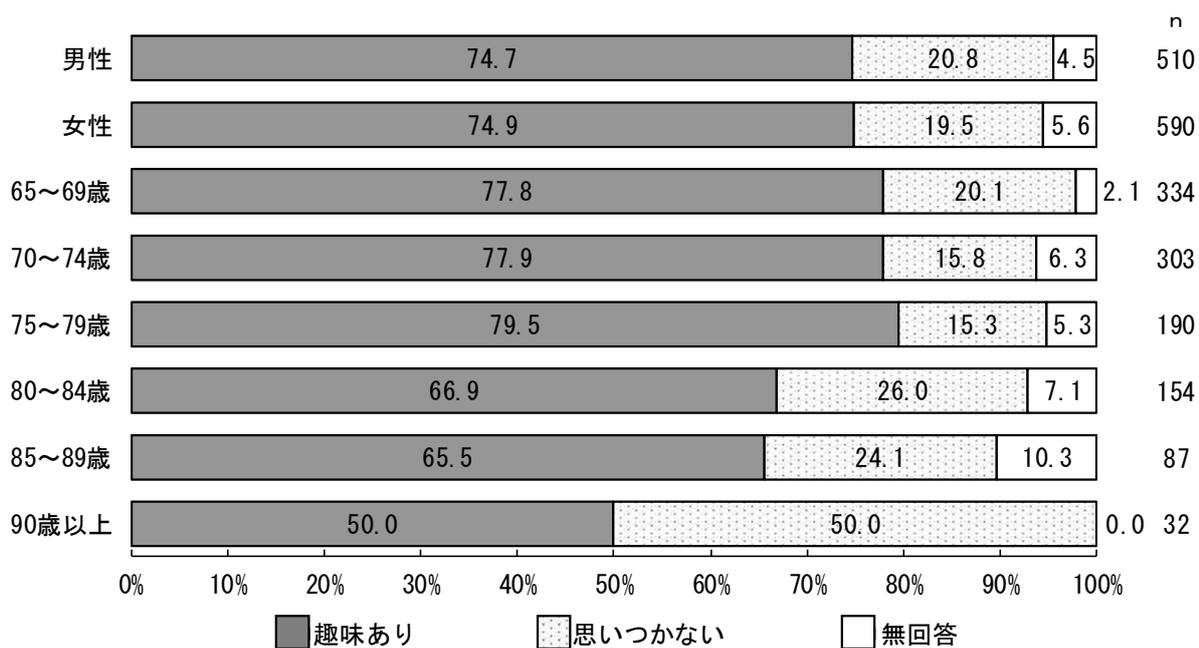


- 趣味（17）については20.1%、生きがい（18）については28.6%が「思いつかない」となっている。
- 性別での差異は大きくない。
- 年齢区分では、80～84歳は、いずれの項目も75～79歳に比べ「あり」の回答が約1割低下している。

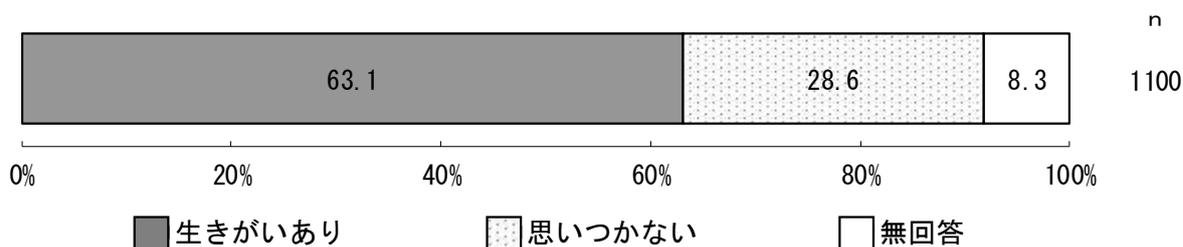
(17) 趣味はありますか



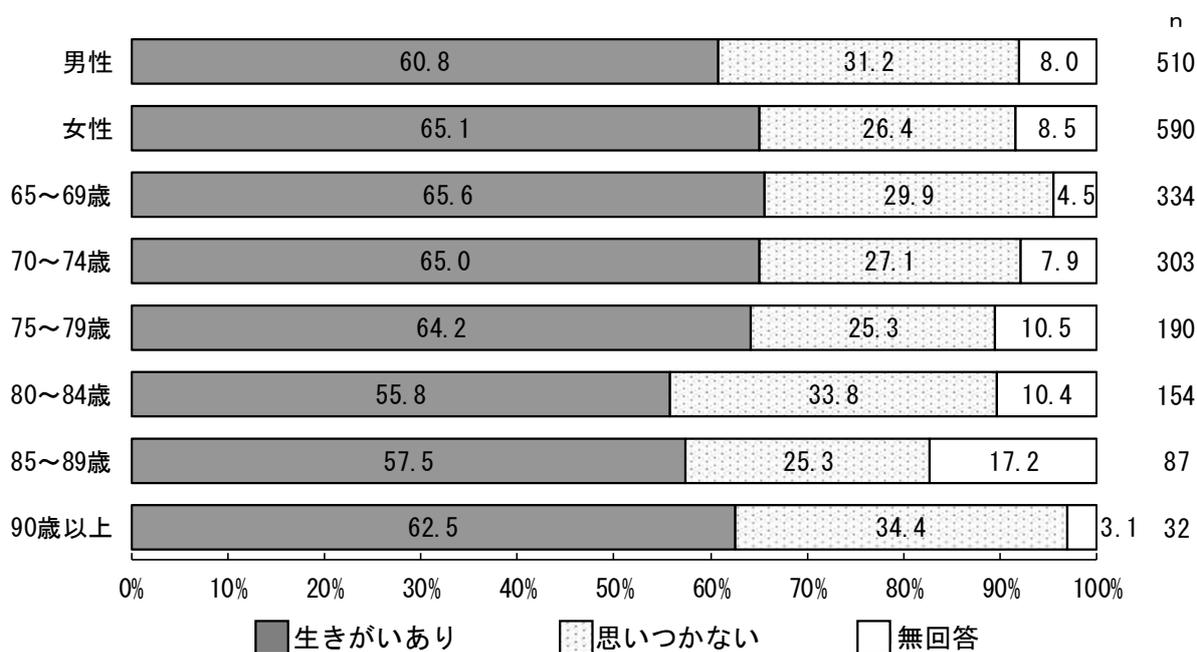
<性別・年齢クロス>



(18) 生きがいがありますか



<性別・年齢クロス>

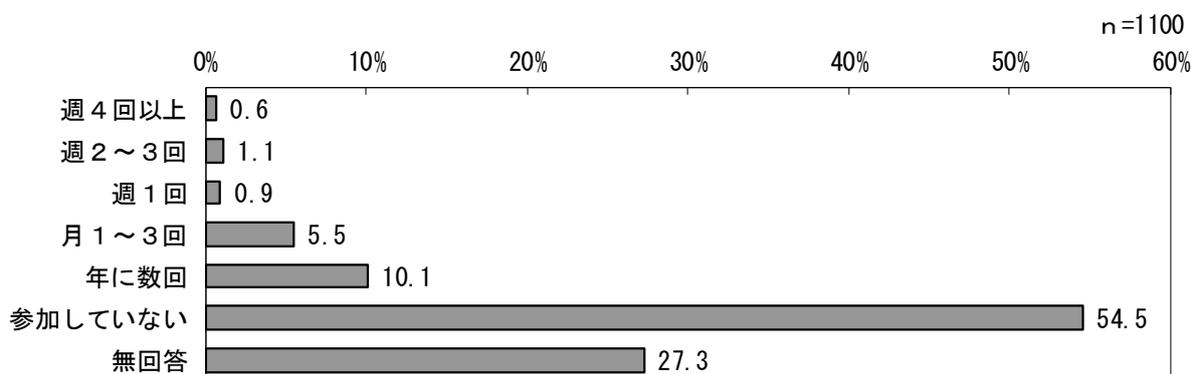


5. 地域での活動について

■各活動の参加状況(1) ①～⑧は、いずれの活動もおよそ4割～6割は「参加していない」となっている。日常的な活動といえる「週1回以上」として合計してみると、「②スポーツ関係のグループやクラブ」は12.6%、「③趣味関係のグループ」は11.5%、「⑧収入のある仕事」は19.3%となり、他の活動は3%未満にとどまる。

(1) 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか

① ボランティアのグループ

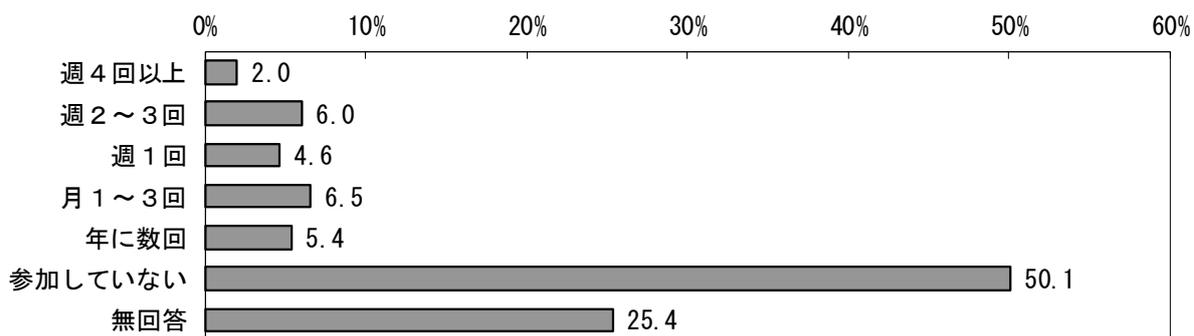


<性別・年齢クロス>

		合計	問5-(1) ①ボランティアのグループ						
			週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答
全体		1100 100.0	7 0.6	12 1.1	10 0.9	60 5.5	111 10.1	600 54.5	300 27.3
性別	男性	510 100.0	2 0.4	5 1.0	6 1.2	16 3.1	49 9.6	293 57.5	139 27.3
	女性	590 100.0	5 0.8	7 1.2	4 0.7	44 7.5	62 10.5	307 52.0	161 27.3
年齢	65～69歳	334 100.0	3 0.9	2 0.6	5 1.5	24 7.2	37 11.1	203 60.8	60 18.0
	70～74歳	303 100.0	3 1.0	3 1.0	2 0.7	12 4.0	46 15.2	172 56.8	65 21.5
	75～79歳	190 100.0	0 0.0	5 2.6	2 1.1	12 6.3	19 10.0	93 48.9	59 31.1
	80～84歳	154 100.0	1 0.6	1 0.6	1 0.6	8 5.2	5 3.2	77 50.0	61 39.6
	85～89歳	87 100.0	0 0.0	1 1.1	0 0.0	3 3.4	3 3.4	39 44.8	41 47.1
	90歳以上	32 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 3.1	1 3.1	16 50.0	14 43.8

② スポーツ関係のグループやクラブ

n=1100

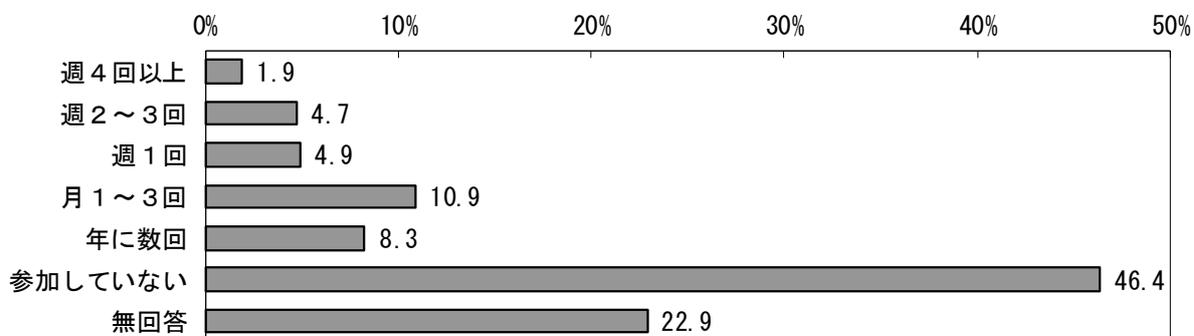


<性別・年齢クロス>

		合計	問5-(1) ②スポーツ関係のグループやクラブ						
			週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答
全体		1100	22	66	51	72	59	551	279
		100.0	2.0	6.0	4.6	6.5	5.4	50.1	25.4
性別	男性	510	9	20	22	37	45	255	122
		100.0	1.8	3.9	4.3	7.3	8.8	50.0	23.9
	女性	590	13	46	29	35	14	296	157
		100.0	2.2	7.8	4.9	5.9	2.4	50.2	26.6
年齢	65～69歳	334	5	22	17	19	24	191	56
		100.0	1.5	6.6	5.1	5.7	7.2	57.2	16.8
	70～74歳	303	8	23	14	27	21	157	53
		100.0	2.6	7.6	4.6	8.9	6.9	51.8	17.5
	75～79歳	190	4	11	10	19	6	80	60
		100.0	2.1	5.8	5.3	10.0	3.2	42.1	31.6
	80～84歳	154	4	7	8	3	7	69	56
	100.0	2.6	4.5	5.2	1.9	4.5	44.8	36.4	
85～89歳	87	1	3	1	3	1	38	40	
	100.0	1.1	3.4	1.1	3.4	1.1	43.7	46.0	
90歳以上	32	0	0	1	1	0	16	14	
	100.0	0.0	0.0	3.1	3.1	0.0	50.0	43.8	

③ 趣味関係のグループ

n=1100

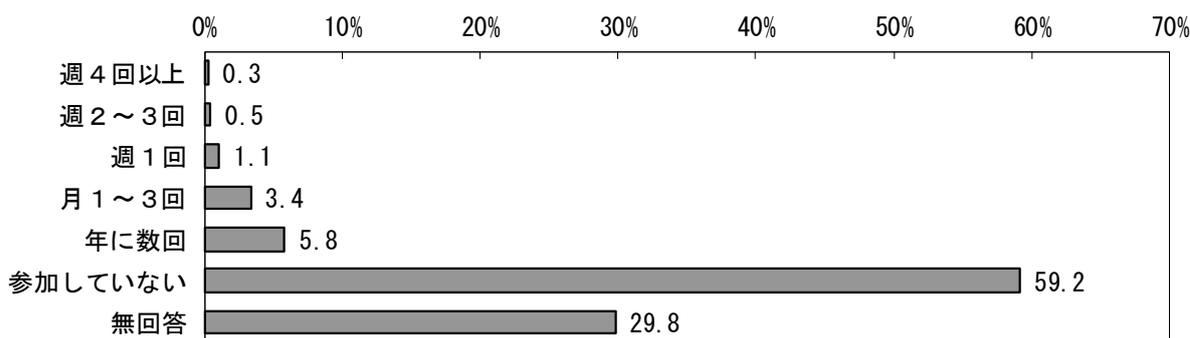


<性別・年齢クロス>

		合計	問5-(1) ③趣味関係のグループ						
			週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答
全体		1100 100.0	21 1.9	52 4.7	54 4.9	120 10.9	91 8.3	510 46.4	252 22.9
性別	男性	510 100.0	7 1.4	22 4.3	20 3.9	42 8.2	53 10.4	252 49.4	114 22.4
	女性	590 100.0	14 2.4	30 5.1	34 5.8	78 13.2	38 6.4	258 43.7	138 23.4
年齢	65～69歳	334 100.0	6 1.8	14 4.2	21 6.3	42 12.6	31 9.3	169 50.6	51 15.3
	70～74歳	303 100.0	4 1.3	16 5.3	15 5.0	40 13.2	30 9.9	145 47.9	53 17.5
	75～79歳	190 100.0	7 3.7	10 5.3	12 6.3	20 10.5	15 7.9	78 41.1	48 25.3
	80～84歳	154 100.0	4 2.6	7 4.5	1 0.6	12 7.8	11 7.1	67 43.5	52 33.8
	85～89歳	87 100.0	0 0.0	4 4.6	4 4.6	6 6.9	2 2.3	35 40.2	36 41.4
	90歳以上	32 100.0	0 0.0	1 3.1	1 3.1	0 0.0	2 6.3	16 50.0	12 37.5

④ 学習・教養サークル

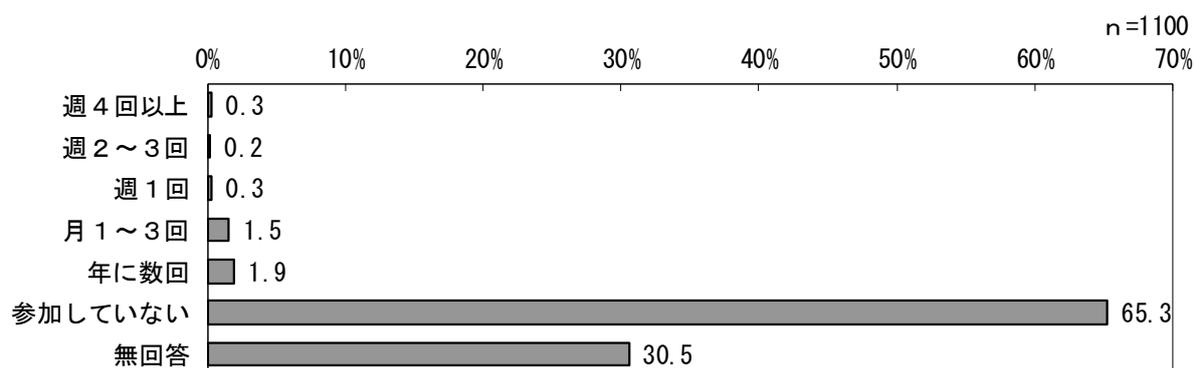
n=1100



<性別・年齢クロス>

		合計	問5-(1) ④学習・教養サークル						
			週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答
全体		1100 100.0	3 0.3	5 0.5	12 1.1	37 3.4	64 5.8	651 59.2	328 29.8
性別	男性	510 100.0	1 0.2	2 0.4	7 1.4	16 3.1	30 5.9	312 61.2	142 27.8
	女性	590 100.0	2 0.3	3 0.5	5 0.8	21 3.6	34 5.8	339 57.5	186 31.5
年齢	65～69歳	334 100.0	1 0.3	1 0.3	4 1.2	13 3.9	13 3.9	235 70.4	67 20.1
	70～74歳	303 100.0	0 0.0	1 0.3	5 1.7	9 3.0	28 9.2	190 62.7	70 23.1
	75～79歳	190 100.0	0 0.0	1 0.5	2 1.1	8 4.2	13 6.8	99 52.1	67 35.3
	80～84歳	154 100.0	1 0.6	1 0.6	1 0.6	4 2.6	6 3.9	73 47.4	68 44.2
	85～89歳	87 100.0	0 0.0	1 1.1	0 0.0	1 1.1	4 4.6	38 43.7	43 49.4
	90歳以上	32 100.0	1 3.1	0 0.0	0 0.0	2 6.3	0 0.0	16 50.0	13 40.6

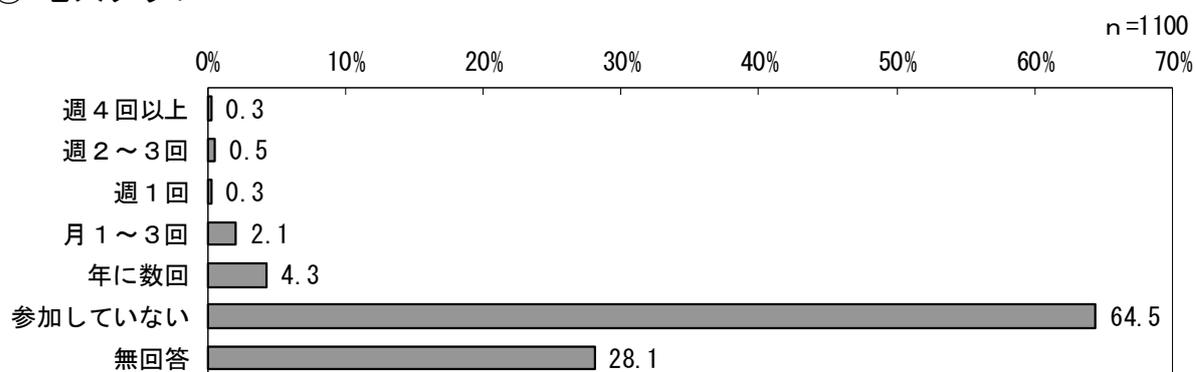
⑤ 介護予防のための通いの場



<性別・年齢クロス>

		合計	問5-(1) ⑤介護予防のための通いの場						無回答
			週4回以上	週2~3回	週1回	月1~3回	年に数回	参加していない	
全体		1100	3	2	3	17	21	718	336
		100.0	0.3	0.2	0.3	1.5	1.9	65.3	30.5
性別	男性	510	2	1	2	6	5	347	147
		100.0	0.4	0.2	0.4	1.2	1.0	68.0	28.8
	女性	590	1	1	1	11	16	371	189
		100.0	0.2	0.2	0.2	1.9	2.7	62.9	32.0
年齢	65~69歳	334	0	1	1	3	6	254	69
		100.0	0.0	0.3	0.3	0.9	1.8	76.0	20.7
	70~74歳	303	1	0	0	6	5	218	73
		100.0	0.3	0.0	0.0	2.0	1.7	71.9	24.1
	75~79歳	190	0	0	2	5	4	111	68
		100.0	0.0	0.0	1.1	2.6	2.1	58.4	35.8
	80~84歳	154	2	1	0	1	3	80	67
	100.0	1.3	0.6	0.0	0.6	1.9	51.9	43.5	
85~89歳	87	0	0	0	2	2	38	45	
	100.0	0.0	0.0	0.0	2.3	2.3	43.7	51.7	
90歳以上	32	0	0	0	0	1	17	14	
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.1	53.1	43.8	

⑥ 老人クラブ

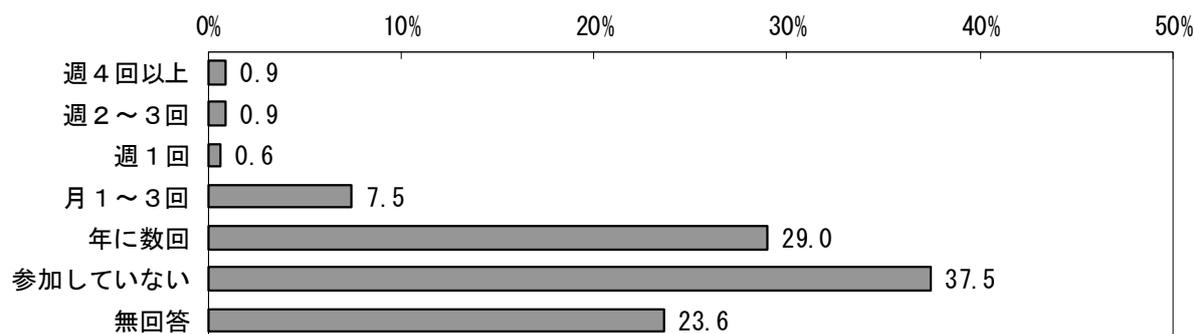


<性別・年齢クロス>

		合計	問5-(1) ⑥老人クラブ						
			週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答
全体		1100 100.0	3 0.3	6 0.5	3 0.3	23 2.1	47 4.3	709 64.5	309 28.1
性別	男性	510 100.0	1 0.2	4 0.8	3 0.6	7 1.4	21 4.1	335 65.7	139 27.3
	女性	590 100.0	2 0.3	2 0.3	0 0.0	16 2.7	26 4.4	374 63.4	170 28.8
年齢	65～69歳	334 100.0	0 0.0	1 0.3	0 0.0	2 0.6	4 1.2	262 78.4	65 19.5
	70～74歳	303 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 0.3	9 3.0	220 72.6	73 24.1
	75～79歳	190 100.0	0 0.0	1 0.5	1 0.5	7 3.7	14 7.4	105 55.3	62 32.6
	80～84歳	154 100.0	2 1.3	1 0.6	0 0.0	7 4.5	10 6.5	76 49.4	58 37.7
	85～89歳	87 100.0	1 1.1	3 3.4	1 1.1	2 2.3	9 10.3	32 36.8	39 44.8
	90歳以上	32 100.0	0 0.0	0 0.0	1 3.1	4 12.5	1 3.1	14 43.8	12 37.5

⑦ 町内会・自治会

n=1100

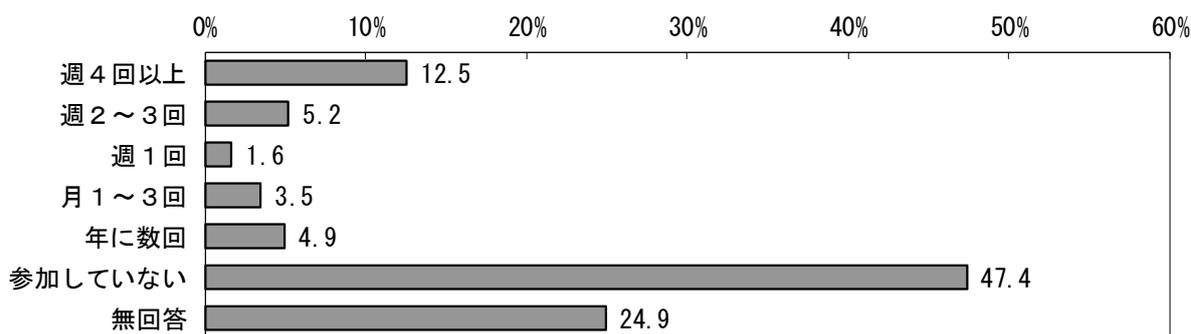


<性別・年齢クロス>

		合計	問5-(1) ⑦町内会・自治会						
			週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答
全体		1100 100.0	10 0.9	10 0.9	7 0.6	82 7.5	319 29.0	412 37.5	260 23.6
性別	男性	510 100.0	6 1.2	8 1.6	6 1.2	54 10.6	175 34.3	160 31.4	101 19.8
	女性	590 100.0	4 0.7	2 0.3	1 0.2	28 4.7	144 24.4	252 42.7	159 26.9
年齢	65～69歳	334 100.0	1 0.3	2 0.6	1 0.3	24 7.2	112 33.5	146 43.7	48 14.4
	70～74歳	303 100.0	5 1.7	5 1.7	3 1.0	27 8.9	97 32.0	109 36.0	57 18.8
	75～79歳	190 100.0	1 0.5	2 1.1	1 0.5	17 8.9	58 30.5	60 31.6	51 26.8
	80～84歳	154 100.0	2 1.3	1 0.6	0 0.0	6 3.9	40 26.0	53 34.4	52 33.8
	85～89歳	87 100.0	1 1.1	0 0.0	2 2.3	6 6.9	9 10.3	30 34.5	39 44.8
	90歳以上	32 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 6.3	3 9.4	14 43.8	13 40.6

⑧ 収入のある仕事

n=1100

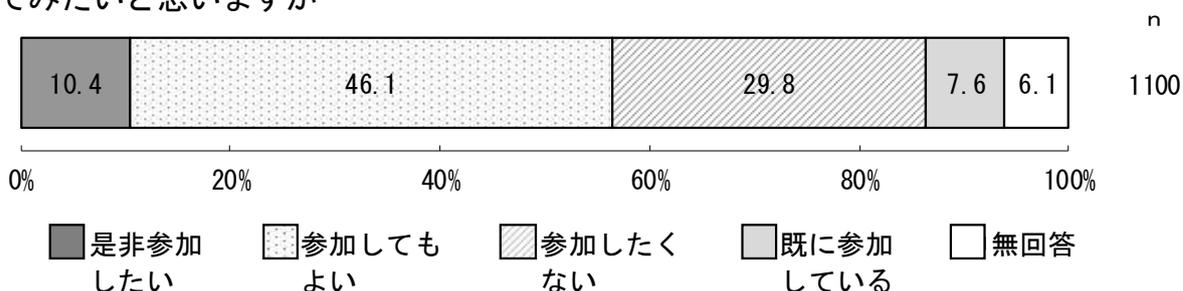


<性別・年齢クロス>

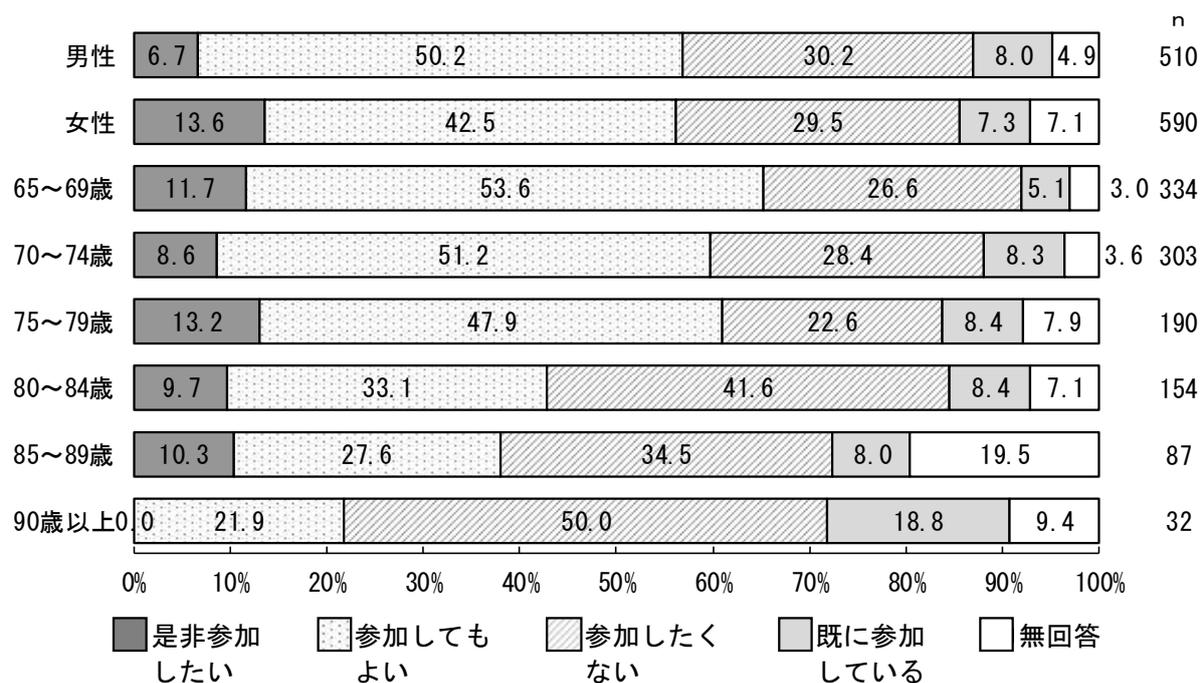
		合計	問5-(1) ⑧収入のある仕事						
			週4回以上	週2~3回	週1回	月1~3回	年に数回	参加していない	無回答
全体		1100	138	57	18	38	54	521	274
		100.0	12.5	5.2	1.6	3.5	4.9	47.4	24.9
性別	男性	510	76	24	12	27	37	224	110
		100.0	14.9	4.7	2.4	5.3	7.3	43.9	21.6
	女性	590	62	33	6	11	17	297	164
		100.0	10.5	5.6	1.0	1.9	2.9	50.3	27.8
年齢	65~69歳	334	76	31	10	14	23	135	45
		100.0	22.8	9.3	3.0	4.2	6.9	40.4	13.5
	70~74歳	303	47	13	4	16	20	156	47
		100.0	15.5	4.3	1.3	5.3	6.6	51.5	15.5
	75~79歳	190	9	9	2	7	6	95	62
		100.0	4.7	4.7	1.1	3.7	3.2	50.0	32.6
	80~84歳	154	5	2	1	1	4	79	62
	100.0	3.2	1.3	0.6	0.6	2.6	51.3	40.3	
85~89歳	87	0	2	1	0	1	40	43	
	100.0	0.0	2.3	1.1	0.0	1.1	46.0	49.4	
90歳以上	32	1	0	0	0	0	16	15	
	100.0	3.1	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	46.9	

- 参加者としての参加意向（2）は、「是非参加したい」が10.4%、「参加してもよい」が46.1%であり、合計で56.5%が参加の意向を示している。
- 性別では、女性に「是非参加したい」が多く、年齢区分では、75~79歳までは、約6割に参加意向がある。

（2）地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか



<性別・年齢クロス>

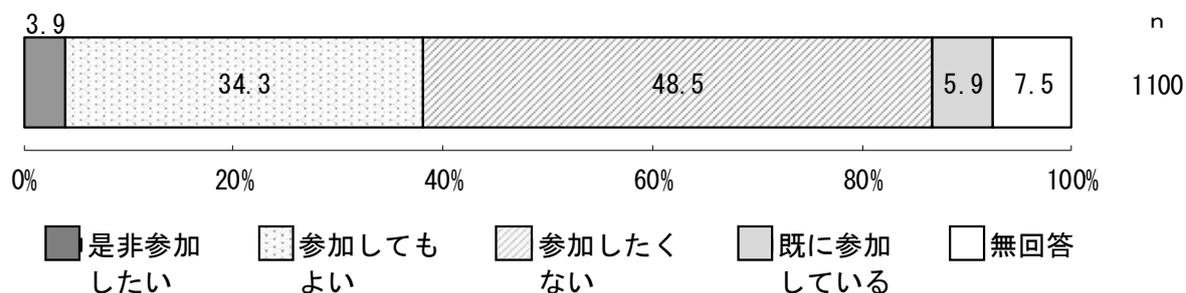


■企画・運営側としての参加意向（3）は、参加者としての参加意向（2）より相対的に低いものの「是非参加したい」が3.9%、「参加してもよい」が34.3%であり、合計すれば38.2%が参画の意向を示している。

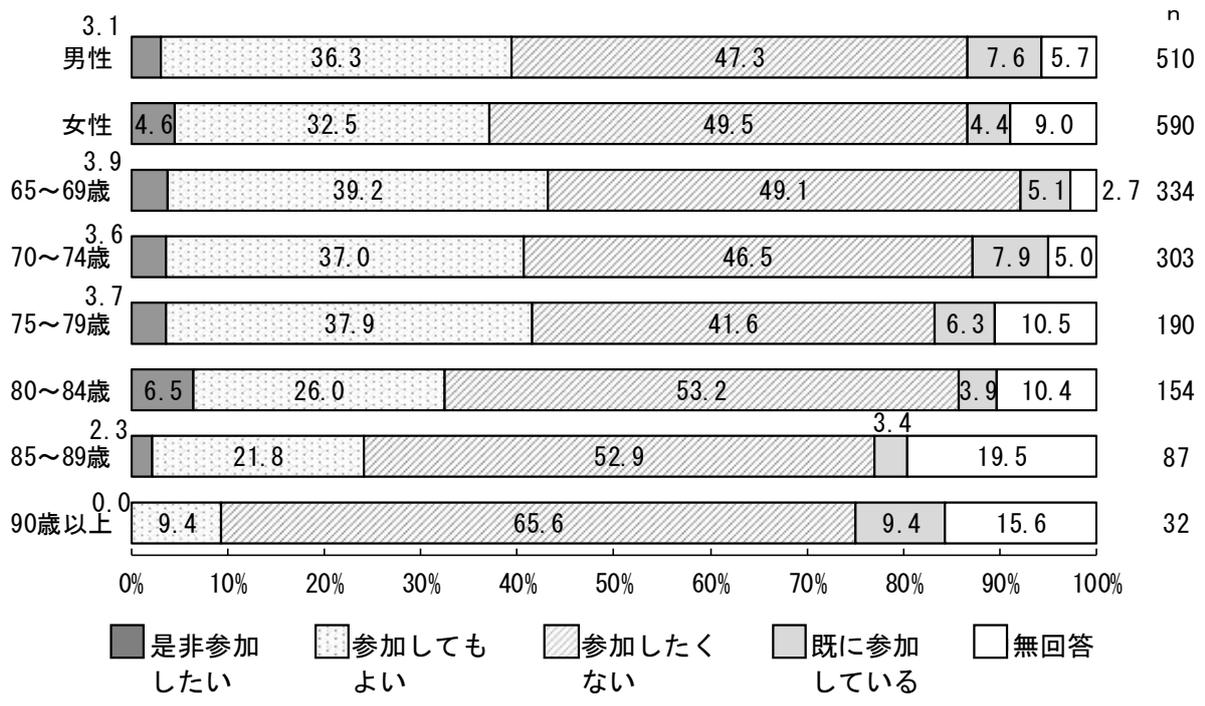
■性別では、大きな差異はない。

■年齢区分では、75～79歳以降、年齢があがるにつれ参画意向が減退している。

（3）地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか



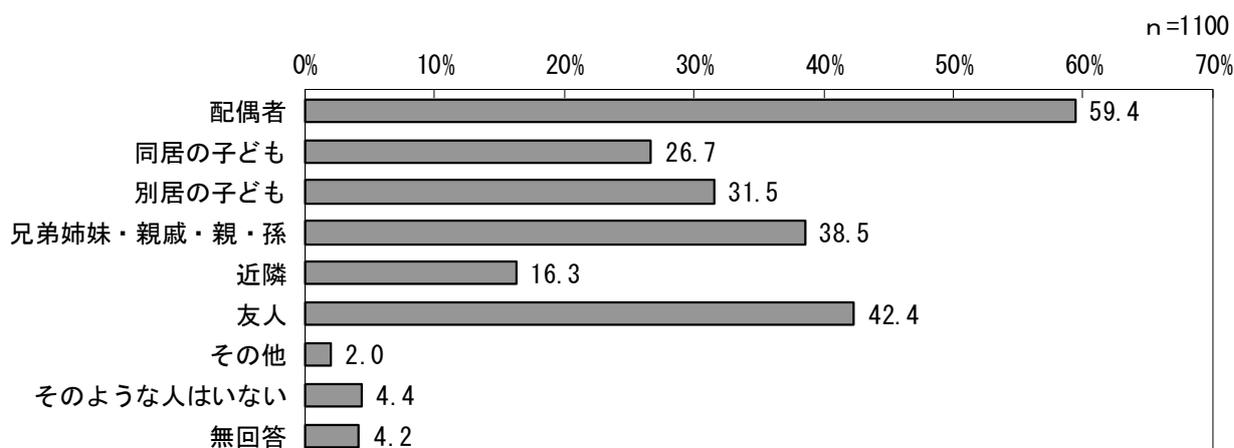
<性別・年齢クロス>



6. たすけあいについて

- 心配事や愚痴を聞いてくれる人（１）、聞いてあげる人（２）ともに、「配偶者」が最も多くおよそ半数となっており、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」、「友人」が約４割となっている。
- 心配事や愚痴を聞いてくれる人について、男性は「配偶者」が最も多いのに対し、女性は「友人」が「配偶者」よりも多くなっている。
- 同じく、心配事や愚痴を聞いてくれる人について、「配偶者」は75～79歳以降、「友人」は80～84歳以降、年齢区分が上がるにつれて減少する。

（１）あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人



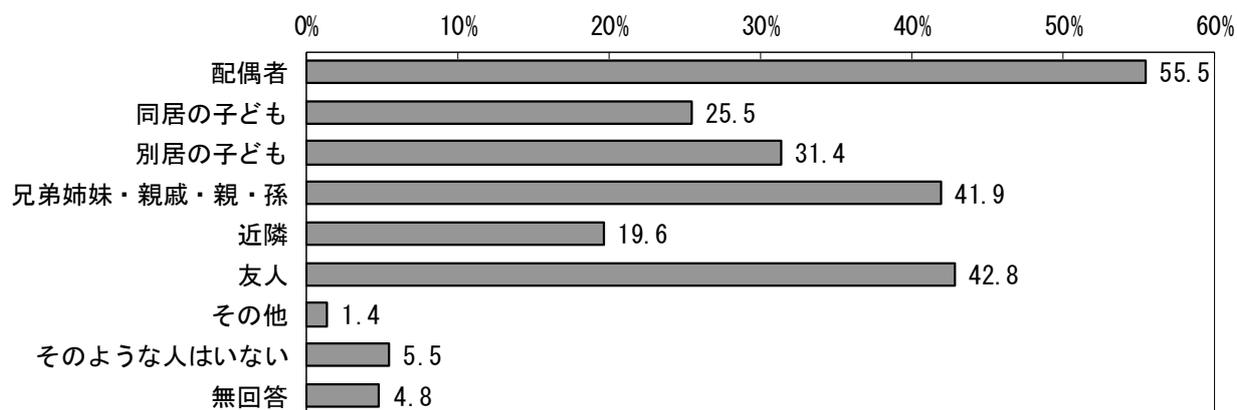
【複数回答】

<性別・年齢クロス>

	合計	問6-(1) あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人									
		配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答	
全体	1100 100.0	653 59.4	294 26.7	347 31.5	424 38.5	179 16.3	466 42.4	22 2.0	48 4.4	46 4.2	
性別	男性	510 100.0	361 70.8	97 19.0	128 25.1	150 29.4	55 10.8	144 28.2	10 2.0	32 6.3	29 5.7
	女性	590 100.0	292 49.5	197 33.4	219 37.1	274 46.4	124 21.0	322 54.6	12 2.0	16 2.7	17 2.9
年齢	65～69歳	334 100.0	225 67.4	72 21.6	98 29.3	138 41.3	43 12.9	170 50.9	11 3.3	19 5.7	9 2.7
	70～74歳	303 100.0	209 69.0	80 26.4	106 35.0	104 34.3	44 14.5	130 42.9	3 1.0	8 2.6	9 3.0
	75～79歳	190 100.0	110 57.9	52 27.4	54 28.4	85 44.7	40 21.1	88 46.3	1 0.5	6 3.2	9 4.7
	80～84歳	154 100.0	71 46.1	49 31.8	51 33.1	55 35.7	28 18.2	50 32.5	6 3.9	10 6.5	9 5.8
	85～89歳	87 100.0	31 35.6	29 33.3	27 31.0	31 35.6	16 18.4	19 21.8	1 1.1	3 3.4	8 9.2
	90歳以上	32 100.0	7 21.9	12 37.5	11 34.4	11 34.4	8 25.0	9 28.1	0 0.0	2 6.3	2 6.3

(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人

n=1100



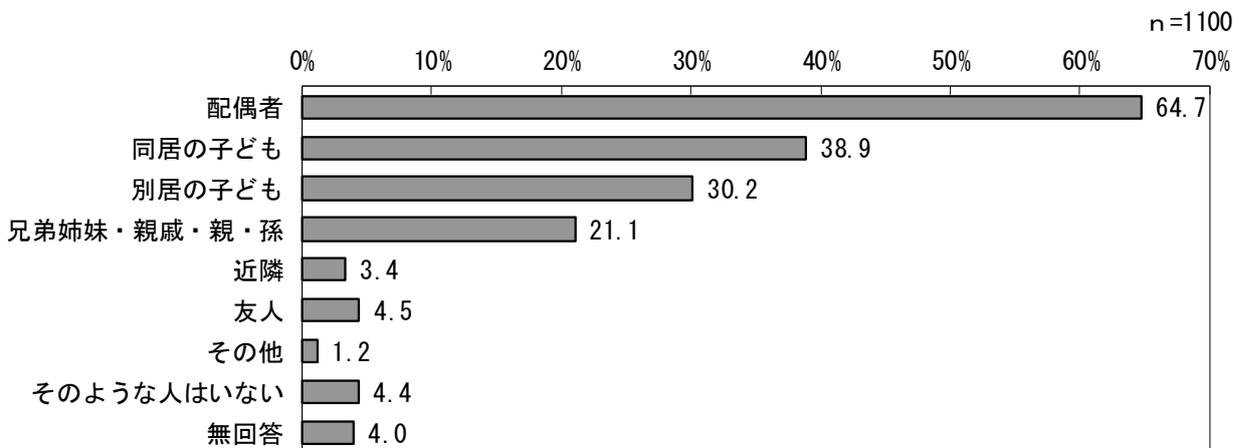
【複数回答】

<性別・年齢クロス>

	合計	問6-(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人									
		配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答	
全体	1100 100.0	610 55.5	280 25.5	345 31.4	461 41.9	216 19.6	471 42.8	15 1.4	60 5.5	53 4.8	
性別	男性	510 100.0	347 68.0	107 21.0	133 26.1	173 33.9	67 13.1	144 28.2	6 1.2	34 6.7	31 6.1
	女性	590 100.0	263 44.6	173 29.3	212 35.9	288 48.8	149 25.3	327 55.4	9 1.5	26 4.4	22 3.7
年齢	65～69歳	334 100.0	211 63.2	77 23.1	110 32.9	150 44.9	61 18.3	180 53.9	9 2.7	18 5.4	9 2.7
	70～74歳	303 100.0	191 63.0	80 26.4	112 37.0	133 43.9	57 18.8	126 41.6	1 0.3	9 3.0	11 3.6
	75～79歳	190 100.0	106 55.8	52 27.4	50 26.3	87 45.8	42 22.1	90 47.4	1 0.5	7 3.7	11 5.8
	80～84歳	154 100.0	65 42.2	43 27.9	44 28.6	54 35.1	34 22.1	55 35.7	2 1.3	14 9.1	12 7.8
	85～89歳	87 100.0	28 32.2	20 23.0	22 25.3	28 32.2	15 17.2	16 18.4	2 2.3	8 9.2	8 9.2
	90歳以上	32 100.0	9 28.1	8 25.0	7 21.9	9 28.1	7 21.9	4 12.5	0 0.0	4 12.5	2 6.3

- 看病や世話をしてくれる人（3）、してあげる人（4）も、「配偶者」が最も多く、いずれも64%台となっている。
- 看病や世話をしてくれる人について、男性は「配偶者」が77.6%と顕著に多いが、女性は53.6%にとどまり、「同居の子ども」（45.8%）、「別居の子ども」（33.7%）が男性よりも多くなっている。
- 同じく、看病や世話をしてくれる人について、「配偶者」は年齢区分が上がるにつれて減少するのに対し、「同居の子ども」は、年齢区分が上がるにつれて増加している。

（3）あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人

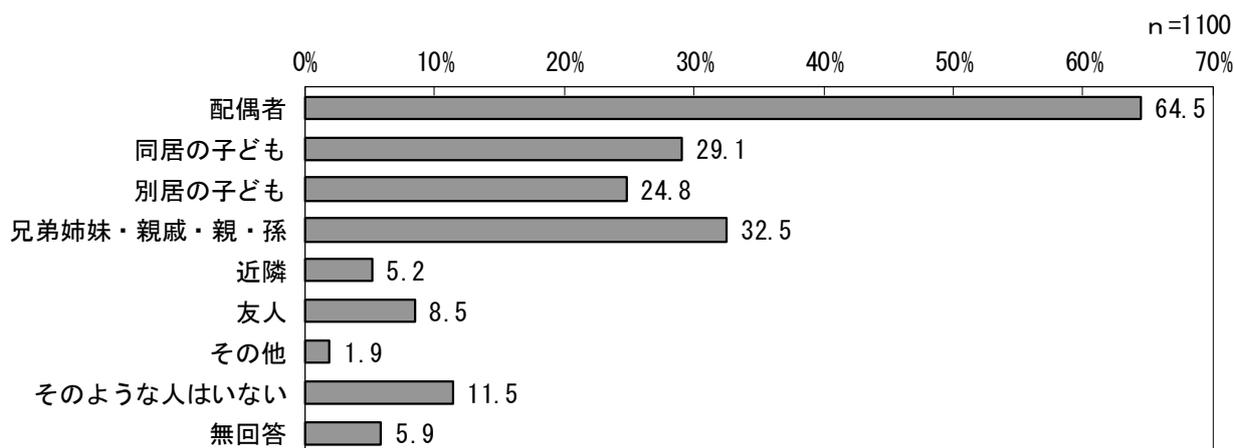


【複数回答】

<性別・年齢クロス>

		合計	問6-(3) あなたが病気で数日間寝込んだ時に、看病や世話をしてくれる人								
			配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
全体		1100	712	428	332	232	37	49	13	48	44
		100.0	64.7	38.9	30.2	21.1	3.4	4.5	1.2	4.4	4.0
性別	男性	510	396	158	133	86	11	8	6	23	24
		100.0	77.6	31.0	26.1	16.9	2.2	1.6	1.2	4.5	4.7
	女性	590	316	270	199	146	26	41	7	25	20
		100.0	53.6	45.8	33.7	24.7	4.4	6.9	1.2	4.2	3.4
年齢	65～69歳	334	247	110	88	74	9	17	5	15	9
		100.0	74.0	32.9	26.3	22.2	2.7	5.1	1.5	4.5	2.7
	70～74歳	303	224	107	111	49	10	11	1	13	9
		100.0	73.9	35.3	36.6	16.2	3.3	3.6	0.3	4.3	3.0
	75～79歳	190	129	80	50	49	8	9	2	8	6
		100.0	67.9	42.1	26.3	25.8	4.2	4.7	1.1	4.2	3.2
	80～84歳	154	72	70	47	37	6	12	2	7	12
	100.0	46.8	45.5	30.5	24.0	3.9	7.8	1.3	4.5	7.8	
85～89歳	87	33	41	28	22	3	0	3	3	6	
	100.0	37.9	47.1	32.2	25.3	3.4	0.0	3.4	3.4	6.9	
90歳以上	32	7	20	8	1	1	0	0	2	2	
	100.0	21.9	62.5	25.0	3.1	3.1	0.0	0.0	6.3	6.3	

(4) 反対に、看病や世話をしあける人



【複数回答】

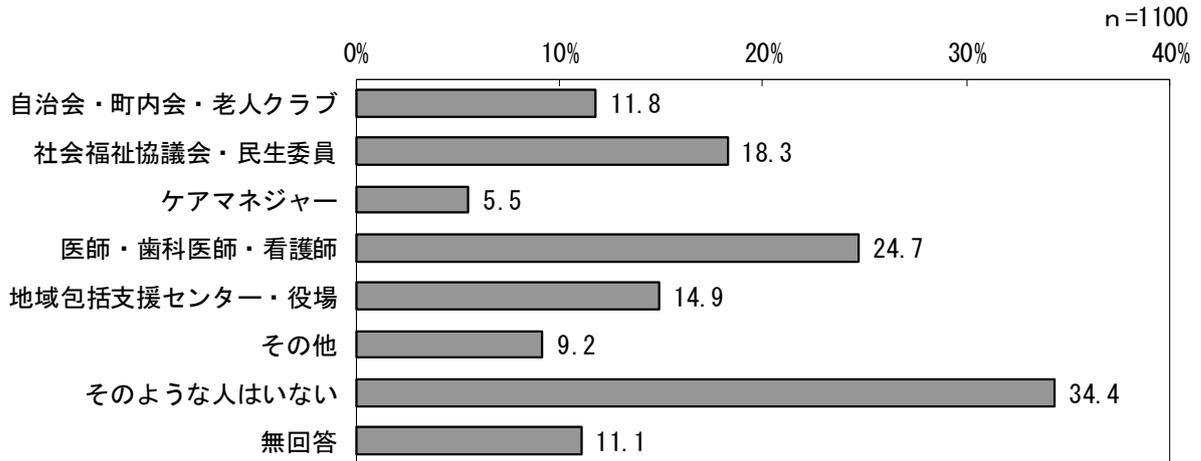
<性別・年齢クロス>

		合計	問6-(4) 反対に、看病や世話をしあける人								
			配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
全体		1100 100.0	709 64.5	320 29.1	273 24.8	358 32.5	57 5.2	93 8.5	21 1.9	126 11.5	65 5.9
性別	男性	510 100.0	376 73.7	119 23.3	109 21.4	124 24.3	18 3.5	20 3.9	9 1.8	53 10.4	30 5.9
	女性	590 100.0	333 56.4	201 34.1	164 27.8	234 39.7	39 6.6	73 12.4	12 2.0	73 12.4	35 5.9
年齢	65～69歳	334 100.0	242 72.5	89 26.6	98 29.3	138 41.3	14 4.2	30 9.0	12 3.6	27 8.1	10 3.0
	70～74歳	303 100.0	223 73.6	99 32.7	92 30.4	101 33.3	18 5.9	24 7.9	4 1.3	20 6.6	11 3.6
	75～79歳	190 100.0	129 67.9	59 31.1	41 21.6	65 34.2	14 7.4	23 12.1	3 1.6	17 8.9	7 3.7
	80～84歳	154 100.0	75 48.7	46 29.9	28 18.2	39 25.3	4 2.6	11 7.1	1 0.6	24 15.6	21 13.6
	85～89歳	87 100.0	32 36.8	20 23.0	12 13.8	15 17.2	6 6.9	5 5.7	1 1.1	23 26.4	13 14.9
	90歳以上	32 100.0	8 25.0	7 21.9	2 6.3	0 0.0	1 3.1	0 0.0	0 0.0	15 46.9	3 9.4

■家族や友人・知人以外の相談する相手(5)は、「そのような人はいない」が34.4%と最も多くなっているが、相談相手としては、「医師・歯科医師・看護師」が24.7%、「社会福祉協議会・民生委員」が18.3%、「地域包括支援センター・役場」が14.9%と、医療及び福祉関係者が上位となっている。

■「そのような人はいない」を除けば、男女及びすべての年齢区分で「医師・歯科医師・看護師」が最上位にあげられている。

(5) 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください



【複数回答】

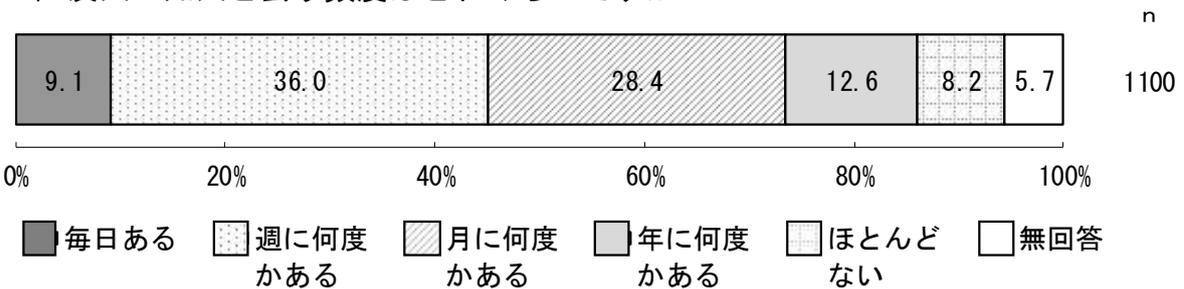
<性別・年齢クロス>

		合計	問6-(5) 家族や友人・知人以外で、何かあった時に相談する相手							無回答
			自治会・町内会・老人クラブ	社会福祉協議会・民生委員	ケアマネジャー	医師・歯科医師・看護師	地域包括支援センター・役場	その他	そのような人はいない	
全体		1100 100.0	130 11.8	201 18.3	61 5.5	272 24.7	164 14.9	101 9.2	378 34.4	122 11.1
性別	男性	510 100.0	85 16.7	85 16.7	20 3.9	116 22.7	57 11.2	55 10.8	181 35.5	52 10.2
	女性	590 100.0	45 7.6	116 19.7	41 6.9	156 26.4	107 18.1	46 7.8	197 33.4	70 11.9
年齢	65～69歳	334 100.0	30 9.0	48 14.4	20 6.0	73 21.9	48 14.4	42 12.6	137 41.0	23 6.9
	70～74歳	303 100.0	40 13.2	53 17.5	15 5.0	74 24.4	45 14.9	23 7.6	110 36.3	28 9.2
	75～79歳	190 100.0	30 15.8	41 21.6	9 4.7	46 24.2	28 14.7	19 10.0	55 28.9	28 14.7
	80～84歳	154 100.0	13 8.4	36 23.4	10 6.5	38 24.7	28 18.2	7 4.5	45 29.2	24 15.6
	85～89歳	87 100.0	12 13.8	17 19.5	6 6.9	32 36.8	12 13.8	6 6.9	24 27.6	15 17.2
	90歳以上	32 100.0	5 15.6	6 18.8	1 3.1	9 28.1	3 9.4	4 12.5	7 21.9	4 12.5

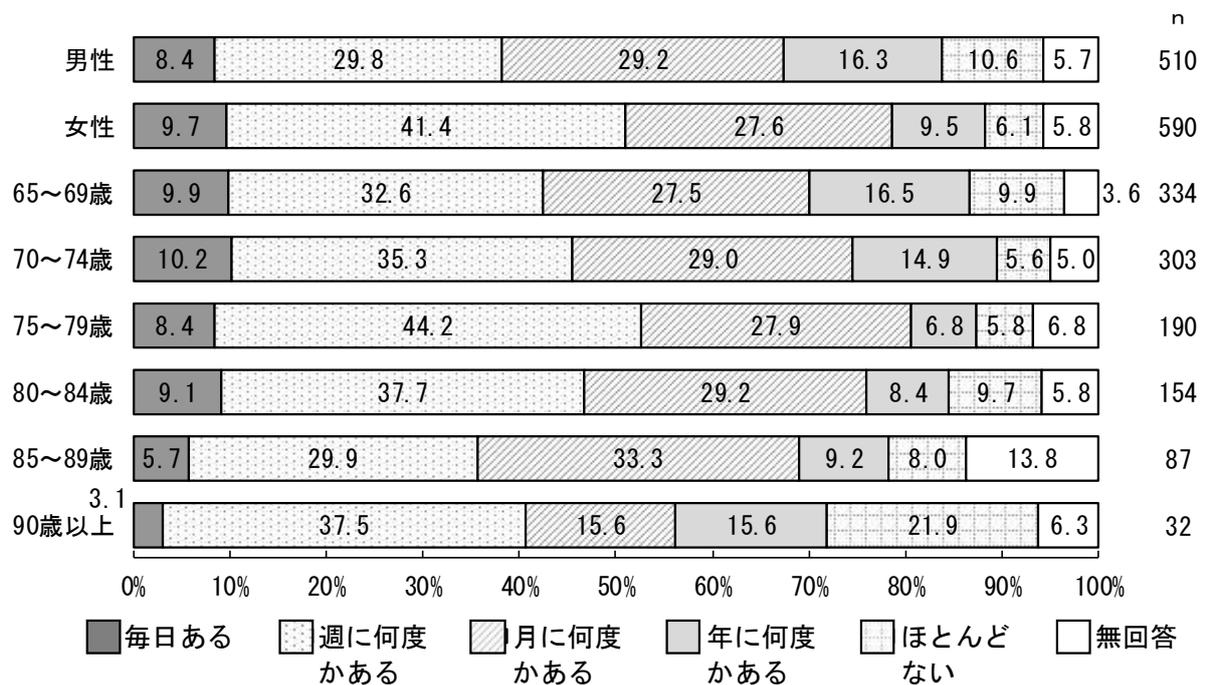
■友人・知人との関係（6）～（8）について、会う頻度は「週に何度かある」が36.0%、「月に何度かある」が28.4%、「年に何度かある」が12.6%となっている。会った人数は、「10人以上」が30.6%と最も多く、次いで「3～5人」が24.0%、「1～2人」が21.5%となっている。よく会う友人・知人は、「近所・同じ地域の人」が62.6%と顕著に多く、地縁関係が第一となっている。

■頻度（6）は、性別では、男性よりも女性の方がやや多く、年齢区分では、「月に何度か」以上でみれば、75～79歳をピークとして、年齢区分が上がるにつれ頻度が低下している。

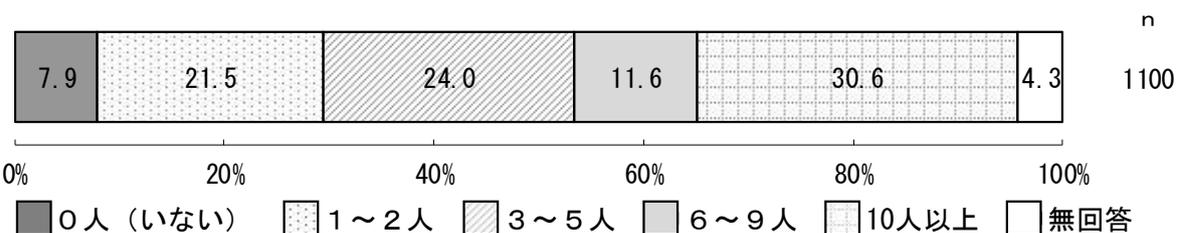
（6）友人・知人と会う頻度はどれくらいですか



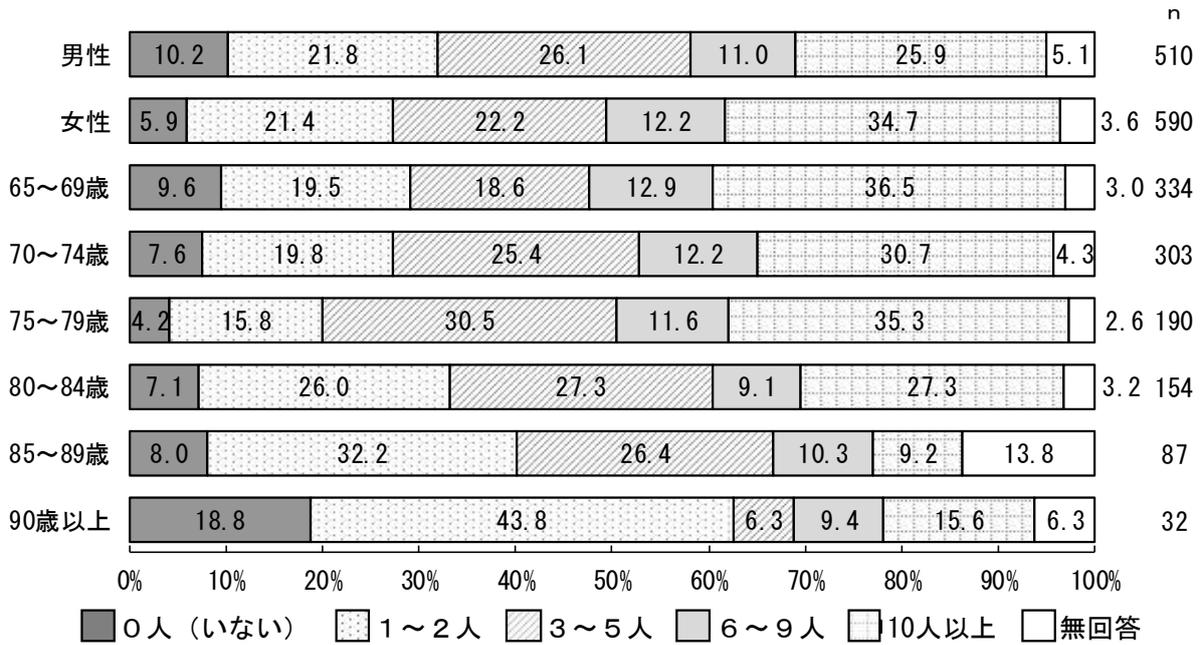
<性別・年齢クロス>



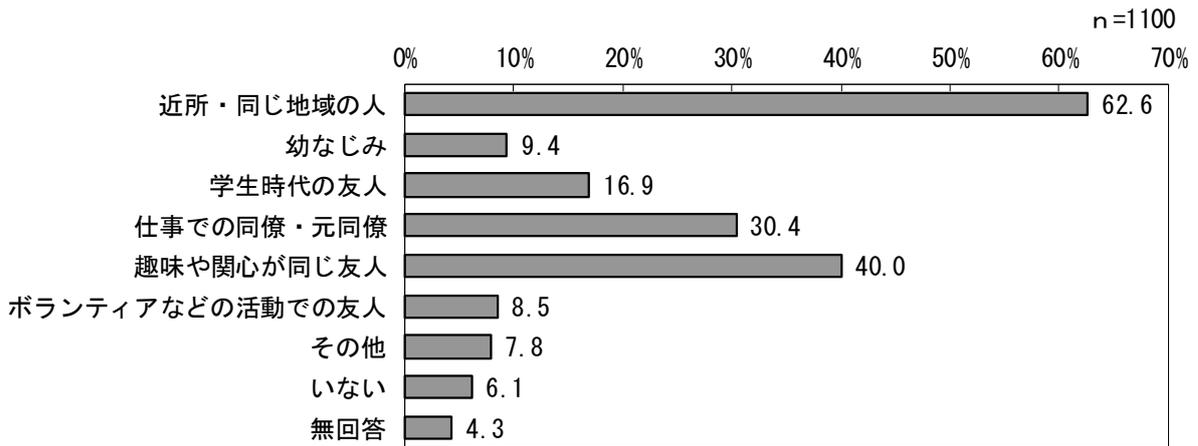
（7）この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか



<性別・年齢クロス>



(8) よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか



【複数回答】

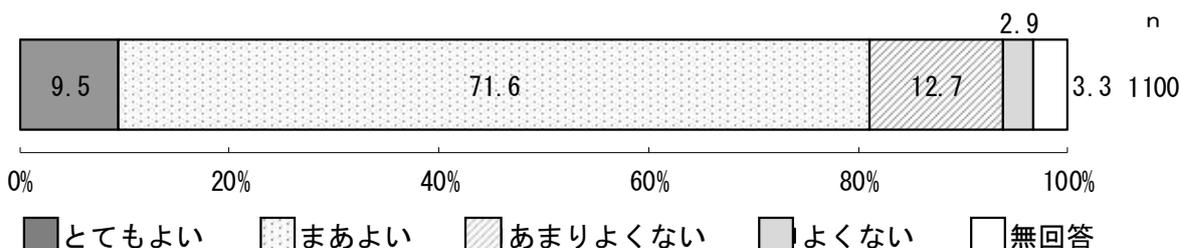
<性別・年齢クロス>

	合計	問6-(8) よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか								
		近所・同じ地域の人	幼なじみ	学生時代の友人	仕事での同僚・元同僚	趣味や関心が同じ友人	ボランティアなどの活動での友人	その他	いない	無回答
全体	1100	689	103	186	334	440	93	86	67	47
	100.0	62.6	9.4	16.9	30.4	40.0	8.5	7.8	6.1	4.3
性別 男性	510	299	52	80	167	192	24	37	39	28
	100.0	58.6	10.2	15.7	32.7	37.6	4.7	7.3	7.6	5.5
女性	590	390	51	106	167	248	69	49	28	19
	100.0	66.1	8.6	18.0	28.3	42.0	11.7	8.3	4.7	3.2
年齢 65~69歳	334	180	29	69	145	135	36	29	25	11
	100.0	53.9	8.7	20.7	43.4	40.4	10.8	8.7	7.5	3.3
70~74歳	303	184	43	64	103	128	28	27	12	12
	100.0	60.7	14.2	21.1	34.0	42.2	9.2	8.9	4.0	4.0
75~79歳	190	139	14	34	46	90	18	9	8	6
	100.0	73.2	7.4	17.9	24.2	47.4	9.5	4.7	4.2	3.2
80~84歳	154	109	11	15	29	56	8	11	11	7
	100.0	70.8	7.1	9.7	18.8	36.4	5.2	7.1	7.1	4.5
85~89歳	87	57	6	4	7	29	3	6	7	7
	100.0	65.5	6.9	4.6	8.0	33.3	3.4	6.9	8.0	8.0
90歳以上	32	20	0	0	4	2	0	4	4	4
	100.0	62.5	0.0	0.0	12.5	6.3	0.0	12.5	12.5	12.5

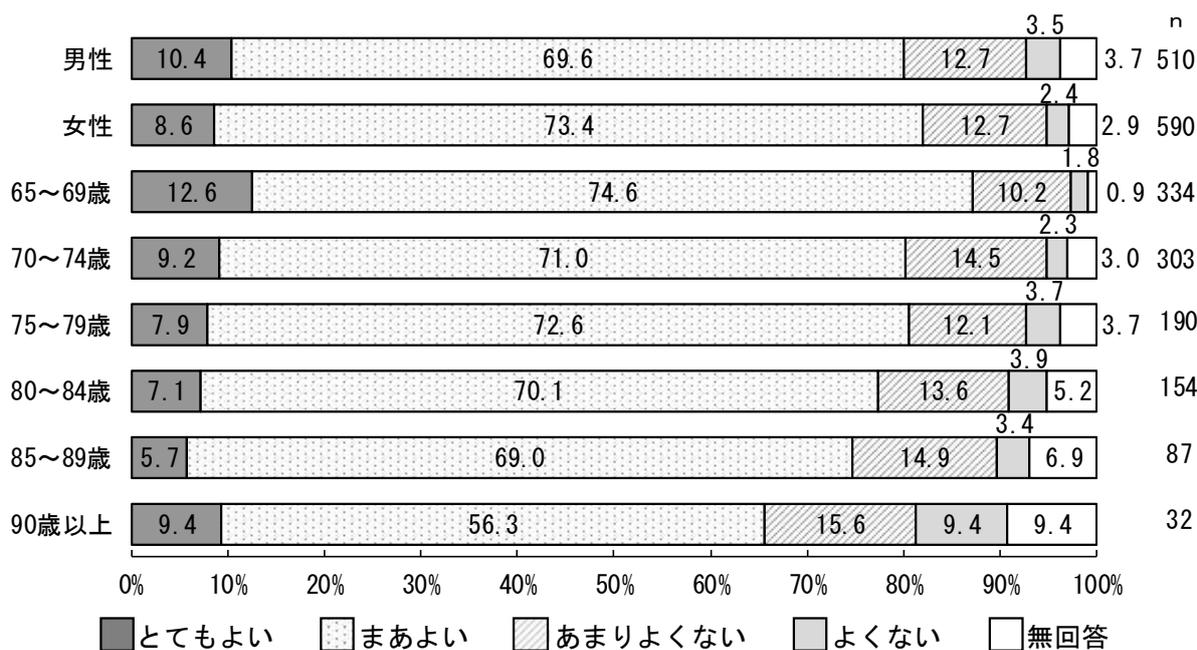
7. 健康について

- 自覚的な健康状態（1）は、「まあよい」が71.6%と最も多く、「とてもよい」（9.5%）と合わせて約8割が良好と認識している。
- 性別で大きな差異はないが、年齢区分では、90歳以上は、「とてもよい」が9.4%である一方、「よくない」も同じく9.4%となっている。

（1）現在のあなたの健康状態はいかがですか

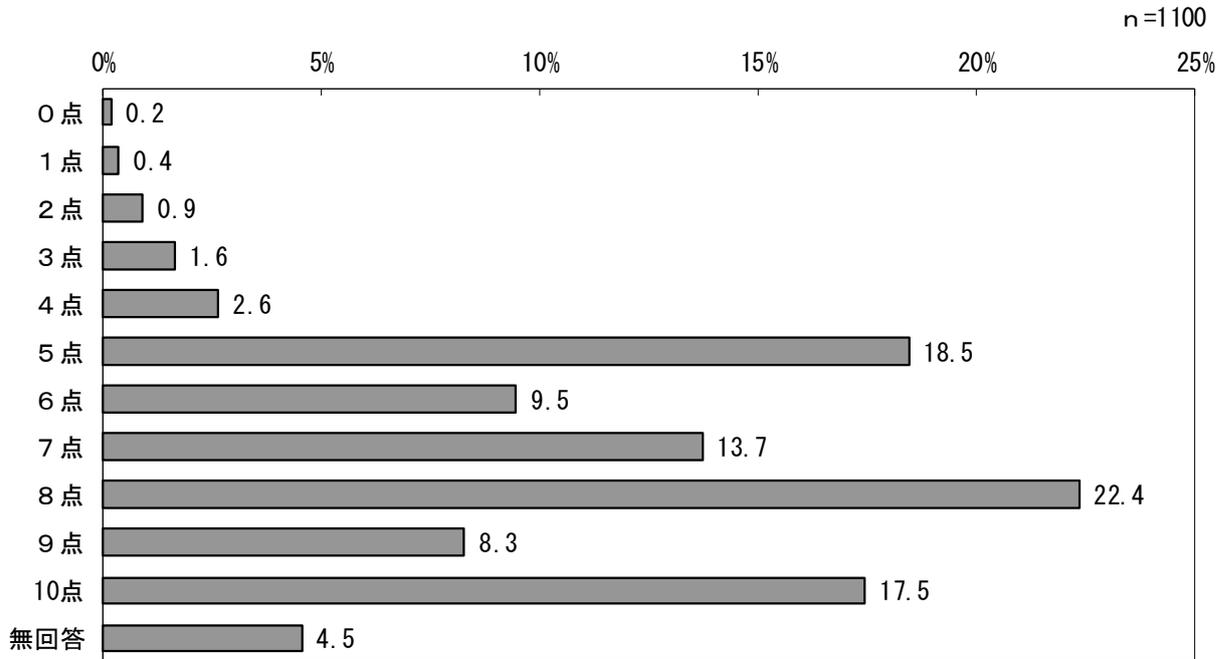


<性別・年齢クロス>



■主観的幸福感（2）は、「8点」が最も多く22.4%、次いで「5点」が18.5%、「10点」が17.5%、「7点」が13.7%となっている。

（2）あなたは、現在どの程度幸せですか（「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください）

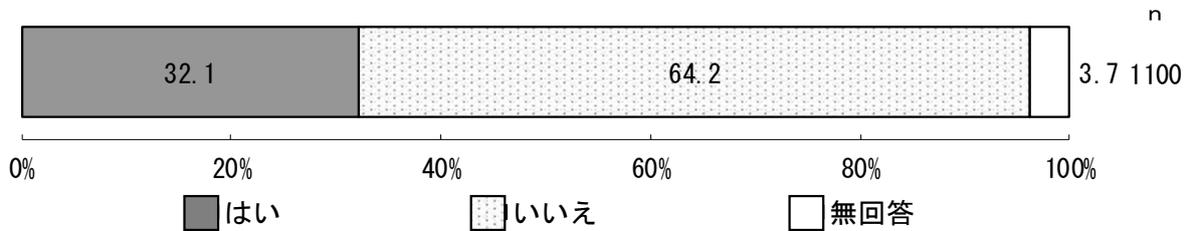


<性別・年齢クロス>

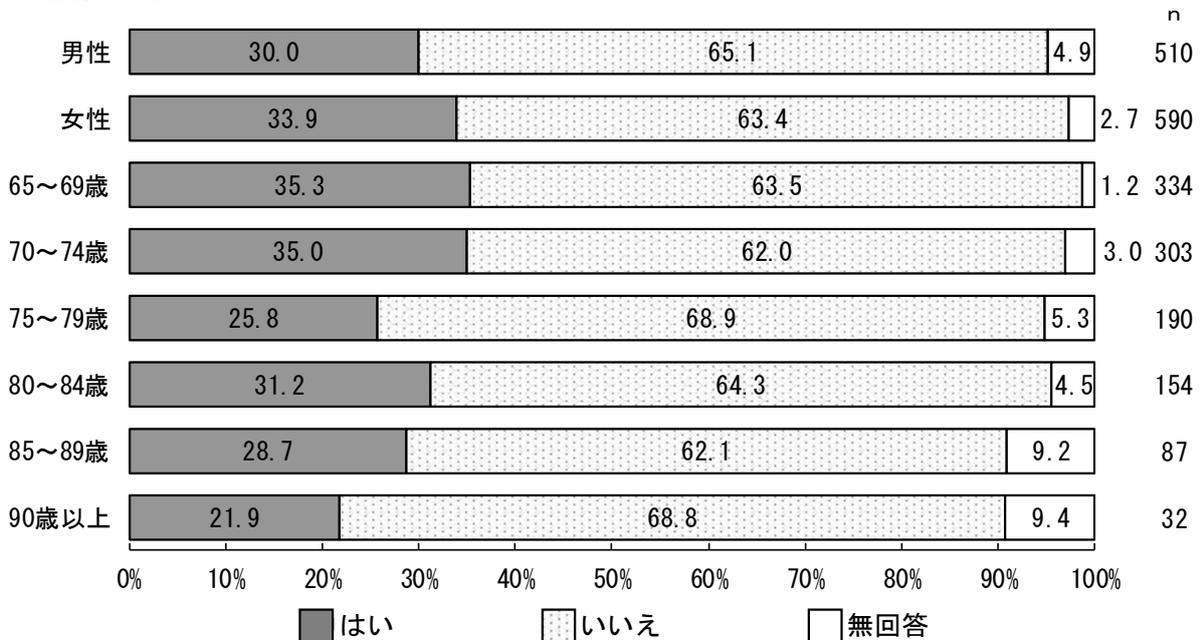
		合計	問7-(2) あなたは、現在どの程度幸せですか											
			0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	無回答
全体		1100	2	4	10	18	29	203	104	151	246	91	192	50
		100.0	0.2	0.4	0.9	1.6	2.6	18.5	9.5	13.7	22.4	8.3	17.5	4.5
性別	男性	510	2	3	5	10	17	99	51	67	117	39	69	31
		100.0	0.4	0.6	1.0	2.0	3.3	19.4	10.0	13.1	22.9	7.6	13.5	6.1
	女性	590	0	1	5	8	12	104	53	84	129	52	123	19
		100.0	0.0	0.2	0.8	1.4	2.0	17.6	9.0	14.2	21.9	8.8	20.8	3.2
年齢	65～69歳	334	0	3	4	5	8	63	35	47	88	25	43	13
		100.0	0.0	0.9	1.2	1.5	2.4	18.9	10.5	14.1	26.3	7.5	12.9	3.9
	70～74歳	303	1	0	1	6	8	62	31	50	65	26	44	9
		100.0	0.3	0.0	0.3	2.0	2.6	20.5	10.2	16.5	21.5	8.6	14.5	3.0
	75～79歳	190	1	0	2	4	6	30	14	20	42	20	41	10
		100.0	0.5	0.0	1.1	2.1	3.2	15.8	7.4	10.5	22.1	10.5	21.6	5.3
	80～84歳	154	0	0	1	3	4	25	17	20	26	10	41	7
	100.0	0.0	0.0	0.6	1.9	2.6	16.2	11.0	13.0	16.9	6.5	26.6	4.5	
85～89歳	87	0	0	2	0	1	18	6	11	18	7	18	6	
	100.0	0.0	0.0	2.3	0.0	1.1	20.7	6.9	12.6	20.7	8.0	20.7	6.9	
90歳以上	32	0	1	0	0	2	5	1	3	7	3	5	5	
	100.0	0.0	3.1	0.0	0.0	6.3	15.6	3.1	9.4	21.9	9.4	15.6	15.6	

- 気分の落ち込み（3）～（4）については、6～7割台が「いいえ」である。
- 性別では、ゆううつ（3）は女性、物事の興味（4）は男性に「はい」が多い。
- 年齢区分では、物事の興味（4）について、75～79歳以降、年齢が上がるにつれ「はい」の回答が増加している。

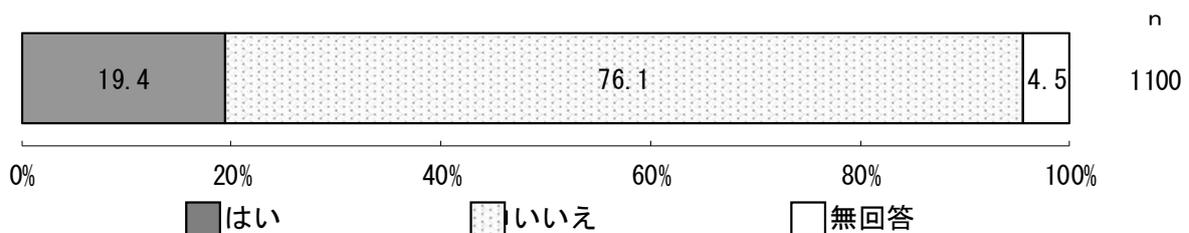
（3）この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか



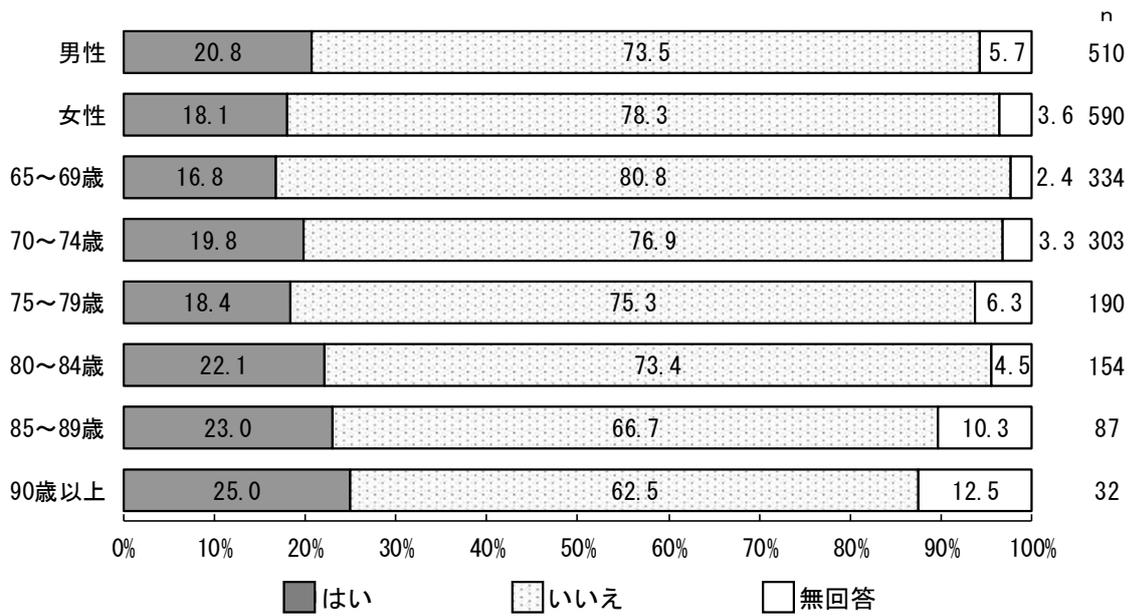
<性別・年齢クロス>



（4）この1か月間、どうしても物事に対して興味がわからない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか

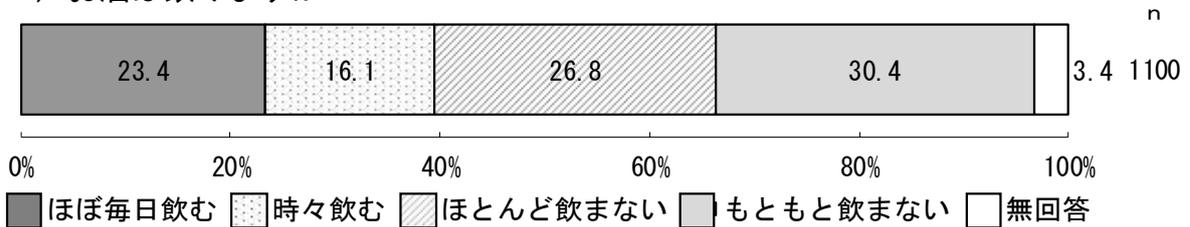


<性別・年齢クロス>

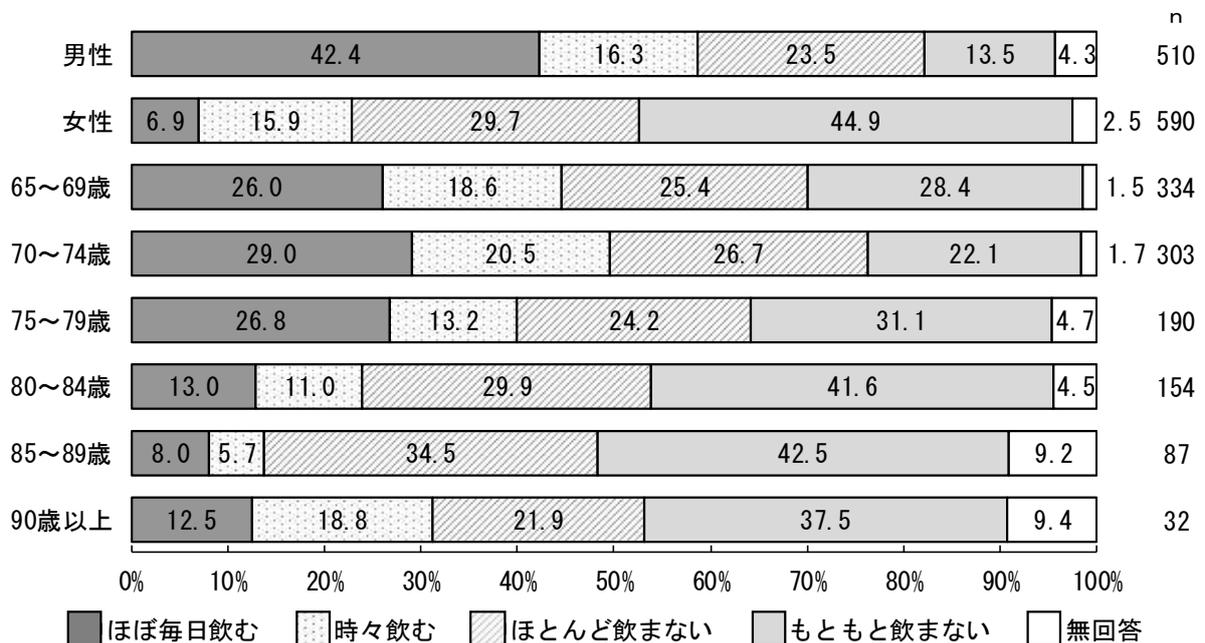


■ 飲酒習慣（５）は、「もともと飲まない」が30.4%と最も多い。
 ■ 男女の差異が大きく、年齢区分では、80～84歳以降、「ほぼ毎日」の割合が1割前後に低下している。

(5) お酒は飲みますか

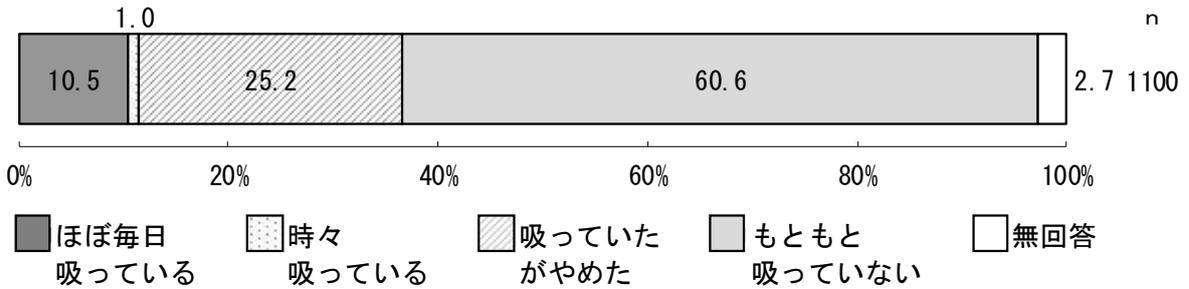


<性別・年齢クロス>

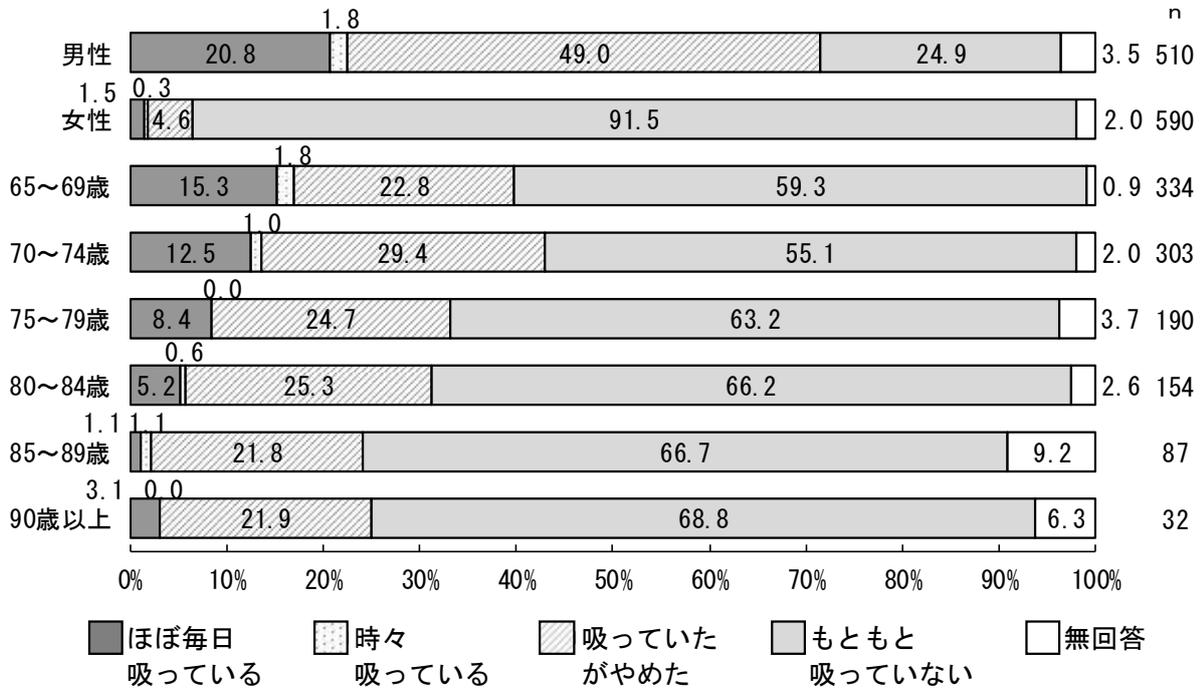


■喫煙習慣（6）は、「もともと吸っていない」が60.6%と最も多く、次いで「吸っていたがやめた」が25.27%となっている。
 ■男女の差異が大きく、また、85～89歳までは、年齢区分が上がるにつれ「ほぼ毎日」の割合が低下している。

（6）タバコは吸っていますか

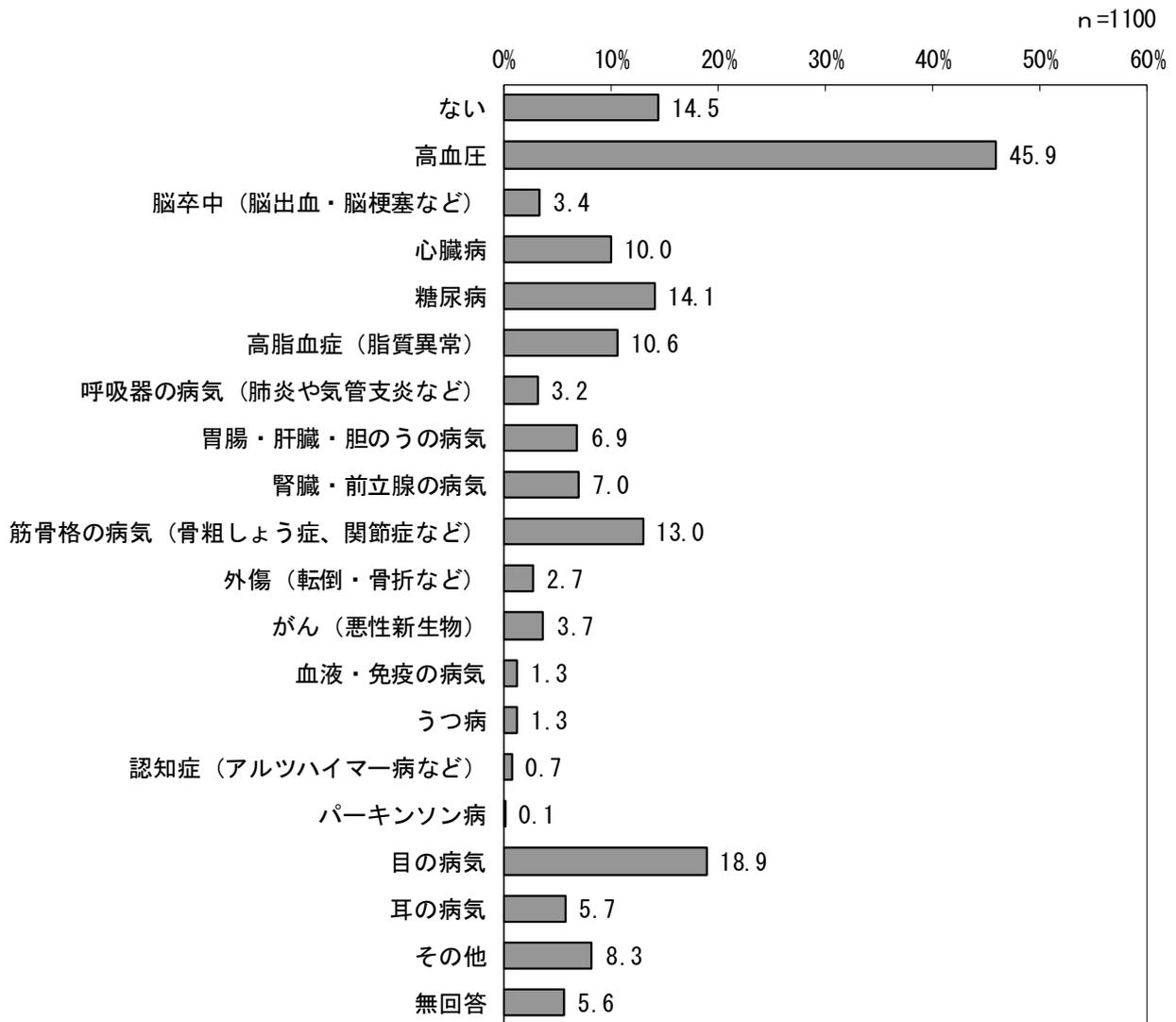


<性別・年齢クロス>



- 現在治療中、または後遺症のある病気（7）は、「高血圧」が最も多く 45.9%、次いで「目の病気」が 18.9%、以下「ない」が 14.5%、「糖尿病」が 14.1%、「筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）」が 13.0%となっている。
- 女性は「筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）」が、男性は「糖尿病」が相対的に多い。
- 年齢区分では、80～84 歳と 90 歳以上で「高血圧」が 5 割台となっている。

(7) 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか



【複数回答】

<性別・年齢クロス>

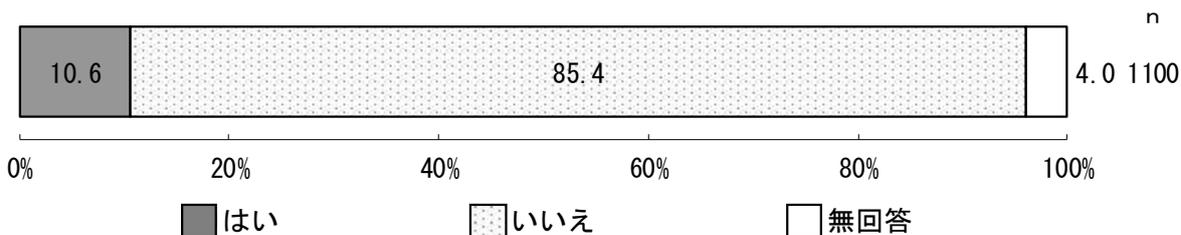
		合計	問7-(7) 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか									
			ない	高血圧	脳卒中 (脳出血・脳梗塞など)	心臓病	糖尿病	高脂血症 (脂質異常)	呼吸器の 病気(肺炎や気管支炎など)	胃腸・肝臓・胆のうの病気	腎臓・前立腺の病気	筋骨格の 病気(骨粗しょう症、関節症など)
全体		1100 100.0	159 14.5	505 45.9	37 3.4	110 10.0	155 14.1	117 10.6	35 3.2	76 6.9	77 7.0	143 13.0
性別	男性	510 100.0	83 16.3	241 47.3	26 5.1	67 13.1	93 18.2	35 6.9	21 4.1	33 6.5	67 13.1	25 4.9
	女性	590 100.0	76 12.9	264 44.7	11 1.9	43 7.3	62 10.5	82 13.9	14 2.4	43 7.3	10 1.7	118 20.0
年齢	65～69歳	334 100.0	71 21.3	136 40.7	12 3.6	22 6.6	36 10.8	54 16.2	5 1.5	12 3.6	8 2.4	41 12.3
	70～74歳	303 100.0	40 13.2	143 47.2	9 3.0	29 9.6	56 18.5	33 10.9	8 2.6	16 5.3	26 8.6	29 9.6
	75～79歳	190 100.0	22 11.6	88 46.3	4 2.1	26 13.7	30 15.8	18 9.5	7 3.7	18 9.5	20 10.5	22 11.6
	80～84歳	154 100.0	12 7.8	79 51.3	10 6.5	20 13.0	22 14.3	8 5.2	9 5.8	16 10.4	14 9.1	26 16.9
	85～89歳	87 100.0	9 10.3	43 49.4	1 1.1	6 6.9	8 9.2	3 3.4	6 6.9	11 12.6	8 9.2	16 18.4
	90歳以上	32 100.0	5 15.6	16 50.0	1 3.1	7 21.9	3 9.4	1 3.1	0 0.0	3 9.4	1 3.1	9 28.1

		合計	問7-(7) 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか									
			外傷(転倒・骨折など)	がん(悪性新生物)	血液・免疫の病気	うつ病	認知症(アルツハイマー病など)	パーキンソン病	目の病気	耳の病気	その他	無回答
全体		1100 100.0	30 2.7	41 3.7	14 1.3	14 1.3	8 0.7	1 0.1	208 18.9	63 5.7	91 8.3	62 5.6
性別	男性	510 100.0	10 2.0	19 3.7	4 0.8	2 0.4	4 0.8	0 0.0	90 17.6	28 5.5	36 7.1	33 6.5
	女性	590 100.0	20 3.4	22 3.7	10 1.7	12 2.0	4 0.7	1 0.2	118 20.0	35 5.9	55 9.3	29 4.9
年齢	65～69歳	334 100.0	12 3.6	10 3.0	2 0.6	4 1.2	2 0.6	0 0.0	45 13.5	11 3.3	34 10.2	16 4.8
	70～74歳	303 100.0	4 1.3	14 4.6	6 2.0	5 1.7	3 1.0	1 0.3	60 19.8	17 5.6	20 6.6	15 5.0
	75～79歳	190 100.0	4 2.1	5 2.6	2 1.1	1 0.5	1 0.5	0 0.0	34 17.9	11 5.8	14 7.4	13 6.8
	80～84歳	154 100.0	5 3.2	8 5.2	2 1.3	4 2.6	0 0.0	0 0.0	43 27.9	15 9.7	10 6.5	8 5.2
	85～89歳	87 100.0	3 3.4	4 4.6	2 2.3	0 0.0	2 2.3	0 0.0	19 21.8	6 6.9	9 10.3	6 6.9
	90歳以上	32 100.0	2 6.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	7 21.9	3 9.4	4 12.5	4 12.5

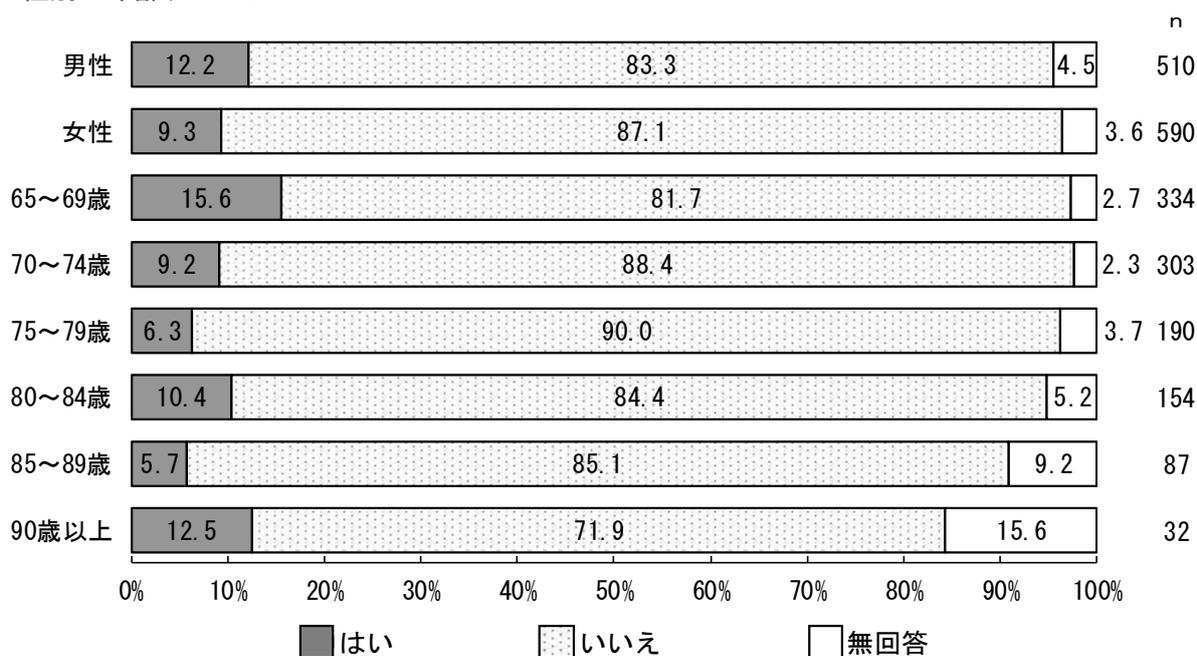
8. 認知症にかかる相談窓口の把握について

- 認知症の症状がある人の有無（１）は、「いいえ」が 85.4%、認知症に関する相談窓口の認知（２）は「いいえ」が 60.3%となっており、いずれも「はい」を大きく上回る。
- 相談窓口の認知（２）に関し、性別では、女性よりも男性の認知度がやや低く、年齢区分では、年齢が上がるにつれ認知度が低下している。

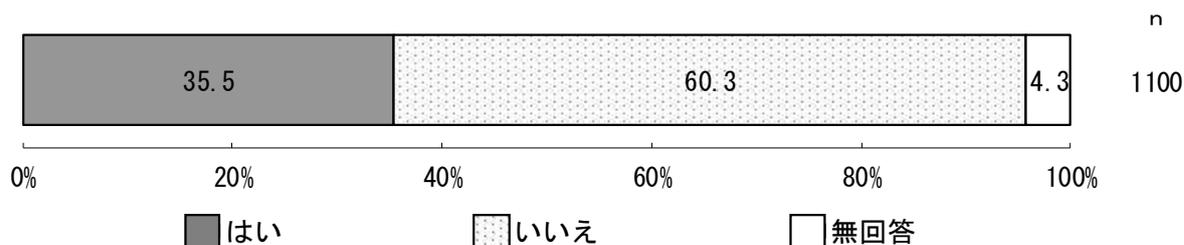
（１）認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか



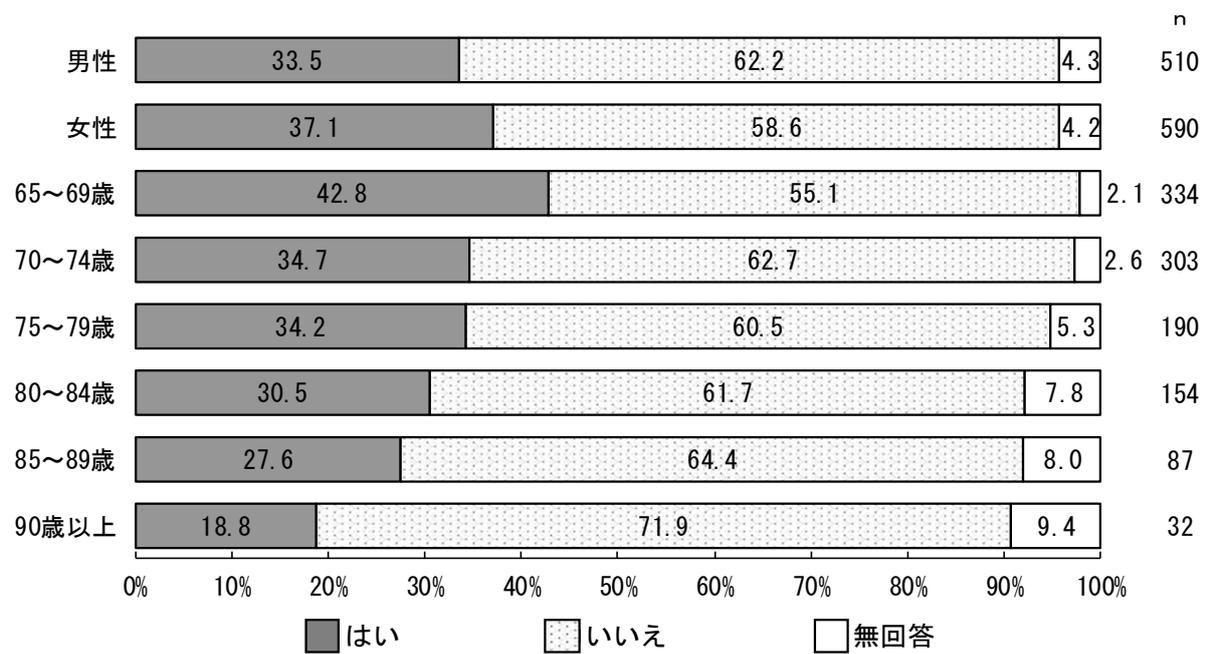
<性別・年齢クロス>



（２）認知症に関する相談窓口を知っていますか



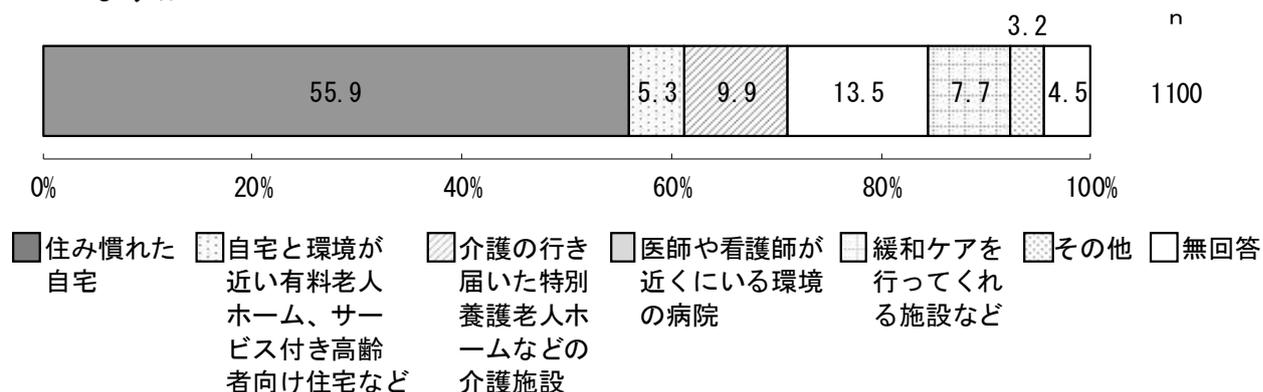
<性別・年齢クロス>



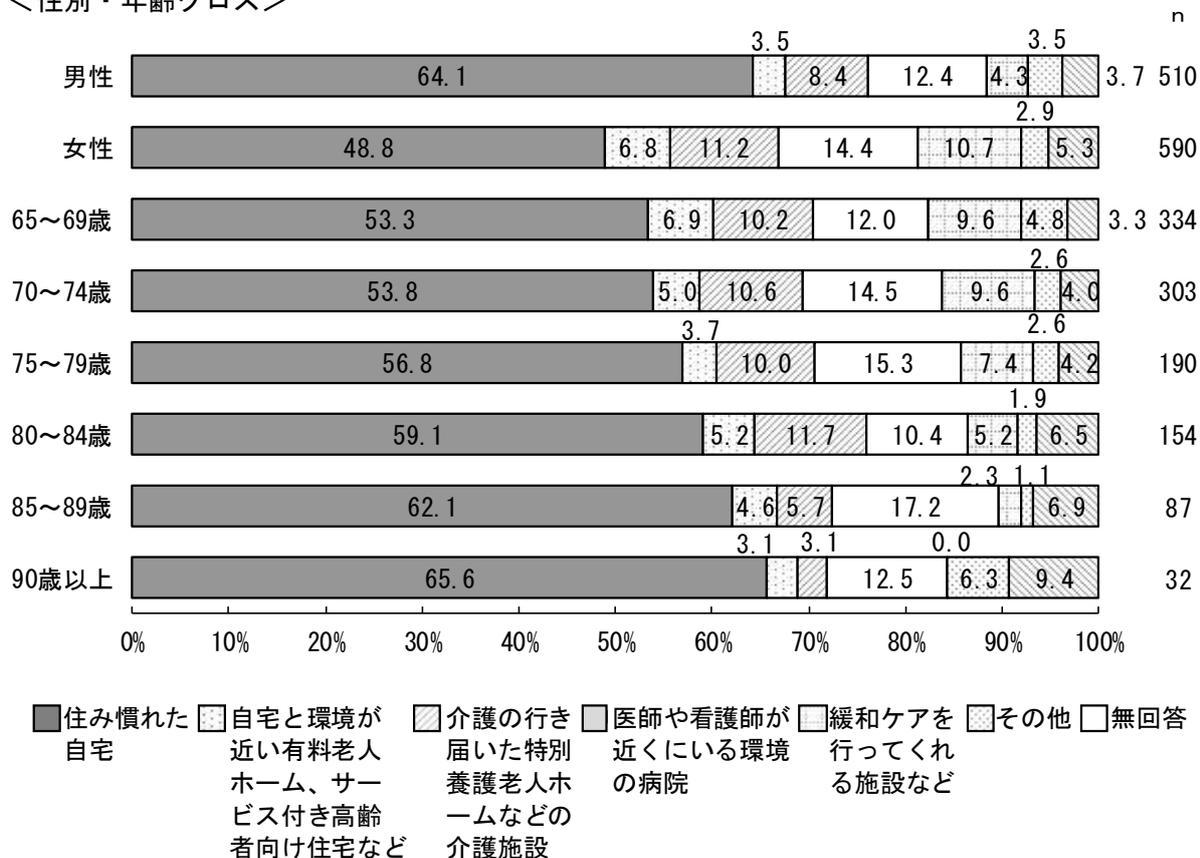
9. 在宅医療と介護について

- 人生における最後を迎える場所（1）は、「住み慣れた自宅」が55.9%と5割以上を占める。
- 性別では、男性は女性よりも「住み慣れた自宅」が15.3ポイント多い。
- 年齢区分が上がるにつれ「住み慣れた自宅」の割合が多くなっている。

（1）もし、人生における最後を迎える場所を選べるとしたら、あなたはどこを選びますか



<性別・年齢クロス>



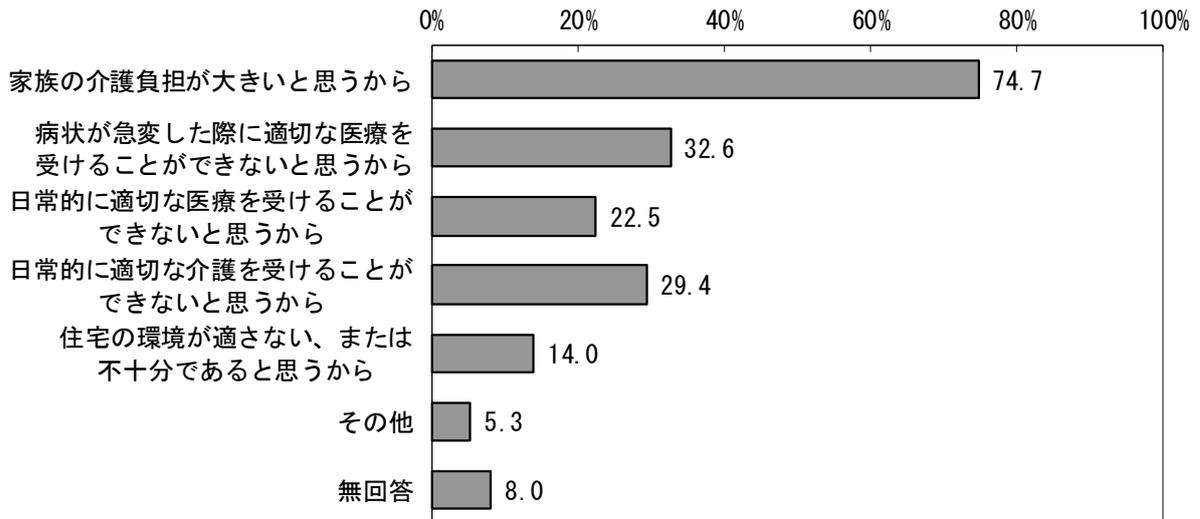
■終末期に自宅を希望しない理由（２）は、「家族の介護負担が大きいと思うから」が74.7%と最も多い。

■性別では、大きな差異はないが、年齢区分では、85～89歳及び90歳以上に「病状が急変した際に適切な医療を受けることができないと思うから」がやや多い。

（２）終末期を自宅で希望しない、または難しいのではと思う理由は何ですか

※（１）人生における最後で「１．住み慣れた自宅」以外を回答した人のみ。

n=435



【複数回答】

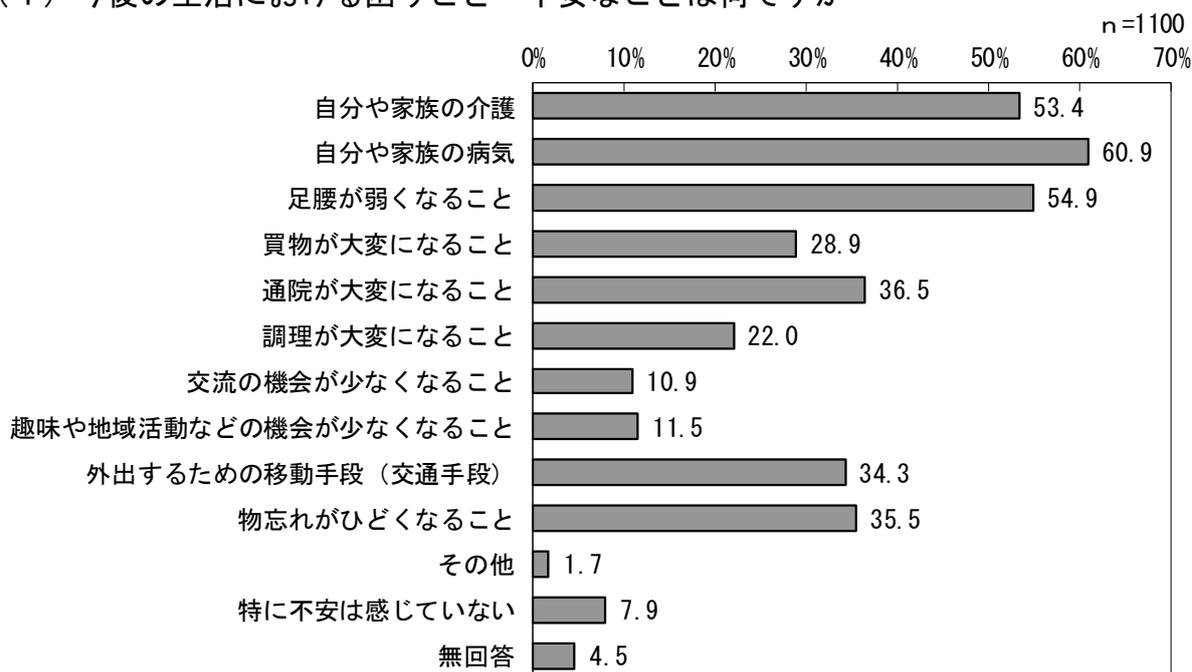
<性別・年齢クロス>

		合計	問9-(2) 終末期を自宅で希望しない、または難しいのではと思う理由は何ですか						
			家族の介護負担が大きいと思うから	病状が急変した際に適切な医療を受けることができないと思うから	日常的に適切な医療を受けることができないと思うから	日常的に適切な介護を受けることができないと思うから	住宅の環境が適さない、または不十分であると思うから	その他	無回答
全体		435	325	142	98	128	61	23	35
		100.0	74.7	32.6	22.5	29.4	14.0	5.3	8.0
性別	男性	164	117	57	35	44	19	10	17
		100.0	71.3	34.8	21.3	26.8	11.6	6.1	10.4
	女性	271	208	85	63	84	42	13	18
		100.0	76.8	31.4	23.2	31.0	15.5	4.8	6.6
年齢	65～69歳	145	119	44	32	41	21	5	11
		100.0	82.1	30.3	22.1	28.3	14.5	3.4	7.6
	70～74歳	128	99	40	32	39	14	6	5
		100.0	77.3	31.3	25.0	30.5	10.9	4.7	3.9
	75～79歳	74	49	26	11	24	10	4	10
		100.0	66.2	35.1	14.9	32.4	13.5	5.4	13.5
	80～84歳	53	36	17	14	13	10	5	6
	100.0	67.9	32.1	26.4	24.5	18.9	9.4	11.3	
	85～89歳	27	18	11	8	8	5	2	2
	100.0	66.7	40.7	29.6	29.6	18.5	7.4	7.4	
	90歳以上	8	4	4	1	3	1	1	1
	100.0	50.0	50.0	50.0	12.5	37.5	12.5	12.5	12.5

10. 高齢者福祉について

- 今後の生活における困りごと・不安（1）は、「自分や家族の病気」が56.9%と最も多く、「足腰が弱くなること」（54.9%）、「自分や家族の介護」（53.4%）が上位にあげられている。
- 性別では、女性は「物忘れがひどくなること」がやや男性よりも13.9ポイント多い。
- 年齢区分では、概ね年齢があがるにつれ「通院が大変になること」の割合が増加し、90歳以上では53.1%となっている。

（1）今後の生活における困りごと・不安なことは何ですか



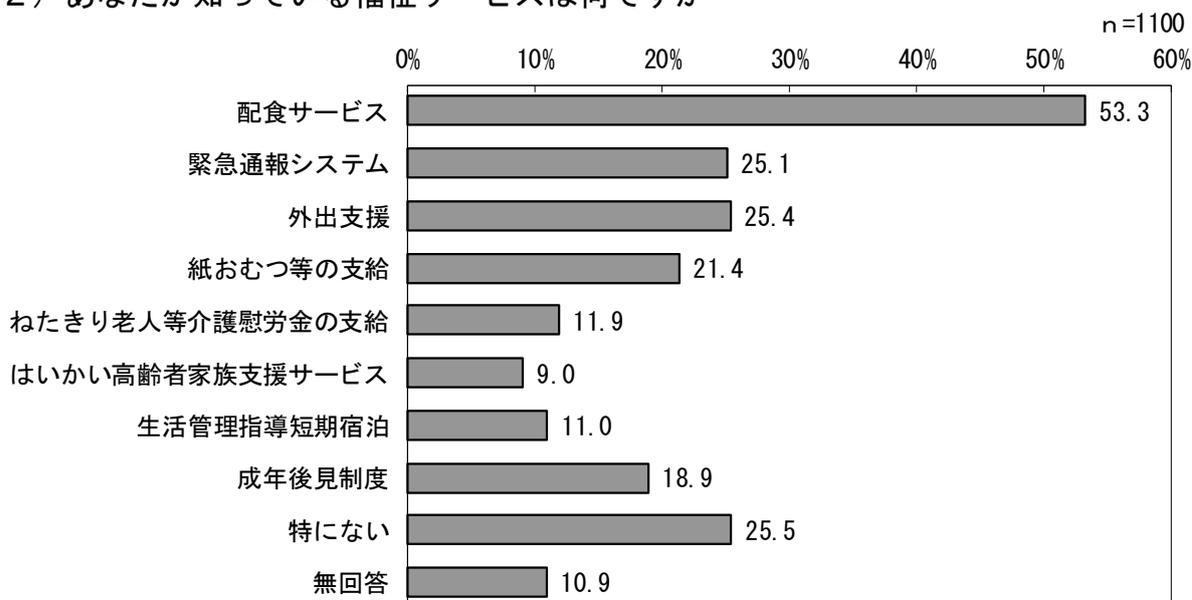
【複数回答】

<性別・年齢クロス>

	合計	問10-(1) 今後の生活における困りごと・不安なことは何ですか													
		自分や家族の介護	自分や家族の病気	足腰が弱くなること	買物が大変になること	通院が大変になること	調理が大変になること	交流の機会が少なくなること	趣味や地域活動などの機会が少なくなること	外出するための移動手段（交通手段）	物忘れがひどくなること	その他	特に不安は感じていない	無回答	
全体	1100 100.0	587 53.4	670 60.9	604 54.9	318 28.9	401 36.5	242 22.0	120 10.9	127 11.5	377 34.3	390 35.5	19 1.7	87 7.9	50 4.5	
性別	男性	510 100.0	295 57.8	311 61.0	255 50.0	127 24.9	158 31.0	96 18.8	53 10.4	60 11.8	156 30.6	143 28.0	11 2.2	43 8.4	22 4.3
	女性	590 100.0	292 49.5	359 60.8	349 59.2	191 32.4	243 41.2	146 24.7	67 11.4	67 11.4	221 37.5	247 41.9	8 1.4	44 7.5	28 4.7
年齢	65～69歳	334 100.0	185 55.4	205 61.4	150 44.9	80 24.0	88 26.3	61 18.3	28 8.4	24 7.2	100 29.9	96 28.7	9 2.7	40 12.0	15 4.5
	70～74歳	303 100.0	171 56.4	187 61.7	168 55.4	89 29.4	96 31.7	62 20.5	30 9.9	41 13.5	109 36.0	93 30.7	5 1.7	18 5.9	10 3.3
	75～79歳	190 100.0	103 54.2	124 65.3	104 54.7	60 31.6	86 45.3	51 26.8	28 14.7	29 15.3	70 36.8	80 42.1	1 0.5	16 8.4	6 3.2
	80～84歳	154 100.0	80 51.9	95 61.7	100 64.9	51 33.1	75 48.7	41 26.6	21 13.6	20 13.0	56 36.4	67 43.5	2 1.3	10 6.5	7 4.5
	85～89歳	87 100.0	34 39.1	44 50.6	55 63.2	29 33.3	39 44.8	19 21.8	9 10.3	9 10.3	26 29.9	40 46.0	2 2.3	3 3.4	10 11.5
	90歳以上	32 100.0	14 43.8	15 46.9	27 84.4	9 28.1	17 53.1	8 25.0	4 12.5	4 12.5	16 50.0	14 43.8	0 0.0	0 0.0	2 6.3

- 福祉サービスの認知（２）は、「配食サービス」が最も高く 53.3%と 5 割を超えるが、他のサービスは 2 割台以下となっている。
- 性別では、男性は「特にない」が女性よりも 10.7 ポイント多い。
- 年齢区分では、概ね年齢があがるにつれ「成年後見制度」の認知度が低下し、80～84 歳以降は、1 割未満となっている。

（２）あなたが知っている福祉サービスは何ですか



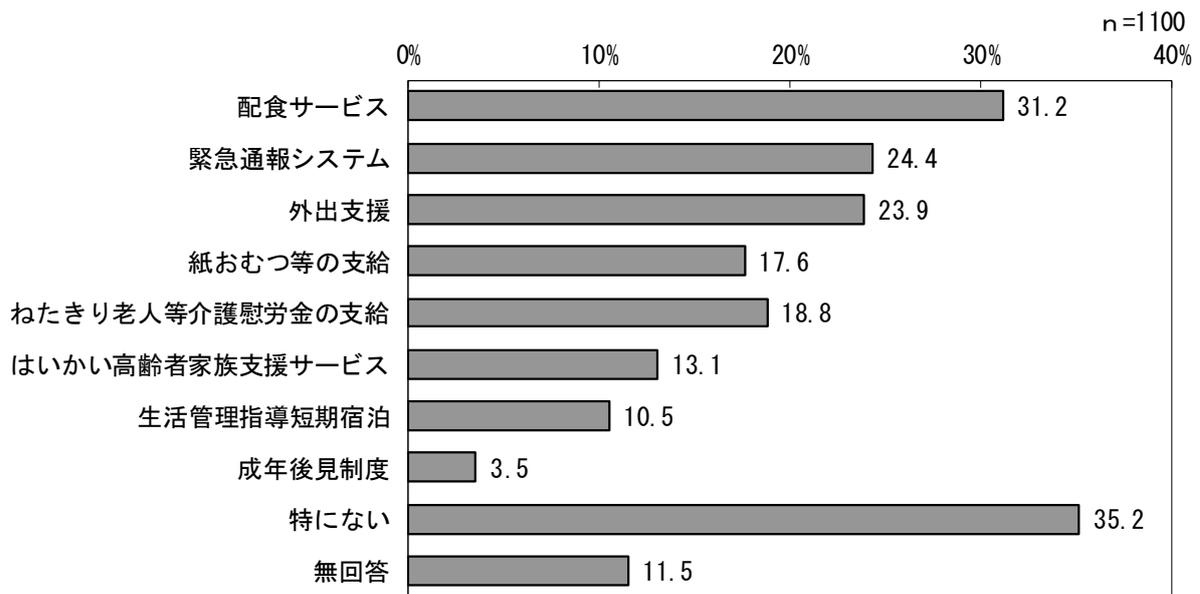
【複数回答】

<性別・年齢クロス>

	合計	問10-(2) あなたが知っている福祉サービスは何ですか										
		配食サービス	緊急通報システム	外出支援	紙おむつ等の支給	ねたきり老人等介護慰労金の支給	はいかい高齢者家族支援サービス	生活管理指導短期宿泊	成年後見制度	特にない	無回答	
全体	1100 100.0	586 53.3	276 25.1	279 25.4	235 21.4	131 11.9	99 9.0	121 11.0	208 18.9	280 25.5	120 10.9	
性別	男性	510 100.0	246 48.2	137 26.9	109 21.4	77 15.1	53 10.4	48 9.4	40 7.8	96 18.8	159 31.2	55 10.8
	女性	590 100.0	340 57.6	139 23.6	170 28.8	158 26.8	78 13.2	51 8.6	81 13.7	112 19.0	121 20.5	65 11.0
年齢	65～69歳	334 100.0	177 53.0	86 25.7	95 28.4	81 24.3	30 9.0	20 6.0	32 9.6	83 24.9	93 27.8	25 7.5
	70～74歳	303 100.0	188 62.0	88 29.0	84 27.7	62 20.5	46 15.2	31 10.2	34 11.2	66 21.8	73 24.1	18 5.9
	75～79歳	190 100.0	114 60.0	52 27.4	57 30.0	46 24.2	27 14.2	25 13.2	25 13.2	37 19.5	36 18.9	23 12.1
	80～84歳	154 100.0	67 43.5	31 20.1	22 14.3	25 16.2	13 8.4	12 7.8	17 11.0	12 7.8	46 29.9	28 18.2
	85～89歳	87 100.0	27 31.0	14 16.1	18 20.7	15 17.2	11 12.6	9 10.3	9 10.3	7 8.0	22 25.3	24 27.6
	90歳以上	32 100.0	13 40.6	5 15.6	3 9.4	6 18.8	4 12.5	2 6.3	4 12.5	3 9.4	10 31.3	2 6.3

- 福祉サービスの利用意向（3）については、「特にない」が35.2%と最も多い回答だが、具体的なサービスとしては、「配食サービス」（31.2%）、「緊急通報システム」（24.4%）、「外出支援」（23.9%）が上位にあげられている。
- 性別では、女性は、上記3サービスのいずれについても、男性よりも高い割合となっている。
- 年齢区分では、上記3サービスとも、概ね年齢があがるにつれ回答の割合が低下している。

（3）あなたが利用したいと思う福祉サービスは何ですか



【複数回答】

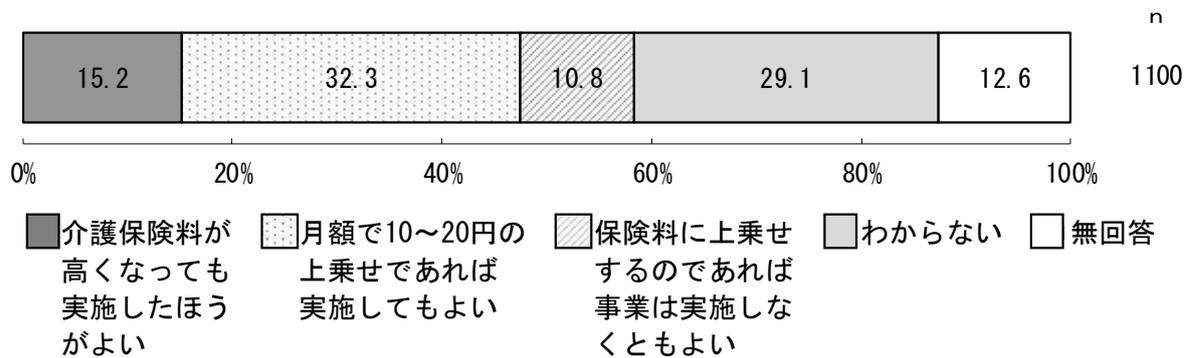
<性別・年齢クロス>

		合計	問10-(3) あなたが利用したいと思う福祉サービスは何ですか									
			配食サービス	緊急通報システム	外出支援	紙おむつ等の支給	ねたきり老人等介護慰労金の支給	はいかい高齢者家族支援サービス	生活管理指導短期宿泊	成年後見制度	特にない	無回答
全体		1100	343	268	263	194	207	144	116	39	387	127
		100.0	31.2	24.4	23.9	17.6	18.8	13.1	10.5	3.5	35.2	11.5
性別	男性	510	146	109	101	54	78	46	44	16	216	53
		100.0	28.6	21.4	19.8	10.6	15.3	9.0	8.6	3.1	42.4	10.4
	女性	590	197	159	162	140	129	98	72	23	171	74
		100.0	33.4	26.9	27.5	23.7	21.9	16.6	12.2	3.9	29.0	12.5
年齢	65～69歳	334	120	85	96	61	61	35	36	15	129	24
		100.0	35.9	25.4	28.7	18.3	18.3	10.5	10.8	4.5	38.6	7.2
	70～74歳	303	96	78	75	48	59	48	29	8	112	28
		100.0	31.7	25.7	24.8	15.8	19.5	15.8	9.6	2.6	37.0	9.2
	75～79歳	190	60	50	47	33	31	28	21	9	55	30
		100.0	31.6	26.3	24.7	17.4	16.3	14.7	11.1	4.7	28.9	15.8
	80～84歳	154	43	42	29	31	34	24	21	4	45	22
	100.0	27.9	27.3	18.8	20.1	22.1	15.6	13.6	2.6	29.2	14.3	
85～89歳	87	17	9	13	14	15	6	9	3	30	19	
	100.0	19.5	10.3	14.9	16.1	17.2	6.9	10.3	3.4	34.5	21.8	
90歳以上	32	7	4	3	7	7	3	0	0	16	4	
	100.0	21.9	12.5	9.4	21.9	21.9	9.4	0.0	0.0	50.0	12.5	

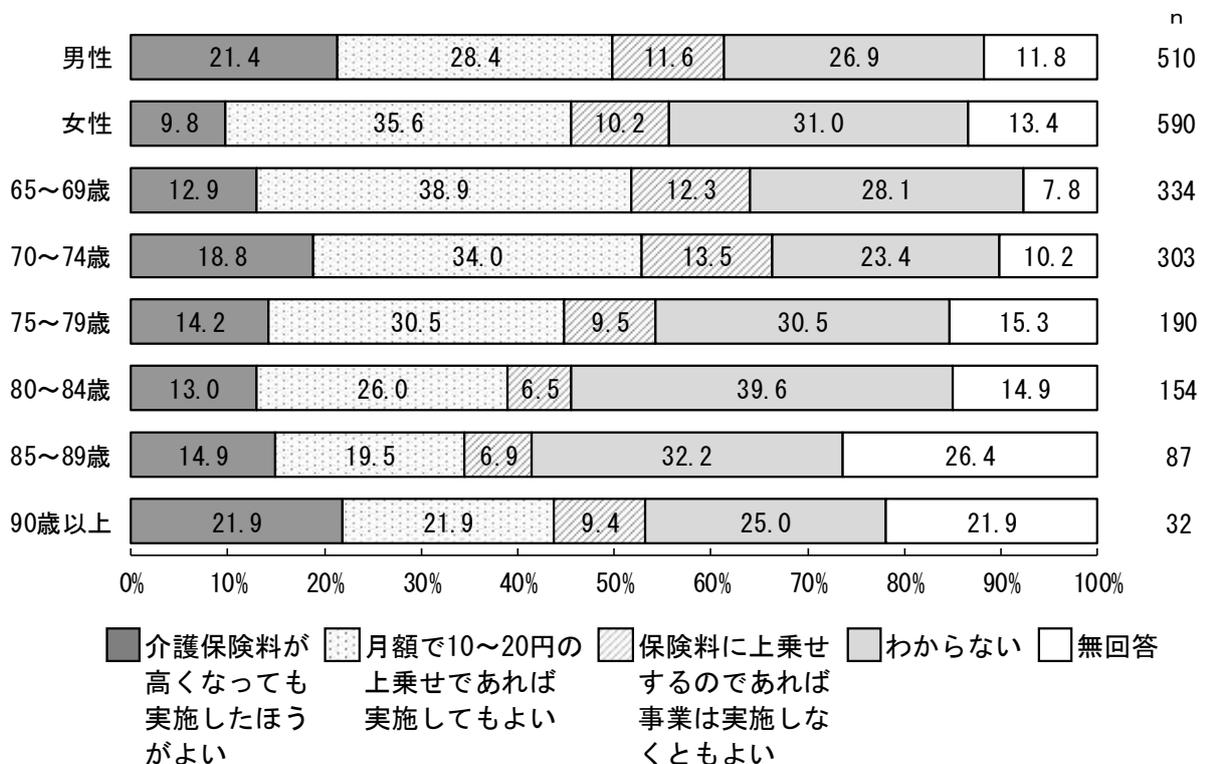
■介護保険料の上乗せ（４）については、「月額で１０～２０円の上乗せであれば実施してもよい」が３２．３％、「わからない」が２９．１％、「介護保険料が高くなっても実施したほうがよい」が１５．２％、「保険料に上乗せするのであれば事業は実施しなくともよい」が１０．８％となっている。

■性別では男性、年齢区分では７０～７４歳と９０歳以上に「介護保険料が高くなっても実施」がやや多い。

（４）もし上記（３）の事業を継続するために介護保険料の上乗せが必要となる場合、あなたはごどう思いますか



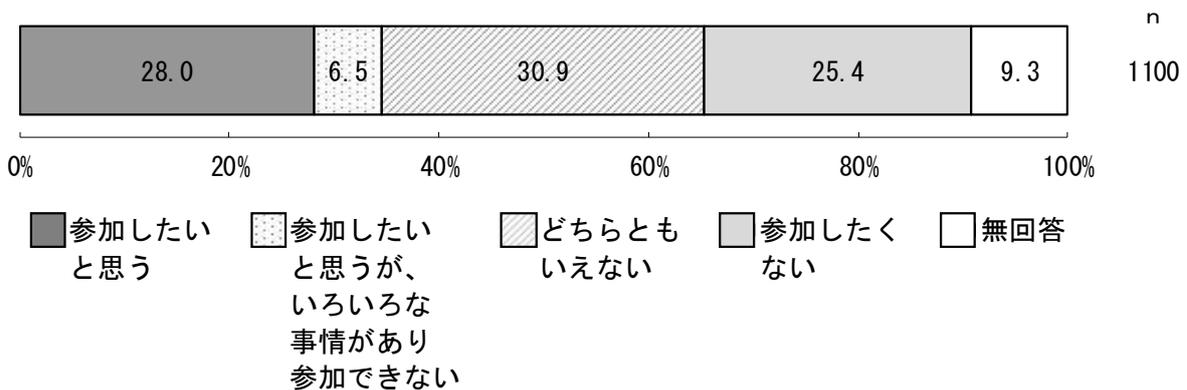
<性別・年齢クロス>



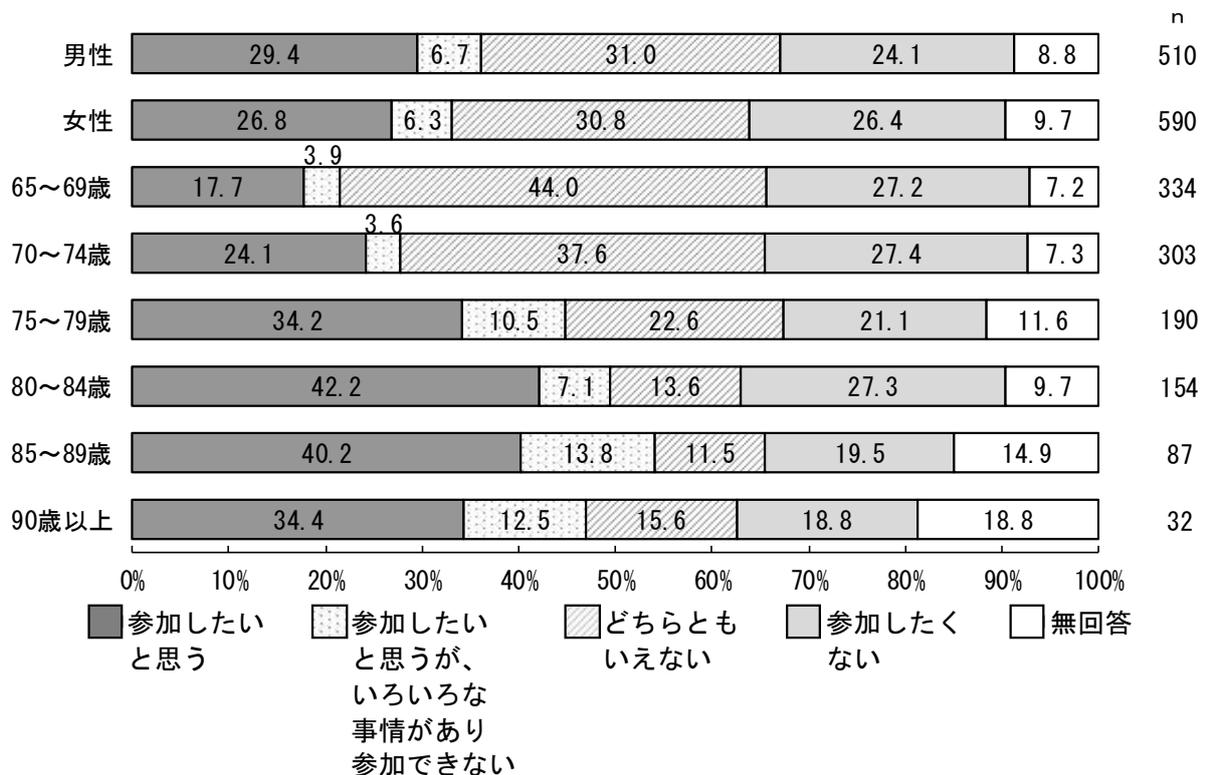
■敬老式への参加（５）については、「どちらともいえない」が30.9%、「参加したいと思う」が28.0%、「参加したくない」が25.4%、「参加したいと思うが、いろいろな事情があり参加できない」が6.5%となっている。

■性別では男性、年齢区分では80～84歳と85～89歳に「参加したいと思う」がやや多い。

（５）毎年実施している敬老式に参加したいと思えますか



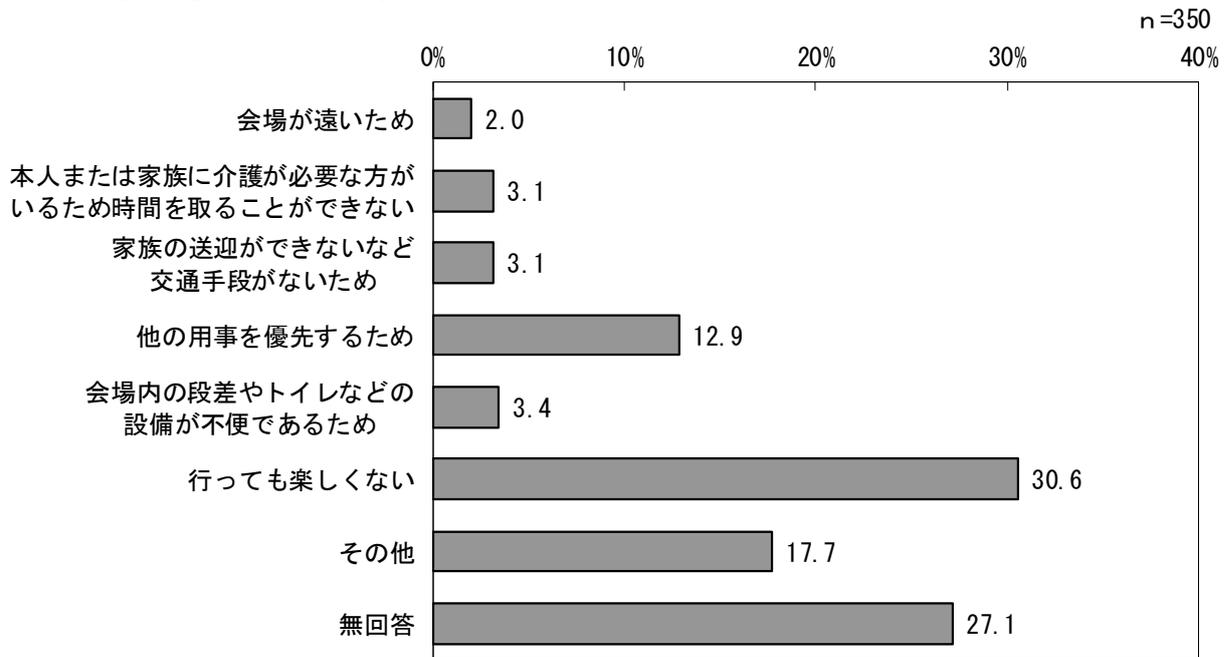
<性別・年齢クロス>



- 参加できないまたは参加したくない理由（5①）は、「行っても楽しくない」が30.6%と最も多い。
- 性別では男性、年齢区分では65～69歳及び75～79歳は、「他の用事を優先するため」がやや多い。

① その理由はどれですか

※（5）敬老式への参加で「2. 参加したいと思うが、いろいろな事情があり参加できない」、「参加したくない」を回答した人のみ。



【複数回答】

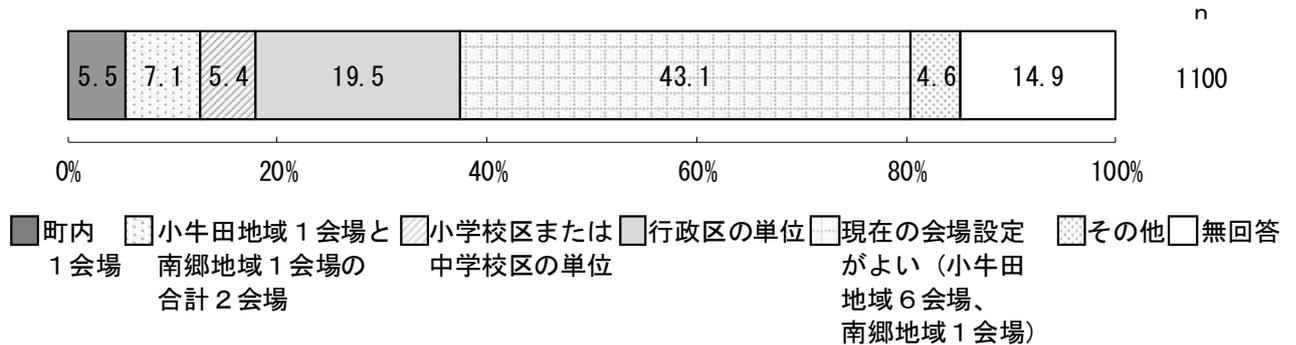
<性別・年齢クロス>

		合計	問10-(5) ① その理由はどれですか							
			会場が遠いため	本人または家族に介護が必要な方がいるため時間を取ることができない	家族の送迎ができないなど交通手段がないため	他の用事を優先するため	会場内の段差やトイレなどの設備が不便であるため	行っても楽しくない	その他	無回答
全体		350 100.0	7 2.0	11 3.1	11 3.1	45 12.9	12 3.4	107 30.6	62 17.7	95 27.1
性別	男性	157 100.0	2 1.3	4 2.5	3 1.9	27 17.2	3 1.9	49 31.2	28 17.8	41 26.1
	女性	193 100.0	5 2.6	7 3.6	8 4.1	18 9.3	9 4.7	58 30.1	34 17.6	54 28.0
年齢	65～69歳	104 100.0	1 1.0	2 1.9	0 0.0	16 15.4	3 2.9	31 29.8	21 20.2	30 28.8
	70～74歳	94 100.0	1 1.1	2 2.1	1 1.1	10 10.6	0 0.0	40 42.6	18 19.1	22 23.4
	75～79歳	60 100.0	4 6.7	2 3.3	0 0.0	10 16.7	1 1.7	16 26.7	9 15.0	18 30.0
	80～84歳	53 100.0	1 1.9	2 3.8	3 5.7	6 11.3	3 5.7	11 20.8	9 17.0	18 34.0
	85～89歳	29 100.0	0 0.0	2 6.9	6 20.7	3 10.3	2 6.9	6 20.7	4 13.8	6 20.7
	90歳以上	10 100.0	0 0.0	1 10.0	1 10.0	0 0.0	3 30.0	3 30.0	1 10.0	1 10.0

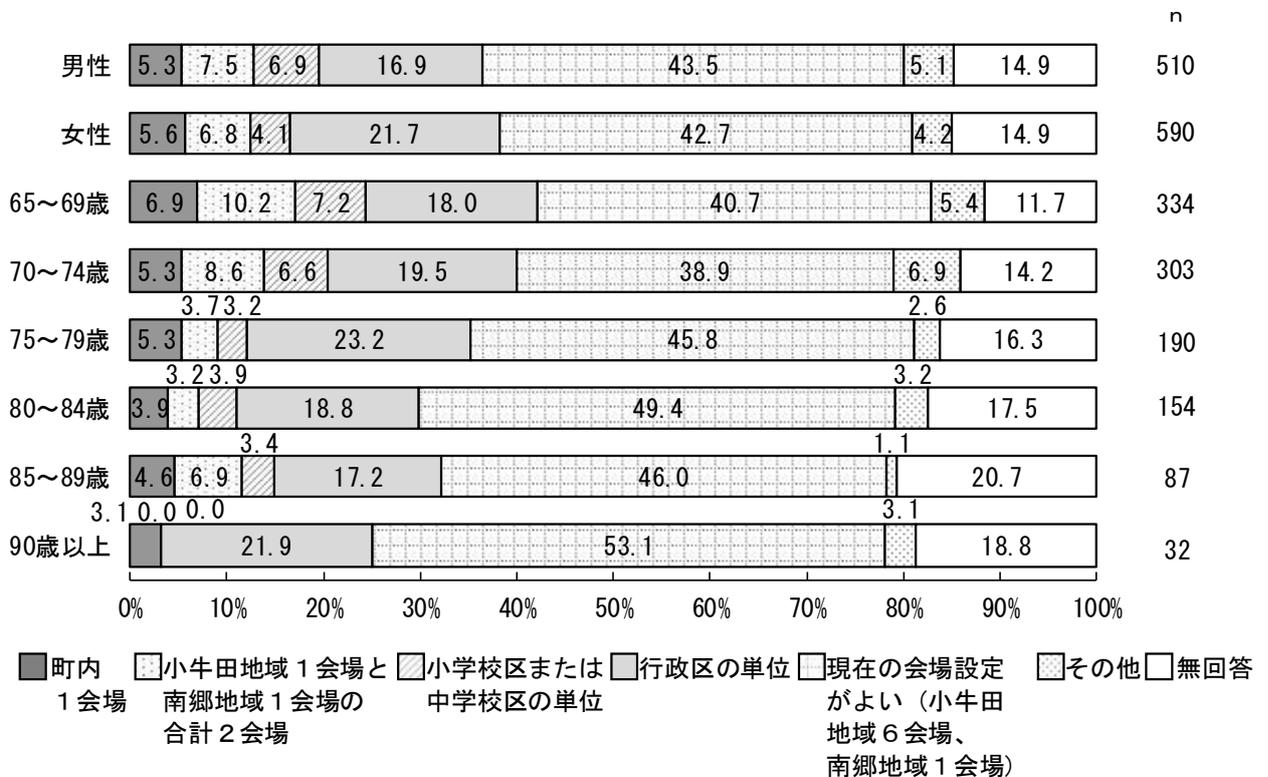
■敬老式の望ましい会場数（6）については、「現在の会場設定がよい（小牛田地域6会場、南郷地域1会場）」が43.1%、次いで「行政区の単位」が19.5%となっている。

■性別では女性、年齢区分では75～79歳と90歳以上に「行政区の単位」がやや多い。

（6）敬老式の会場について望ましいと思う会場数はどれですか

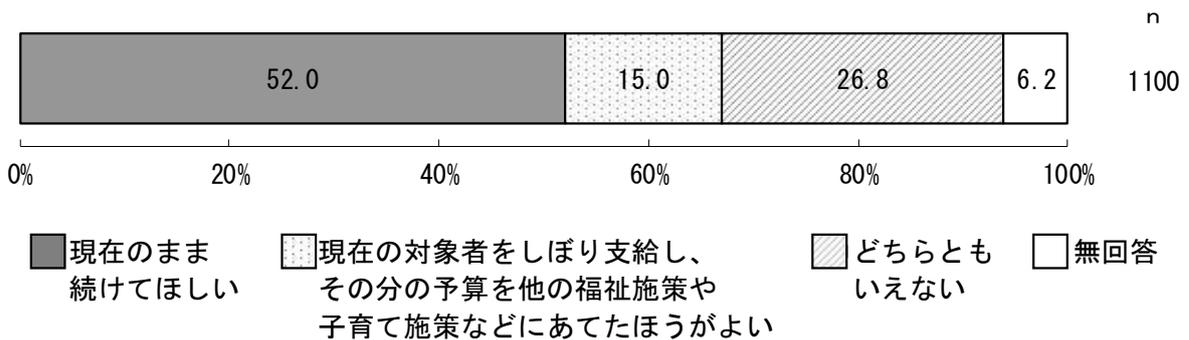


<性別・年齢クロス>



- 敬老祝い金と特別敬老祝金（7）については、「現在のまま続けてほしい」が52.0%、「現在の対象者をしぼり支給し、その分の予算を他の福祉施策や子育て施策などにあてたほうがよい」が15.0%となっている。
- 性別では、女性に「現在のまま続けてほしい」がやや多い。
- 年齢区分では、90歳以上を除き年齢があがるにつれ「現在のまま続けてほしい」の割合が増加している。

（7）現在の敬老祝い金と特別敬老祝金についてお尋ねします



<性別・年齢クロス>

